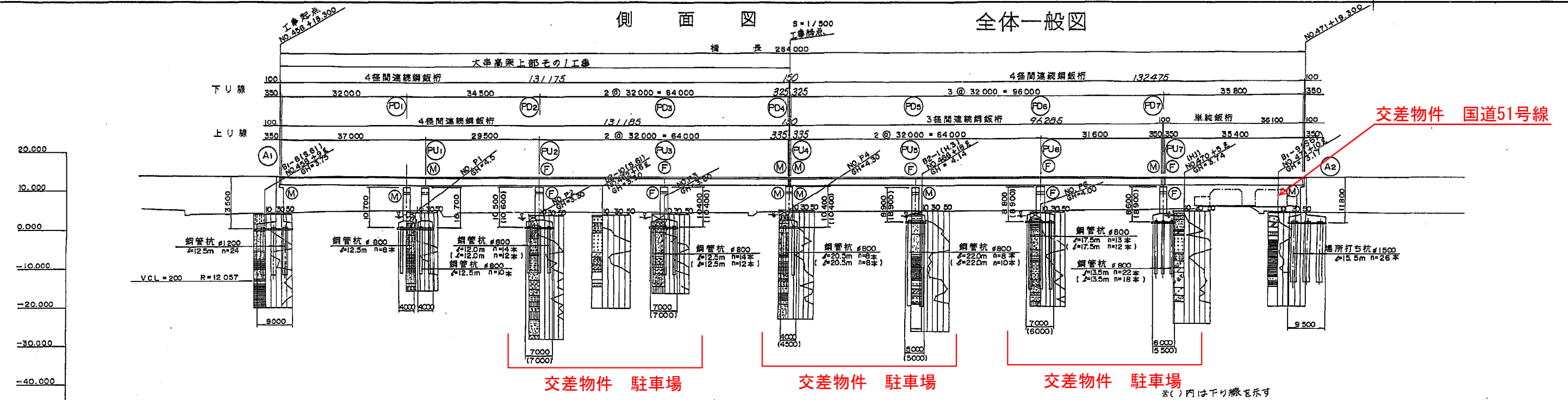
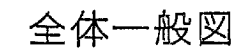
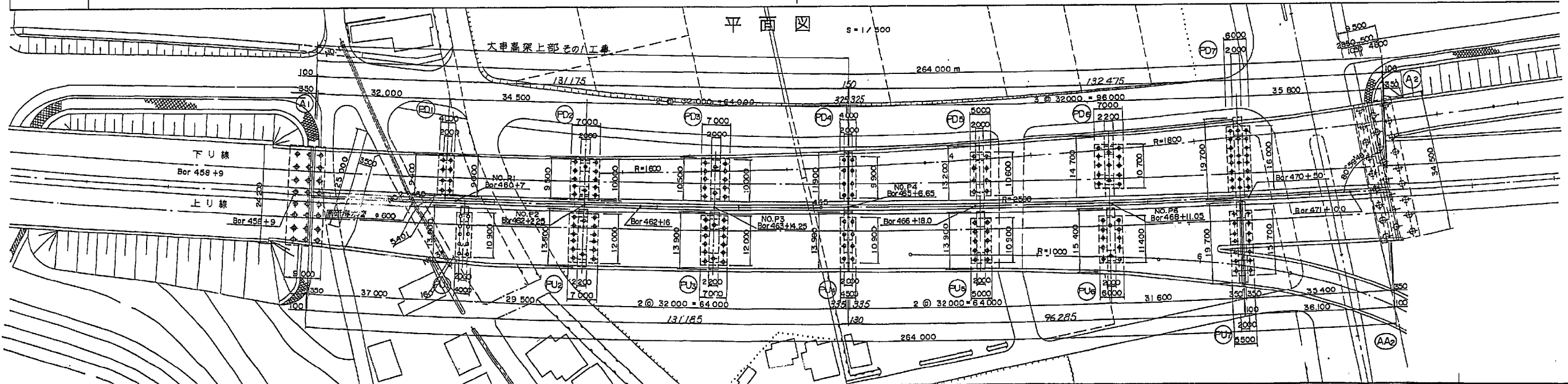
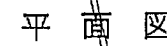


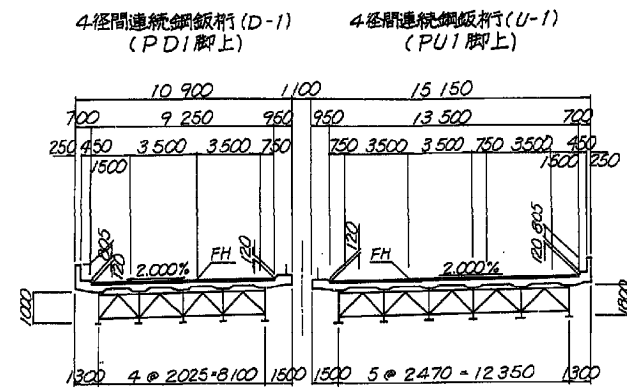
大串高架橋



片勾配擋付図	平面曲線	測 点	基 距 離	累 加 距 離	地 盤 高	計 画	勾 配
							$L = -50.000$
		-NO.457	20.000	-940.000	4.915	13.887	$L = 1140.000$
		-NO.458	20.000	-9160.000	4.114	13.625	13.210
		(A1)	15.300		4.400	13.461	
		-NO.459	4.700	-9180.000	4.400	13.415	
		-NO.460	20.000	-9200.000	4.631	13.259	
		(E1)	7.750		4.700	13.179	
		(E1)	5.000		4.700	13.144	
		-NO.461	7.250	-9220.000	3.131	13.098	
		-NO.462	20.000	-9240.000	4.100	12.986	
		(E2)	2.250		4.100	12.975	
		-NO.463	17.750	-9260.000	4.050	12.909	
		(E3)	14.250		4.050	12.866	
		-NO.464	5.750	-9280.000	4.050	12.848	
		-NO.465	20.000	-9300.000	3.940	12.788	
		(E4)	6.650		3.940	12.768	
		-NO.466	13.350	-9320.000	3.950	12.728	
		(E5)	19.050			12.671	
		-NO.467	0.950	-9340.000	3.960	12.668	
		-NO.468	20.000	-9360.000	4.000	12.607	
		(E6)	11.050		4.050	12.574	
		-NO.469	8.950	-9380.000	4.100	12.547	
		-NO.470	20.000	-9400.000	4.150	12.487	
		(E7)	3.050		4.150	12.478	
		-NO.471	16.950	-9420.000	4.802	12.427	
		(A2)	19.300			12.371	
		-NO.472	0.700	-9440.000	3.288	12.366	
		-NO.473	20.000	-9460.000	3.188	12.306	



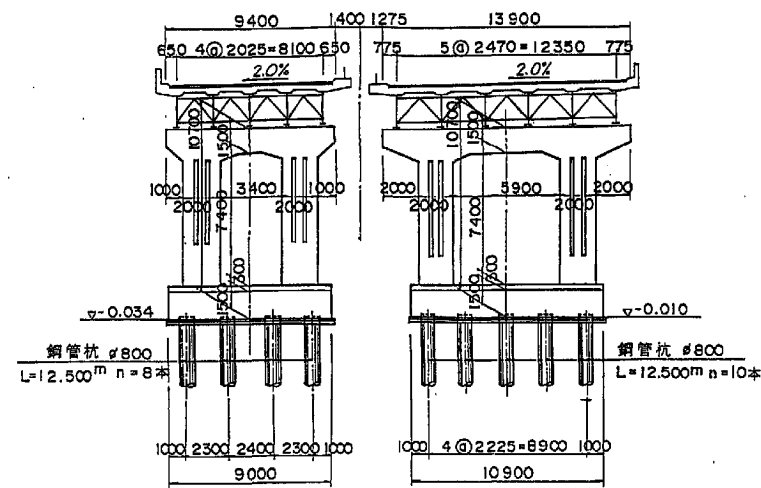
本線上部工断面図 $s = 1/200$



橋脚正面図 $s = 1/200$

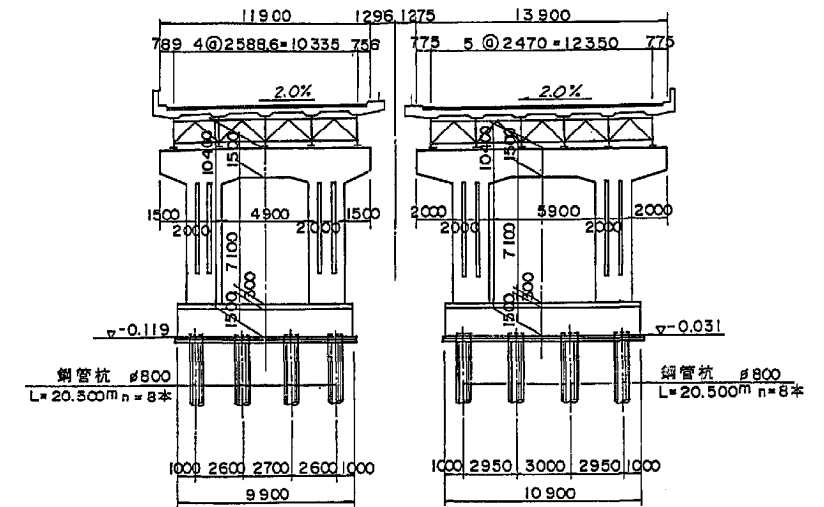
PD1橋脚

PUI橋脚



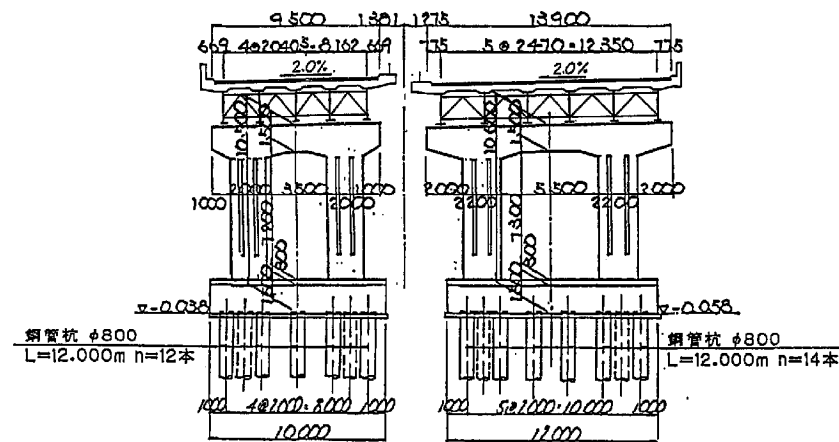
PD4橋脚

PU4橋脚



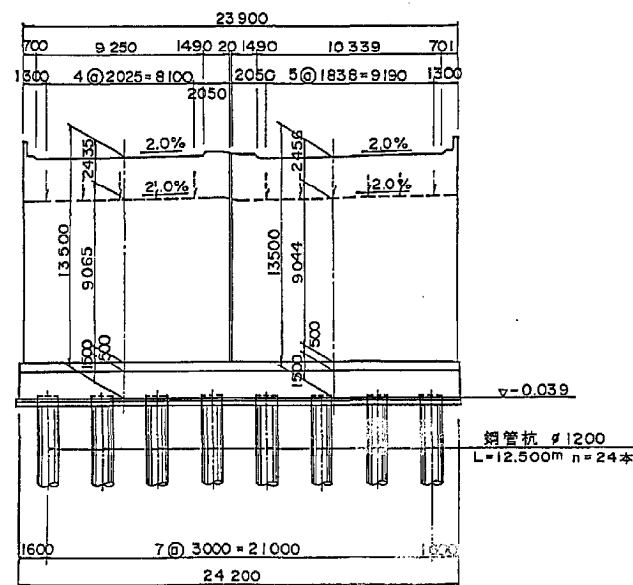
PD2橋脚

PU2橋脚



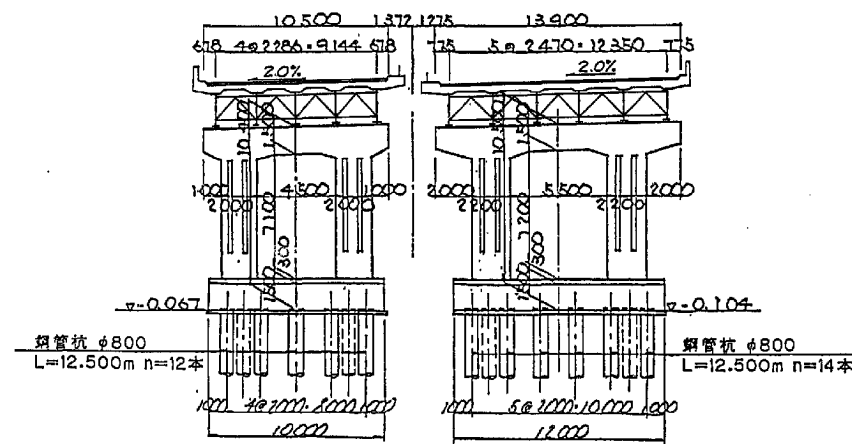
橋台正面図 $s = 1/200$

A1橋台



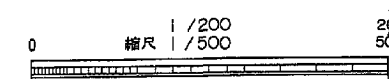
PD3橋脚

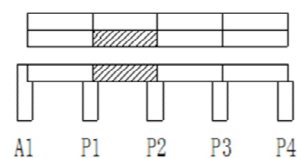
PU3橋脚



設計条件	
橋長	264.000m
道路区分	本線：第1種2級B. $V = 100\text{km/h}$ ランプ：A規格. $V = 40\text{km/h}$
幅員	9.250m ~ 19.430m
横断勾配	2.0%
縦断勾配	1.960% s.t.d.458 V.C.L=200 R=12057 0.03013%
設計展度	$kh = 1.0 \times 1.0 \times 1.0 \times 1.25 \times 0.2 = 0.25$
上部工形式	連続鋼板桁・単純鋼板桁
下部工形式	橋台：逆T式橋台・橋脚：ラーメン式橋脚
基礎形式	場所打ち杭基礎 $\phi 1000, \phi 1500$
橋格	B活荷重
適用示方書	道路橋示方書(L.II)平成6年2月,(V)平成2年2月

水戸管理事務所管内 はく落対策工事発注用図面作成業務			
図面の種類	大串高架橋 一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		



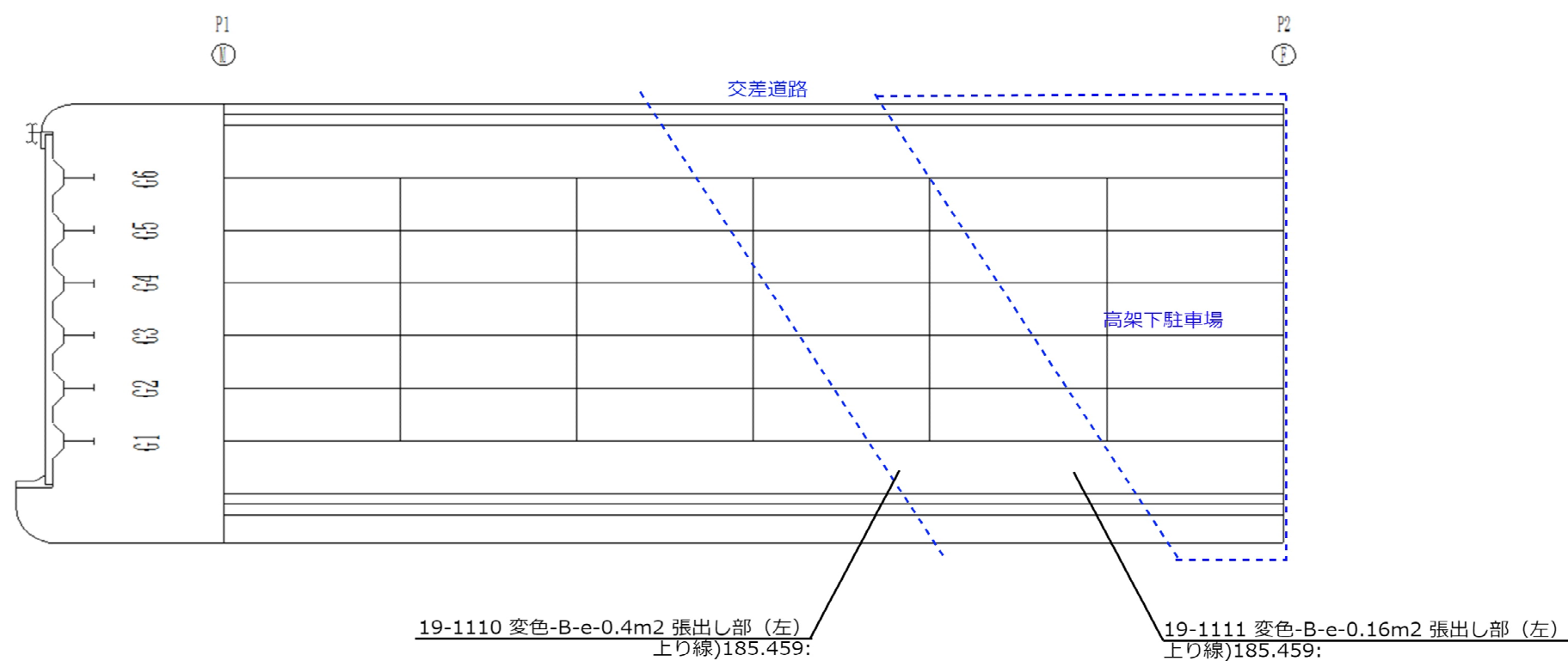


大串高架橋 P1～P2（上り） 2/8

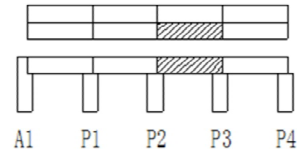
交差物件 駐車場

径間長： L=29.500m

A1～P4：鋼4径間連続非合成鈹桁橋(L=131.350m)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



大串高架橋 P2～P3（上り） 3/8

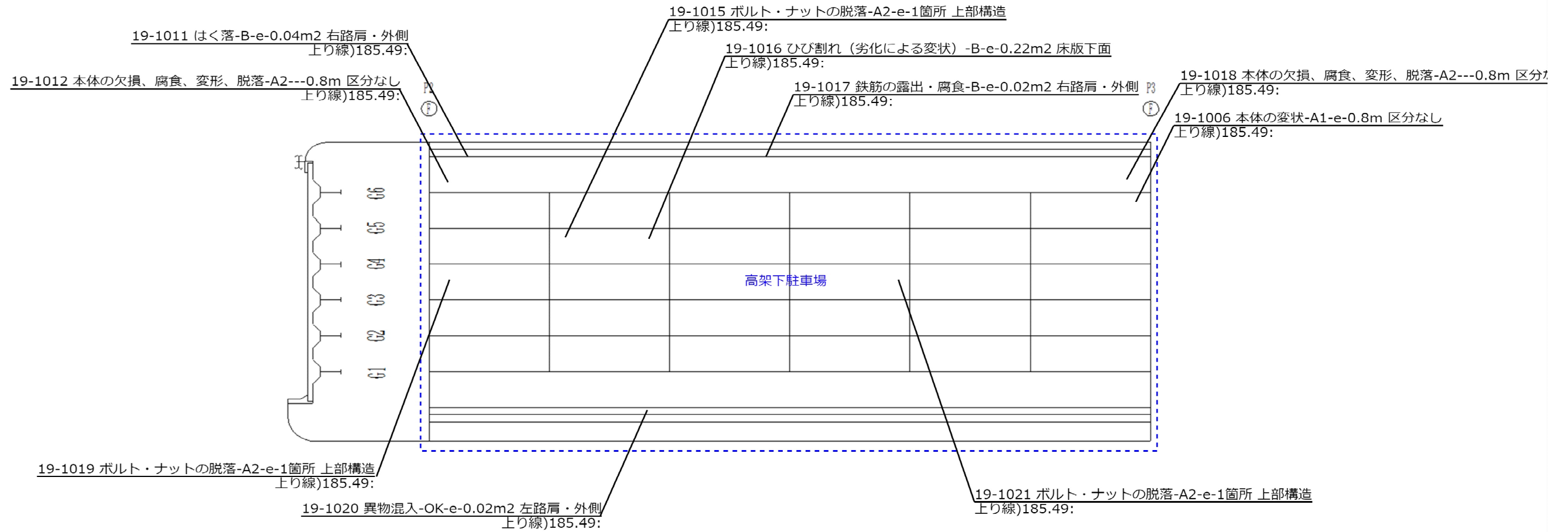
径間長： L=32.000m

A1～P4：鋼4径間連続非合成鈑桁橋(L=131.350m)

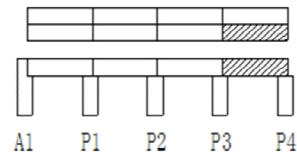
交差物件 駐車場

19-1014 エフロレックス-OK-e-0.02m2 張出し部（右）
上り線)185.49:

19-1013 エフロレックス-OK-e-0.02m2 張出し部（右）
上り線)185.49:



※はく落対策範囲内の変状箇所は補修設計対象とする

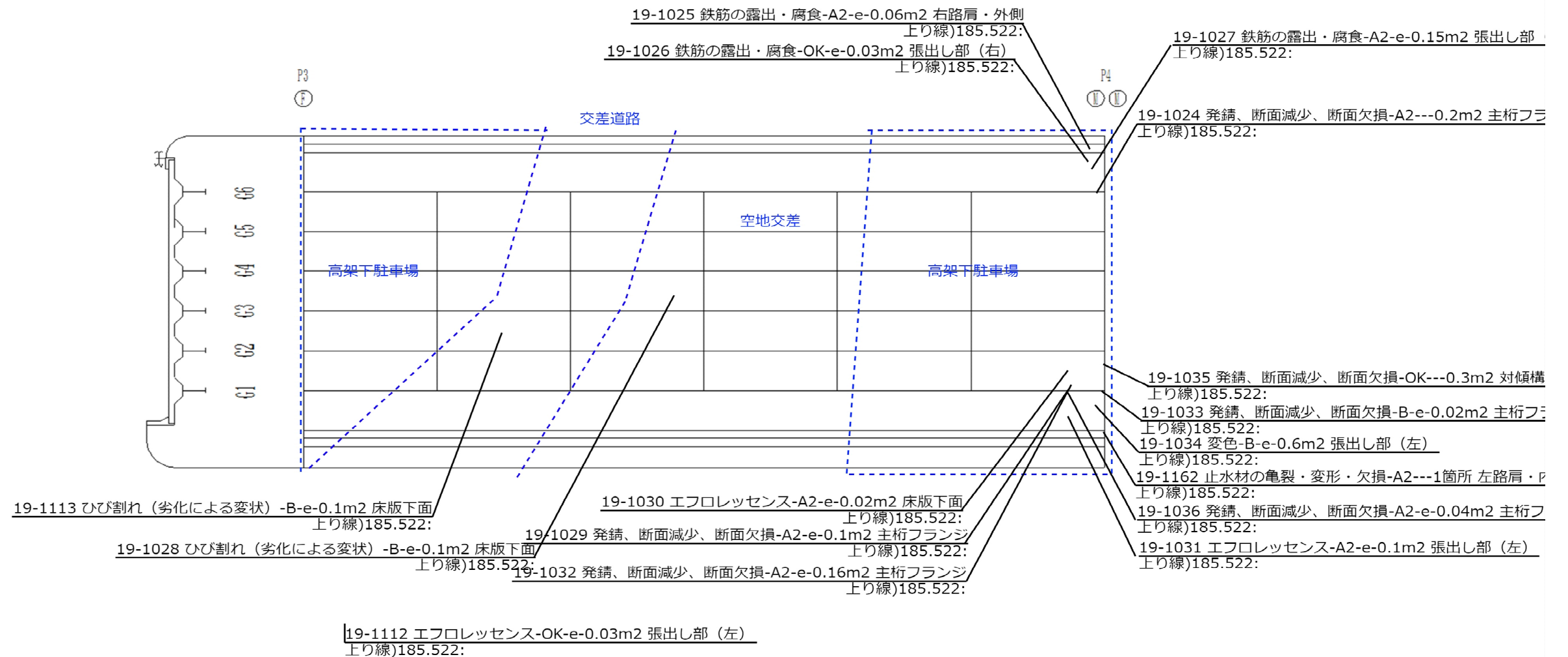


大串高架橋 P3～P4（上り） 4/8

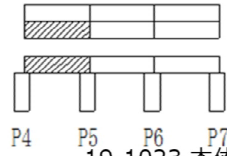
交差物件 駐車場

径間長： L=32.400m

A1～P4：鋼4径間連続非合成鈹桁橋(L=131.350m)



※はく落対策範囲内の変状箇所は補修設計対象とする



大串高架橋 P4～P5（上り） 5/8

径間長： L=32.400m

交差物件 駐車場

P4～P7：鋼3径間連続非合成鈹桁橋(L=96.400m)

19-1023 本体の劣化、損傷-A2---1.5m その他
上り線)185.538:

19-1003 非排水装置の亀裂・変形・欠損-A1---4箇所 その他
上り線)185.538:

19-1038 エフロレッセンス-OK-e-0.01m2 張出し部（右）
上り線)185.555:

19-1039 エフロレッセンス-OK-e-0.01m2 張出し部（右）
上り線)185.555:

19-1043 鉄筋の露出・腐食-OK-e-0.04m2 張出し部（右）
上り線)185.555:

19-1041 はく落-OK-e-0.04m2 張出し部（右）
上り線)185.555:

19-1042 発錆、断面減少、断面欠損-OK---0.15m2 主桁フランジ
上り線)185.555:

19-1040 発錆、断面減少、断面欠損-OK---0.05m2 主桁フランジ
上り線)185.555:

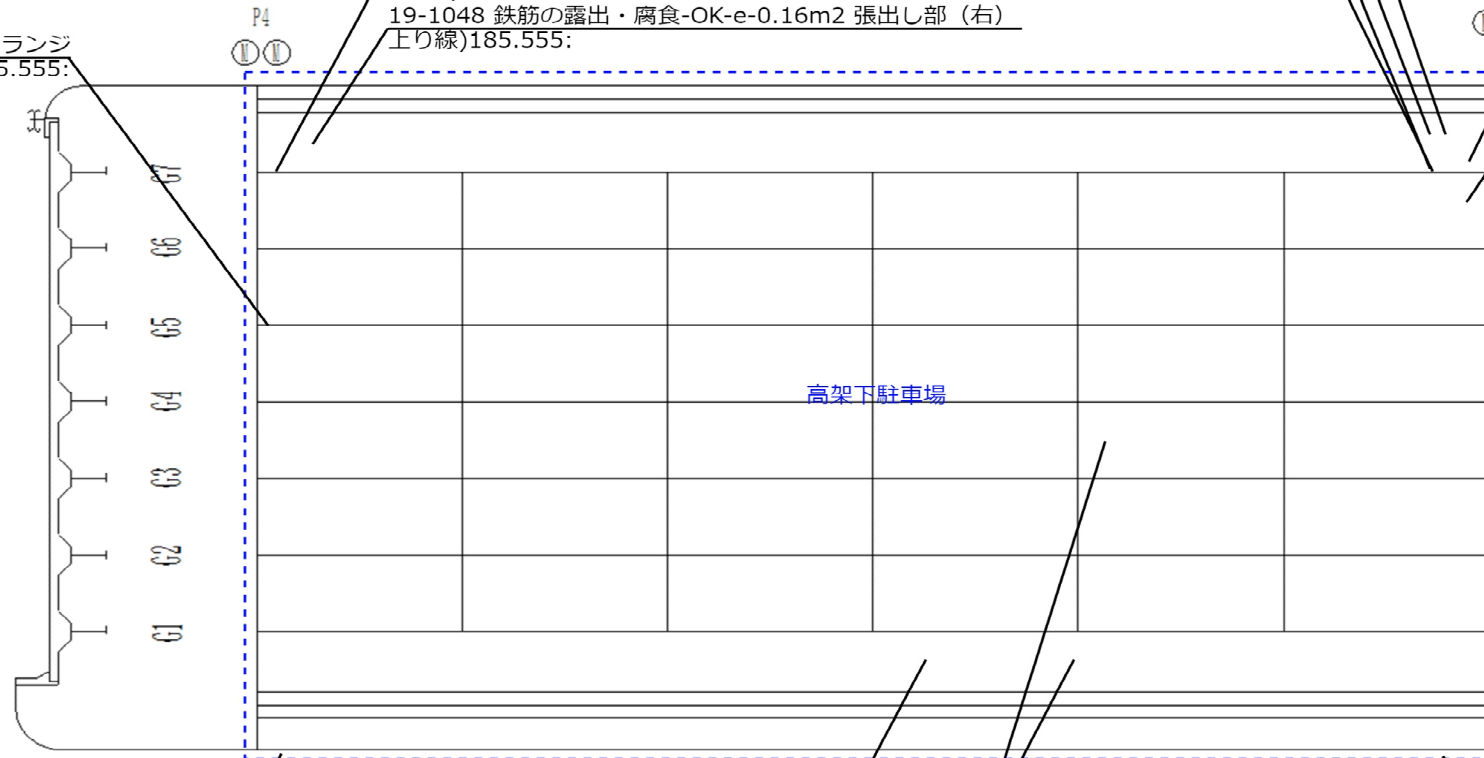
19-1049 発錆、断面減少、断面欠損-A2---0.15m2 主桁フランジ
上り線)185.555:

19-1048 鉄筋の露出・腐食-OK-e-0.16m2 張出し部（右）
上り線)185.555:

19-1004 本体の変状-A1---0.2m 区分なし
上り線)185.555:

19-1005 本体の変状-A1-e-0.8m 区分なし
上り線)185.555:

19-1044 発錆、断面減少、断面欠損-B-e-0.03m2 主桁フランジ
上り線)185.555:



19-1163 浮き-A2---0.12m2 左路肩・内側
上り線)185.555:

19-1047 ひび割れ（劣化による変状）-B-e-0.1m2 床版下面
上り線)185.555:

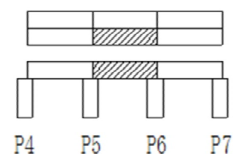
19-1045 変色-A2-e-0.48m2 張出し部（左）
上り線)185.555:

19-1046 変色-B-e-0.6m2 張出し部（左）
上り線)185.555:

19-1165 ごみ・土砂等の堆積-A2---1箇所 区分なし
上り線)185.555:

19-1164 蓋の破損、腐食、変形-A2---1箇所 区分なし
上り線)185.555:

※はく落対策範囲内の変状箇所は補修設計対象とする



大串高架橋 P5～P6（上り） 6/8

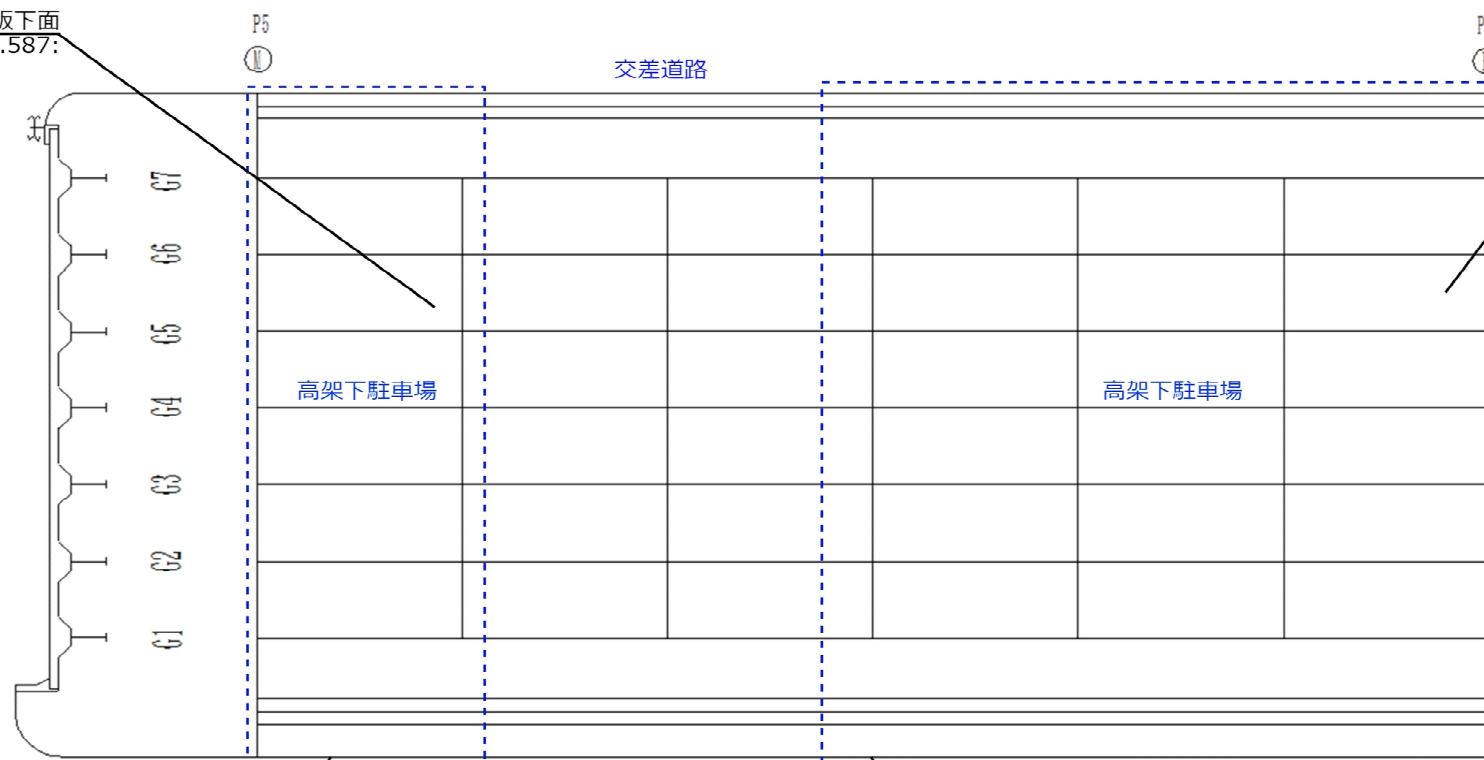
径間長： L=32.000m

P4～P7：鋼3径間連続非合成鈹桁橋(L=96.400m)

交差物件 駐車場

19-1050 エフロレッセンス-OK-e-0.02m2 張出し部（右）
上り線)185.587:

19-1051 ひび割れ（劣化による変状）-B-e-0.2m2 床版下面
上り線)185.587:

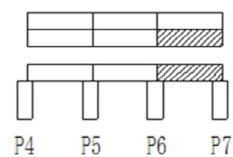


19-1052 ひび割れ（劣化による変状）-B-e-0.06m2 床版
上り線)185.587:

19-1166 ごみ・土砂等の堆積-A2---1箇所 区分なし
上り線)185.587:

19-1167 ひび割れ（劣化による変状）-B---0.08m2 左路肩・内側
上り線)185.587:

※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

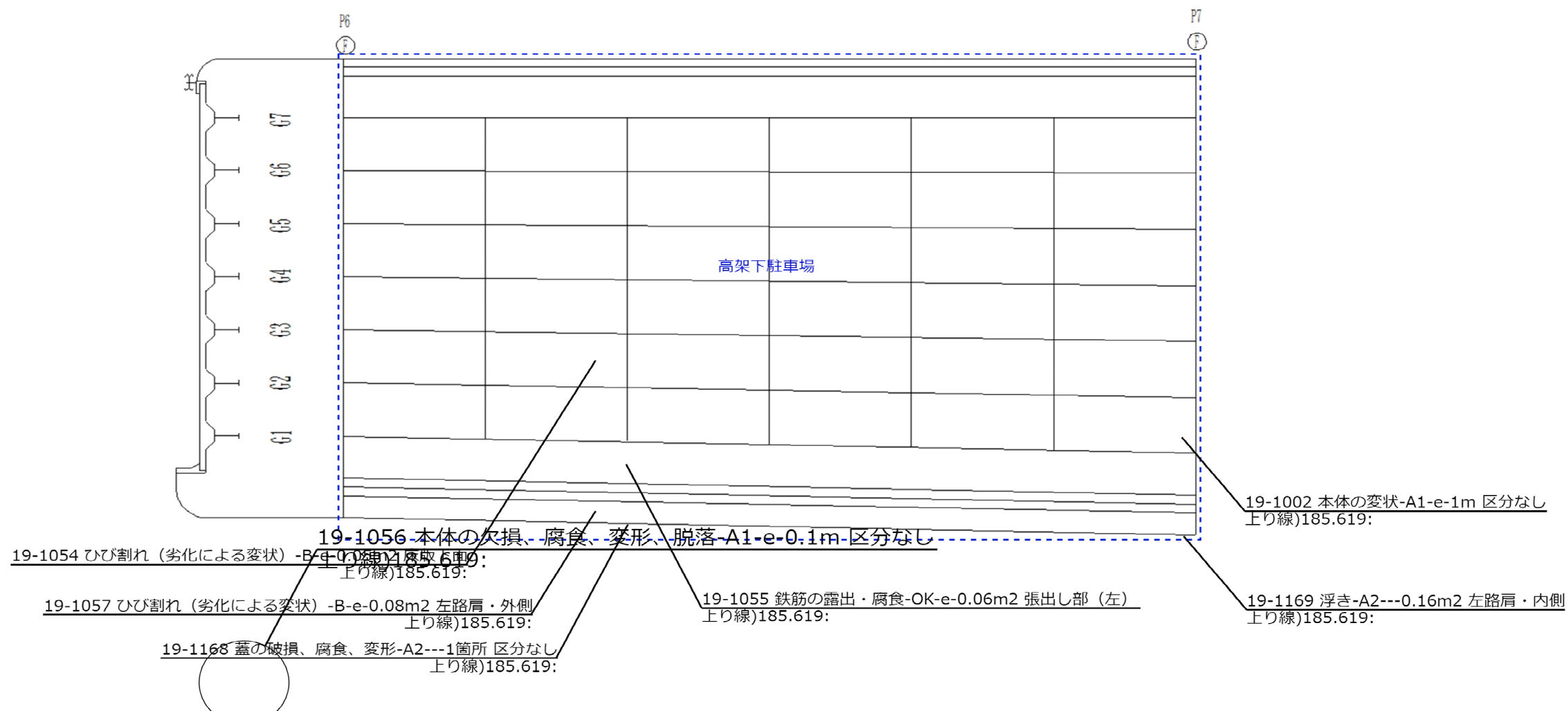


大串高架橋 P6～P7（上り） 7/8

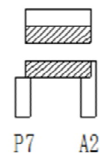
交差物件 駐車場

径間長： L=32.000m

P4～P7：鋼3径間連続非合成鈹桁橋(L=96.400m)



※はく落対策範囲内の変状箇所は補修設計対象とする

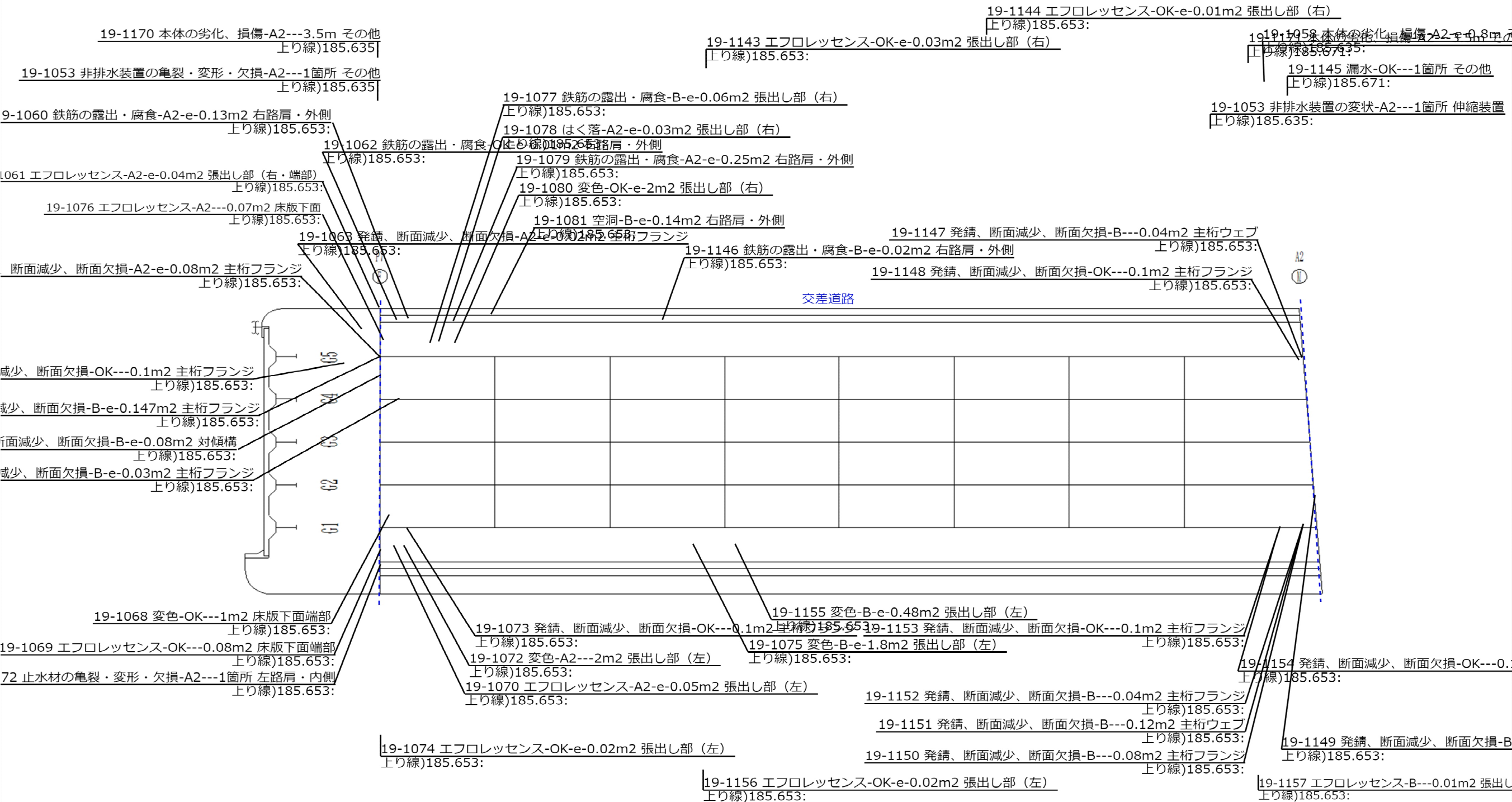


大串高架橋 P7～A2（上り） 8/8

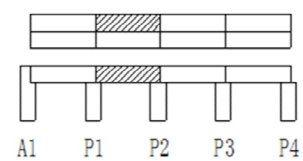
交差物件 国道51号線

径間長： L=36.250m

A1～P4：鋼単純非合成版桁橋(L=36.250m)



※はく落対策範囲内の変状箇所は補修設計対象とする

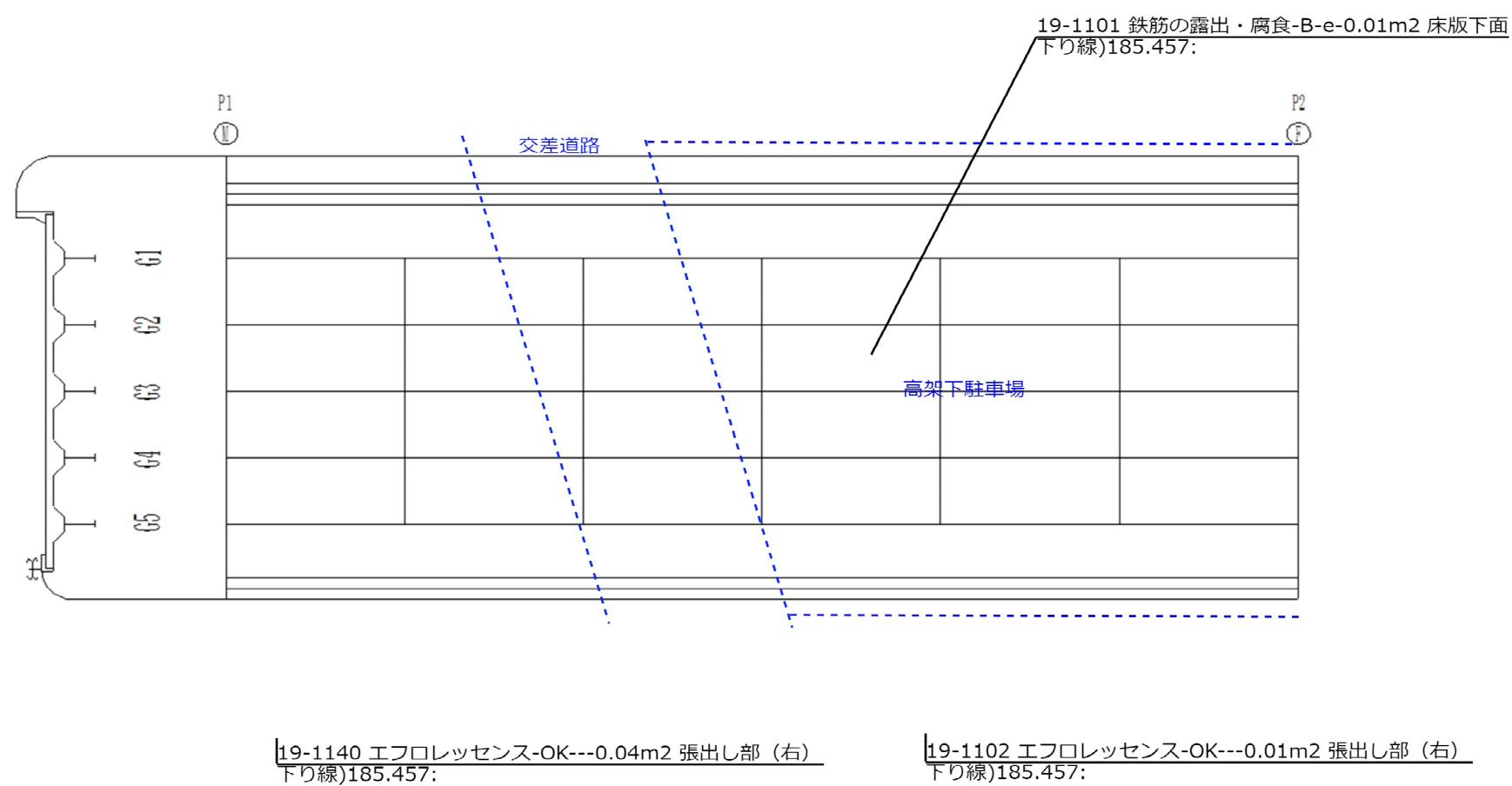


大串高架橋 P1～P2（下り） 2/8

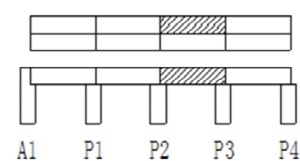
交差物件 駐車場

径間長： L=34.500m

A1～P4：鋼4径間連続非合成鈑桁橋(L=131.350m)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

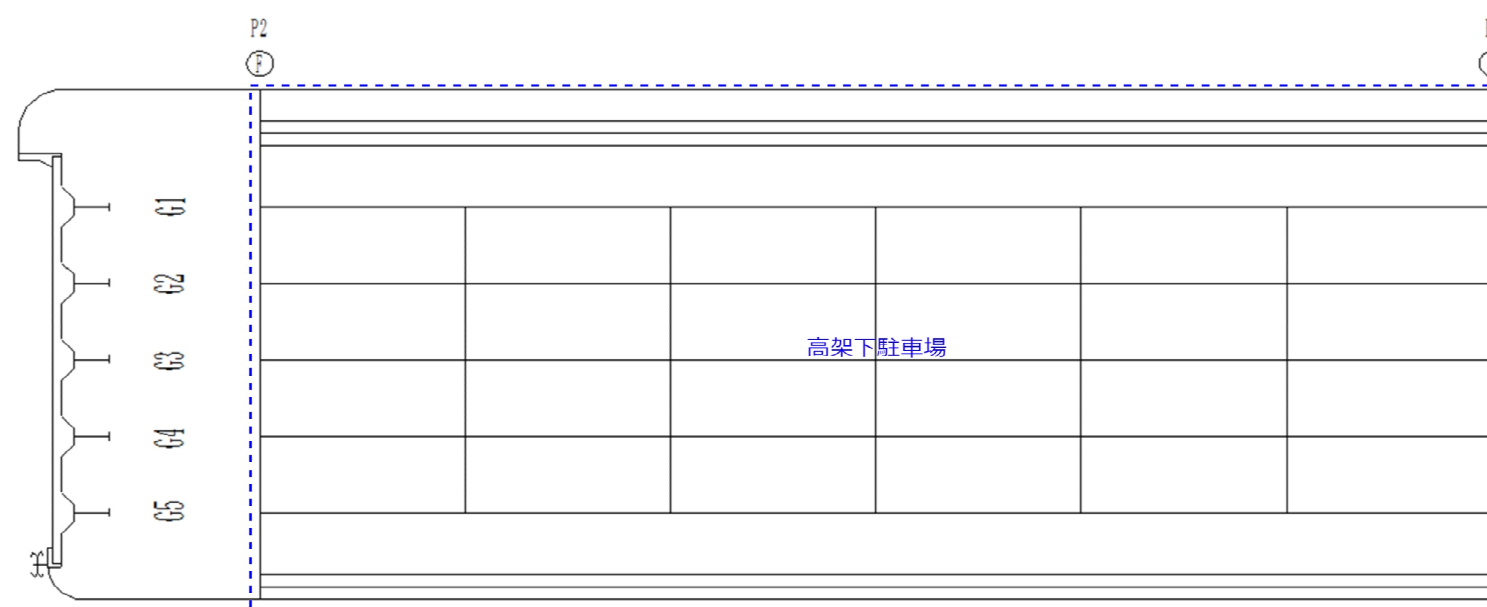


大串高架橋 P2～P3（下り） 3/8

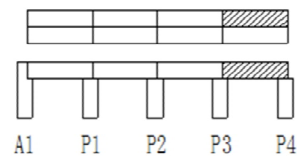
交差物件 駐車場

径間長： L=32.000m

A1～P4：鋼4径間連続非合成鈹桁橋(L=131.350m)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

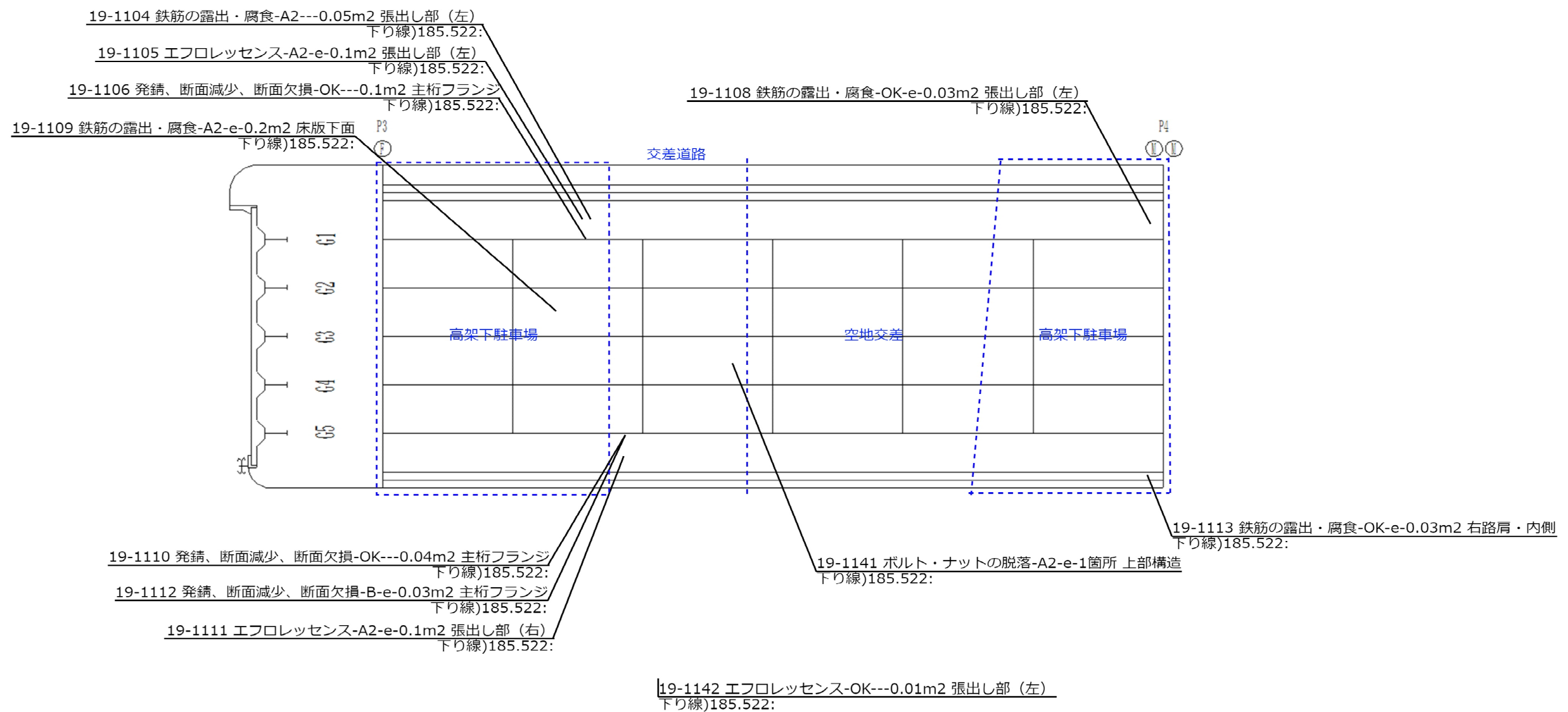


大串高架橋 P3～P4（下り） 4/8

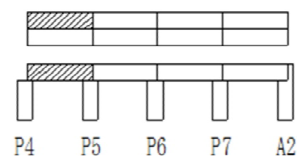
交差物件 駐車場

径間長： L=32.400m

A1～P4：鋼4径間連続非合成鈑桁橋(L=131.350m)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



大串高架橋 P4～P5（下り） 5/8

交差物件 駐車場

径間長： L=32.400m

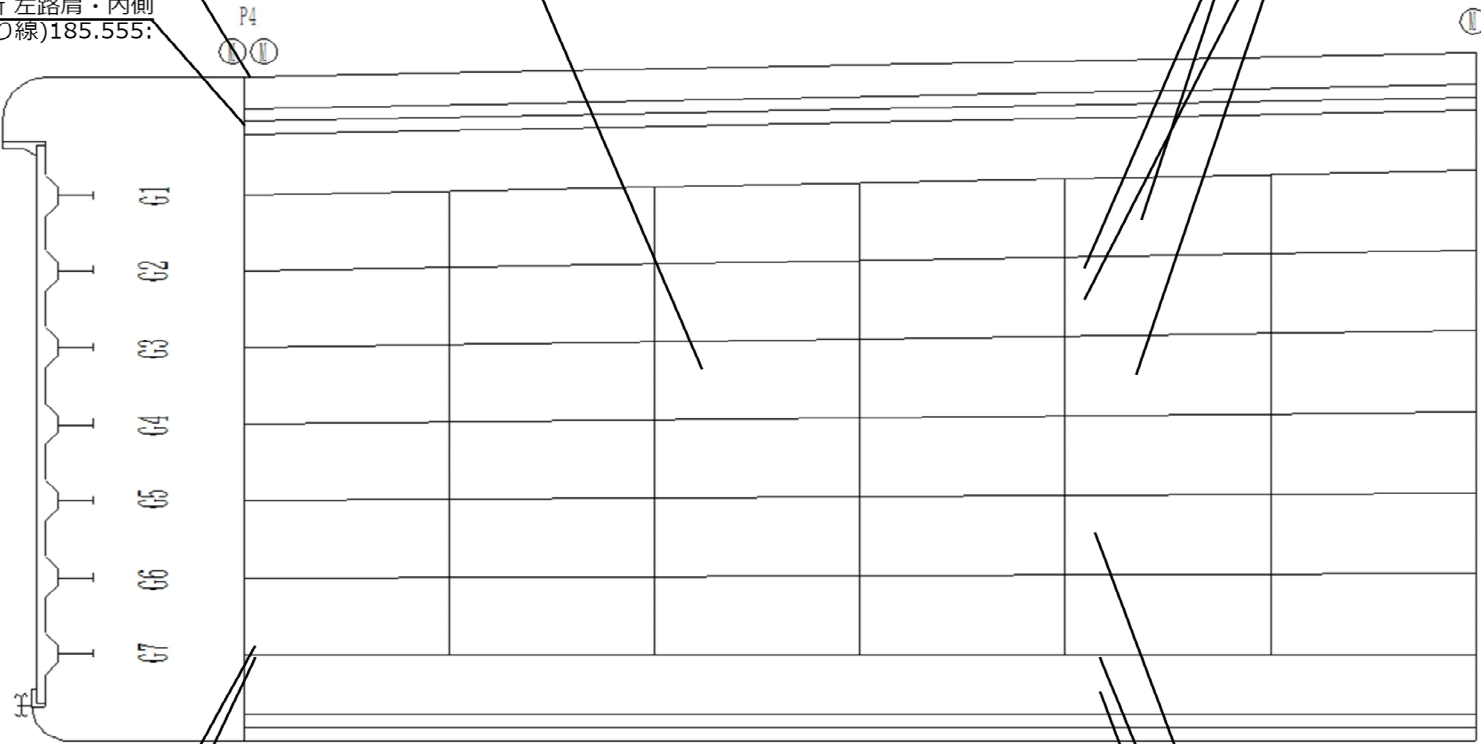
P4～A2：鋼4径間連続非合成鈑桁橋(L=132.650m)

19-1180 本体の劣化、損傷-A2---2.2m その他
下り線)185.538|

19-1118 ひび割れ（劣化による変状）-B-e-0.05m2 床版下面
下り線)185.555:

19-1183 浮き-A2---0.02m2 左路肩・内側
下り線)185.555:

19-1182 止水材の亀裂・変形・欠損-A2---1箇所 左路肩・内側
下り線)185.555:



19-1116 鉄筋の露出・腐食-A2-e-0.4m2 床版下面
下り線)185.555:

19-1117 はく落-A2-e-0.04m2 床版下面
下り線)185.555:

19-1120 鉄筋の露出・腐食-A2-e-0.3m2 床版下面
下り線)185.555:

19-1124 発錆、断面減少、断面欠損-B---0.02m2 主桁フランジ
下り線)185.555:

19-1115 発錆、断面減少、断面欠損-B---0.06m2 主桁フランジ
下り線)185.555:

19-1114 本体の劣化、損傷-A2---0.5m その他
下り線)185.538:

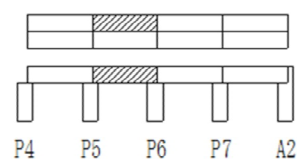
19-1107 非排水装置の変状-A2---1箇所 伸縮装置
下り線)185.538:

19-1123 鉄筋の露出・腐食-A2-e-0.15m2 床版下面
下り線)185.555:

19-1126 発錆、断面減少、断面欠損-B-e-0.06m2 主桁フランジ
下り線)185.555:

19-1127 エフロレッセンス-A2-e-0.06m2 張出し部（左）
下り線)185.555:

※はく落対策範囲内の変状箇所は補修設計対象とする

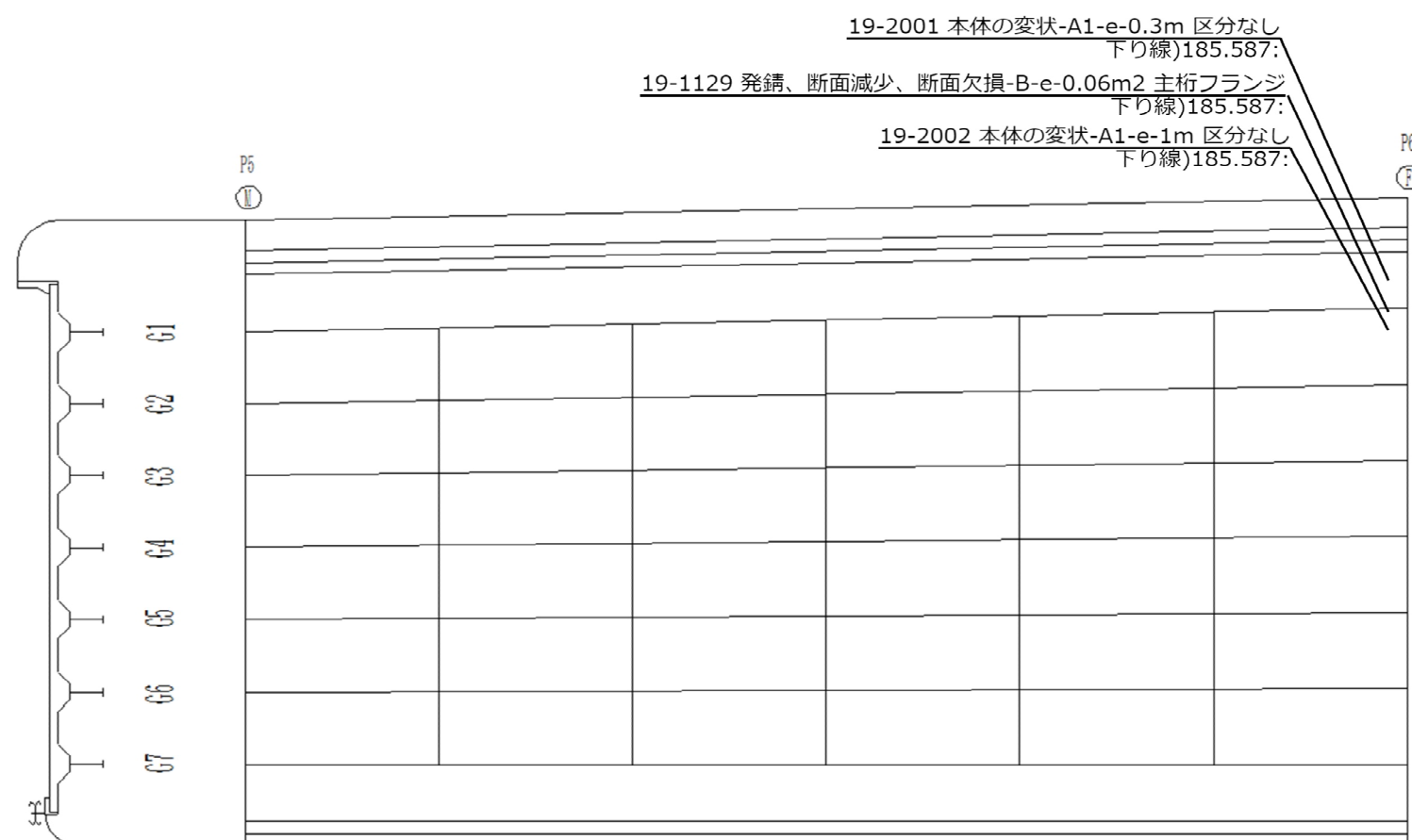


大串高架橋 P5～P6（下り） 6/8

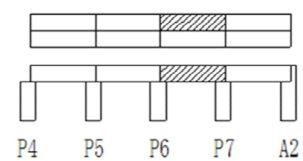
交差物件 駐車場

径間長： L=32.000m

P4～P7：鋼3径間連続非合成鈹桁橋(L=96.400m)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

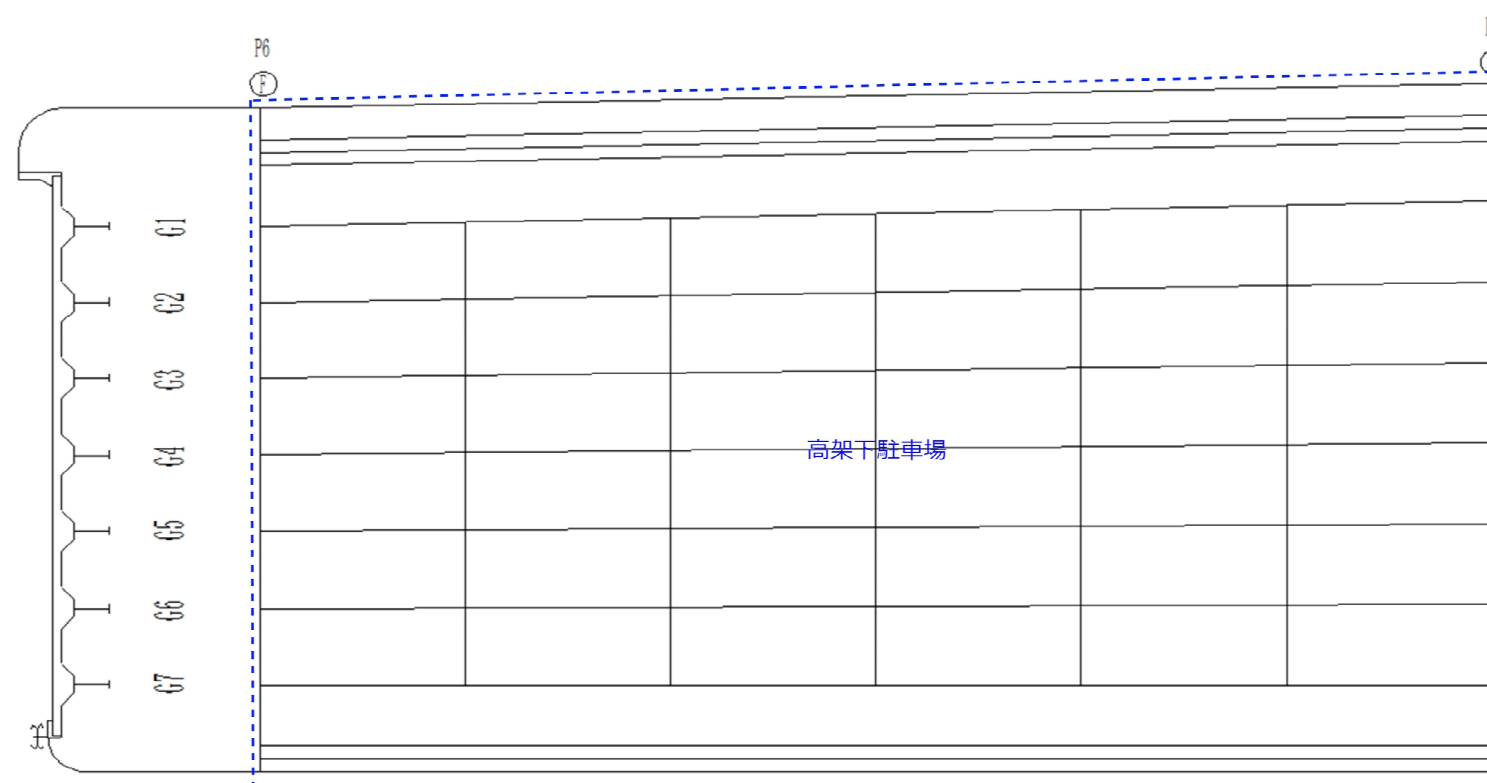


大串高架橋 P6～P7（下り） 7/8

交差物件 駐車場

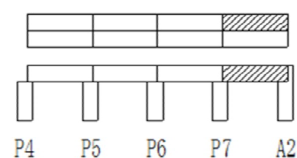
径間長： L=32.000m

P4～A2：鋼4径間連続非合成鈹桁橋(L=132.650m)



19-1131 エフロレッセンス-OK-e-0.01m2 張出し部（右）
下り線)185.619:

※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



大串高架橋 P7～A2（下り） 8/8

交差物件 国道51号線

径間長： L=36.250m

P4～A2：鋼4径間連続非合成鉄桁橋 (L=132.650m)

19-1188 本体の劣化、損傷-A2---6.4m その他
下り線)185.671:

19-1146 エフロレッセンス-B-e-0.01m2 左路肩・外側
下り線)185.653:

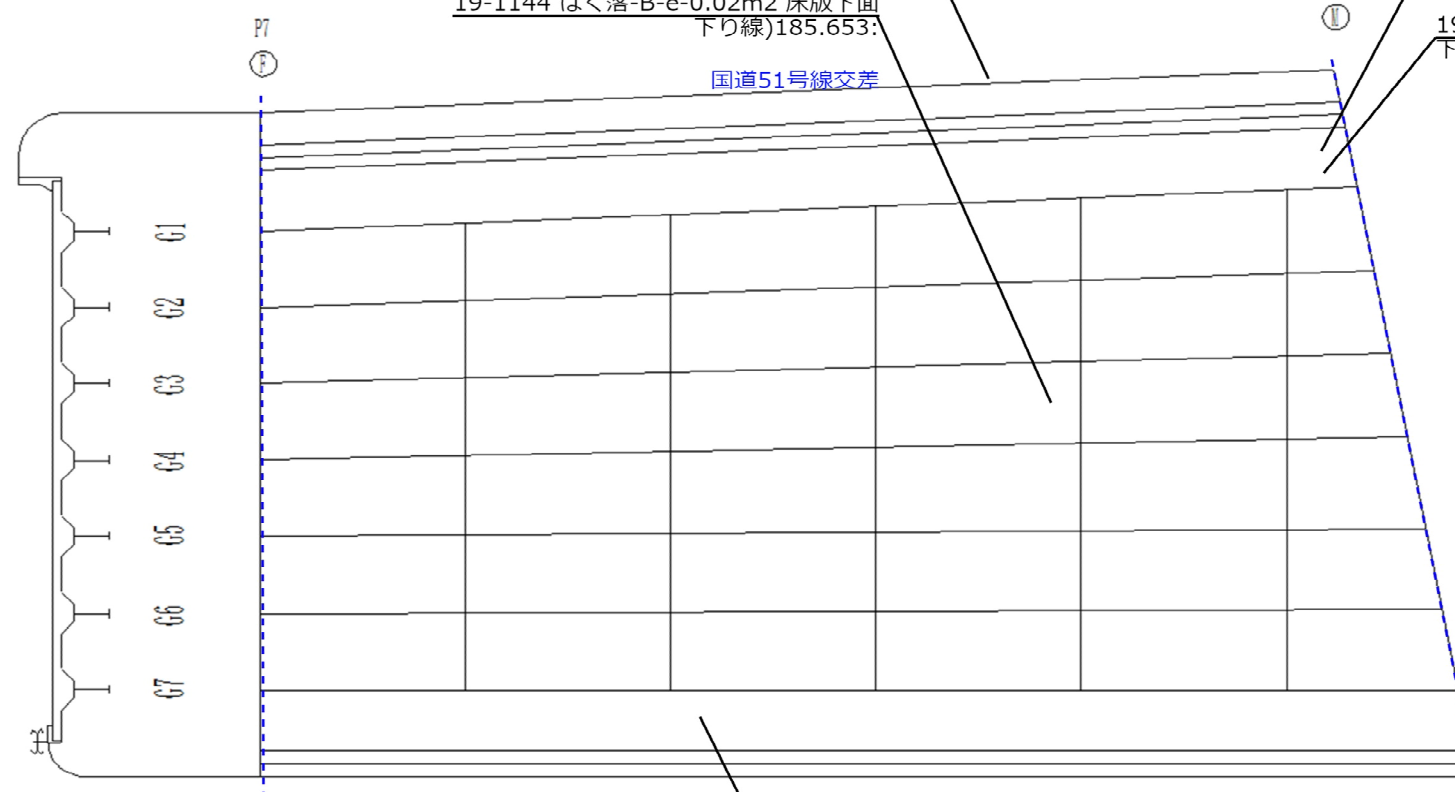
19-1187 ひび割れ（劣化による変状）-B---0.08m2 左路肩・内側
下り線)185.653:

19-1144 はく落-B-e-0.02m2 床版下面
下り線)185.653:

国道51号線交差

19-1145 はく落-B-e-0.02m2 張出し部（左）
下り線)185.653:

19-2005 本体の欠損、腐食、変形、脱落-A2-e-1箇所 区分なし
下り線)185.653:

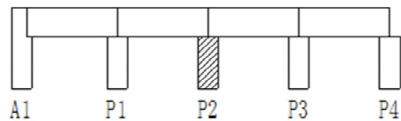


19-1148 空洞-B-e-0.08m2 張出し部（左）
下り線)185.653:

19-1149 エフロレッセンス-B-e-0.01m2 張出し部（左）
下り線)185.653:

19-1147 本体の劣化、損傷-A2---0.2m その他
下り線)185.671:

※はく落対策範囲内の変状箇所は補修設計対象とする

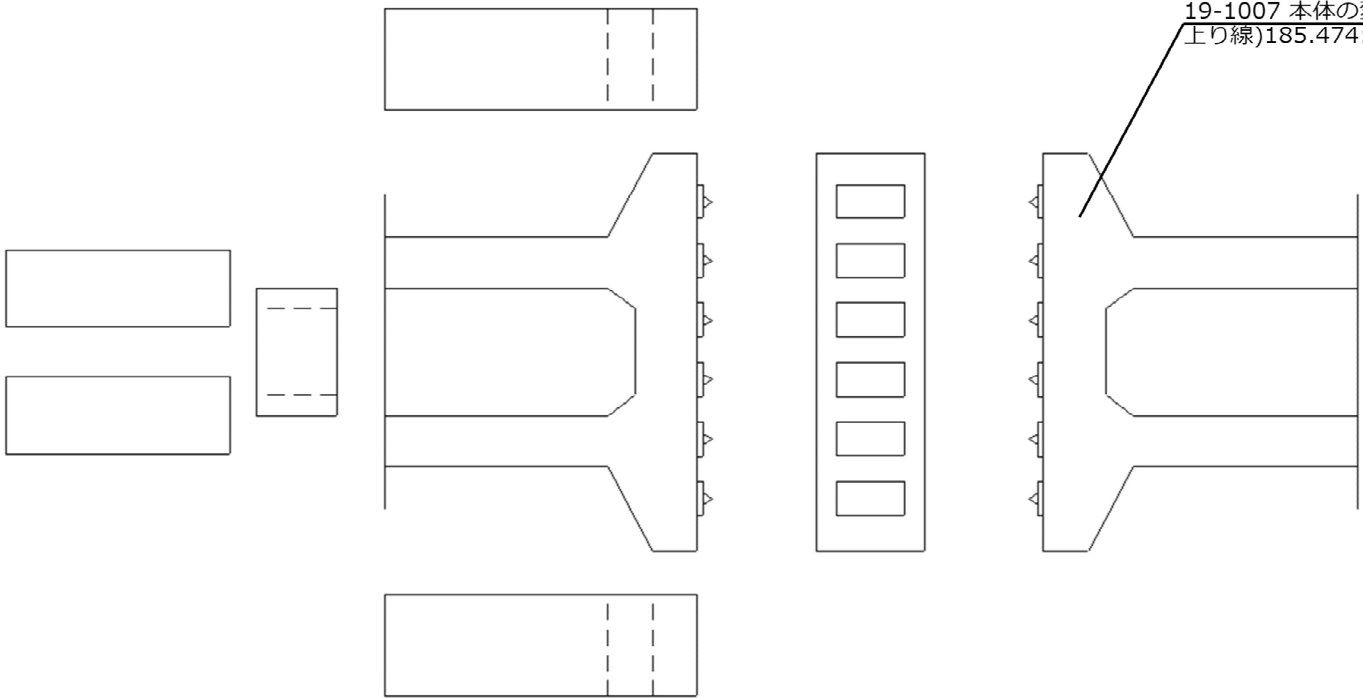


大串高架橋 P2（上り）

交差物件 駐車場

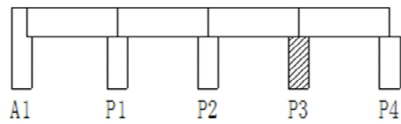
大串高架橋
支承種別 BP
支承基数 6基

←上り



19-1007 本体の変状-A1---0.8m 区分なし
上り線)185.474:

※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



大串高架橋 P3（上り）

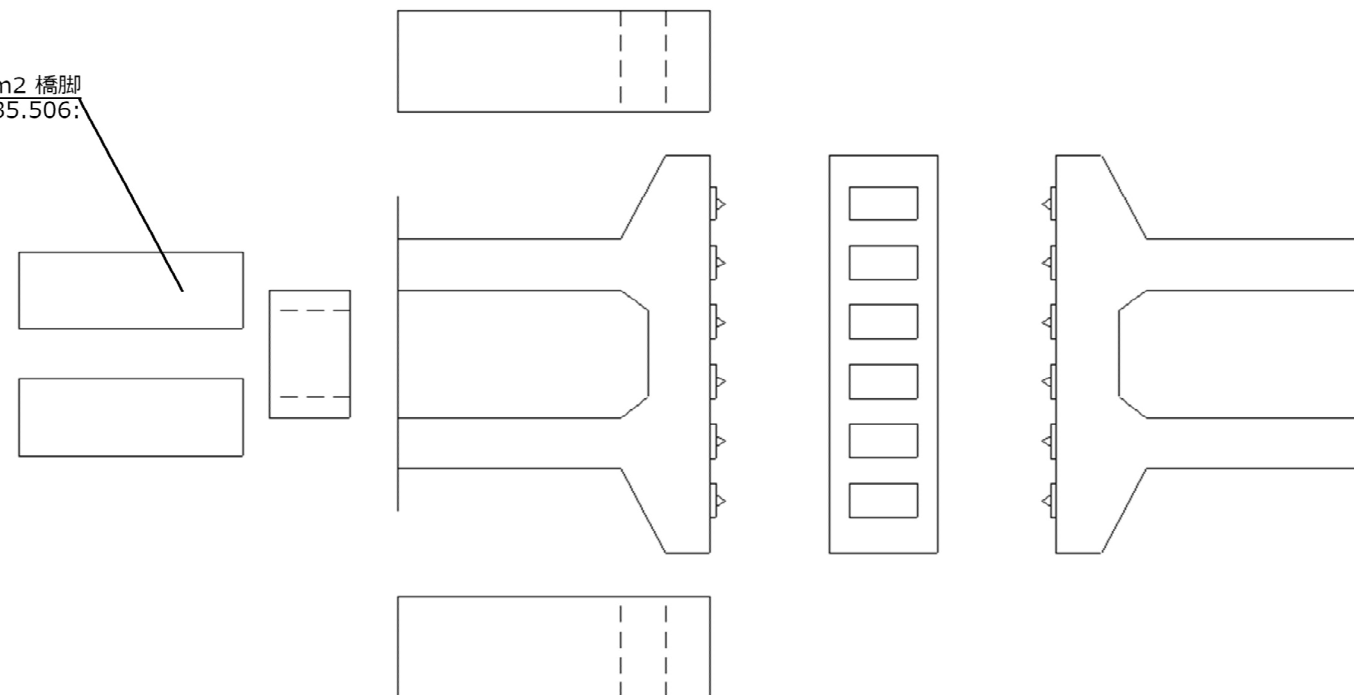
交差物件 駐車場

大串高架橋

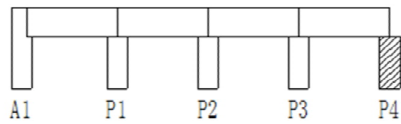
支承種別 BP
支承基数 6基

19-1022 異物混入-OK-e-0.01m2 橋脚
上り線)185.506:

←上り



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



大串高架橋 P4（上り）

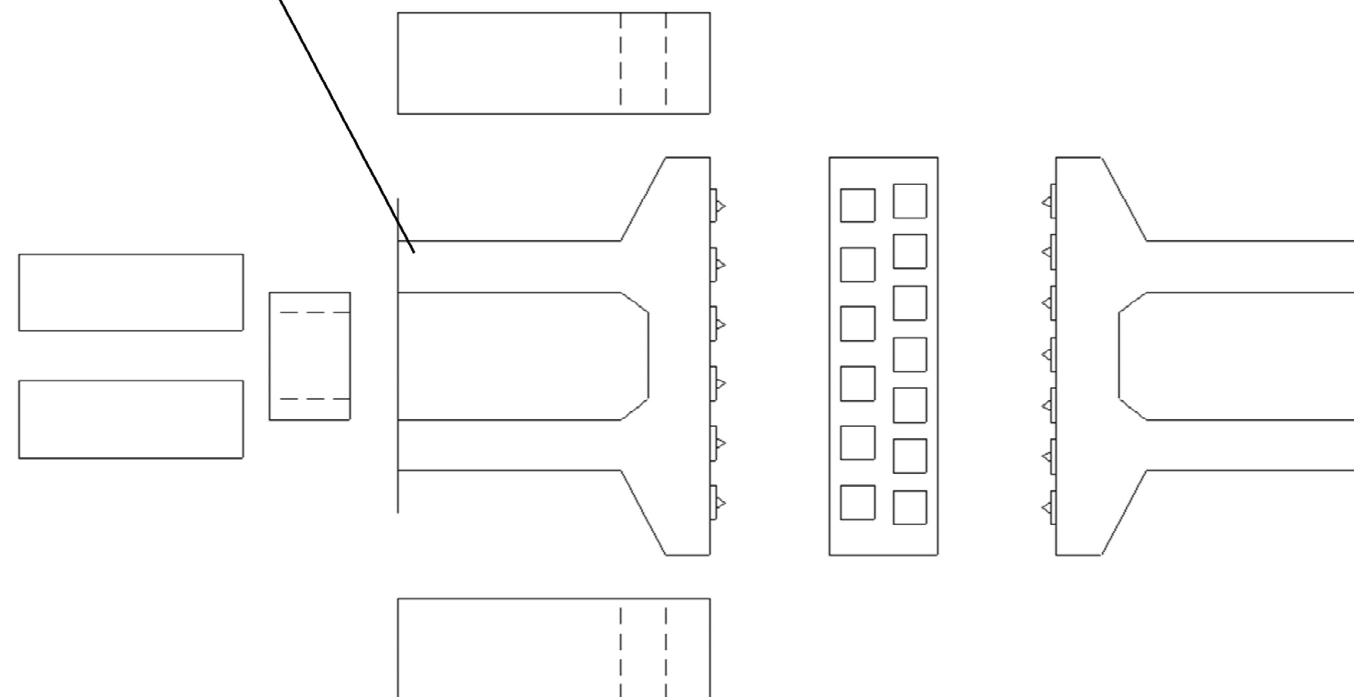
交差物件 駐車場

大串高架橋

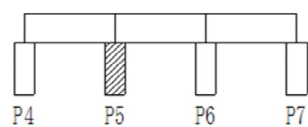
支承種別 BP
支承基数 13基

19-1037 取付金具の腐食-A2-e-1箇所 区分なし
上り線)185.538:

←上り



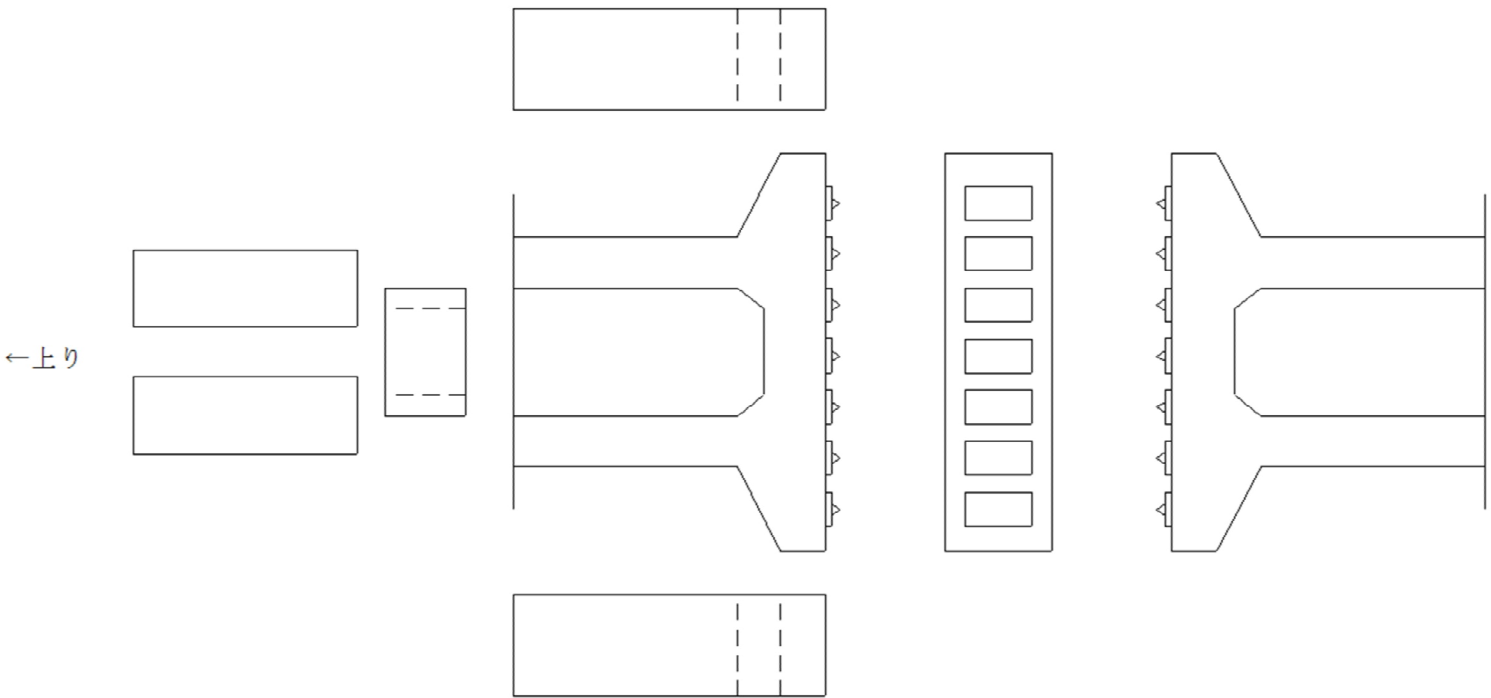
※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



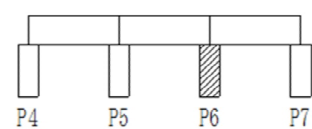
大串高架橋 P5 （上り）

交差物件 駐車場

大串高架橋
支 承 種 別 BP
支 承 基 数 7基



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



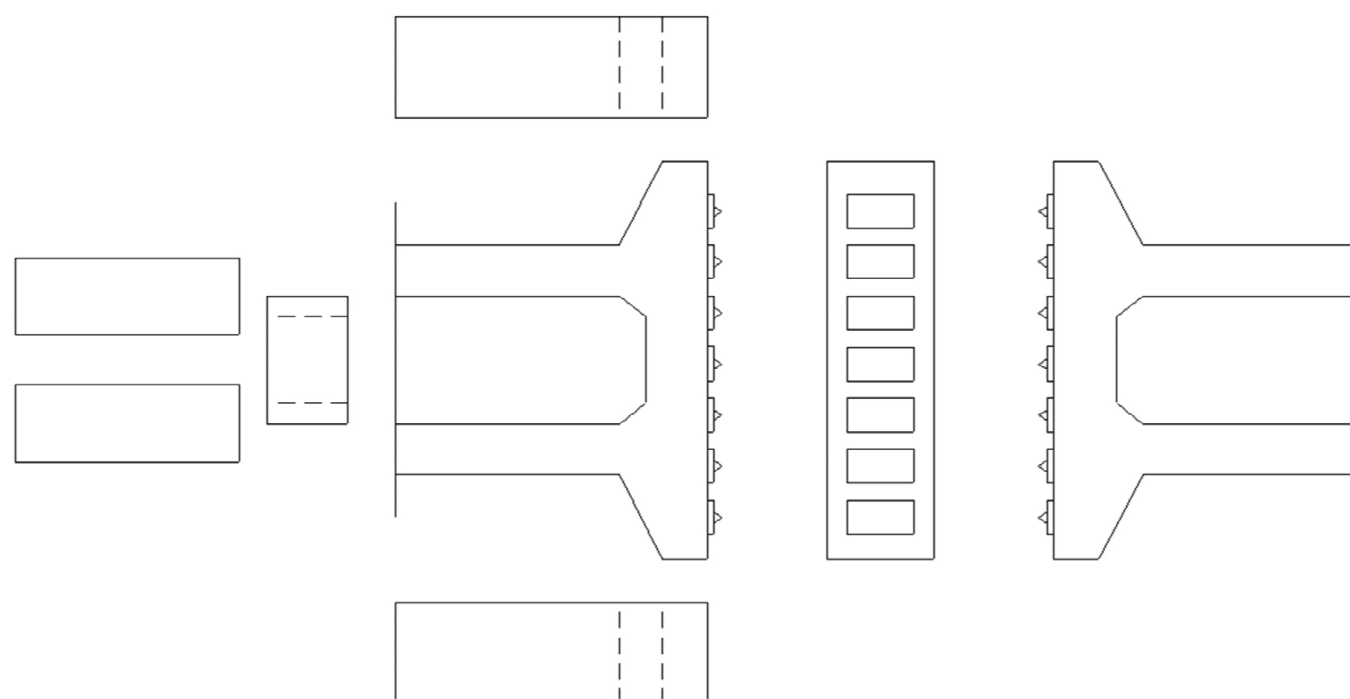
大串高架橋 P6 （上り）

交差物件 駐車場

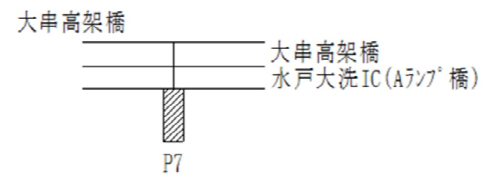
大串高架橋

支承種別 BP
支承基数 7基

←上り

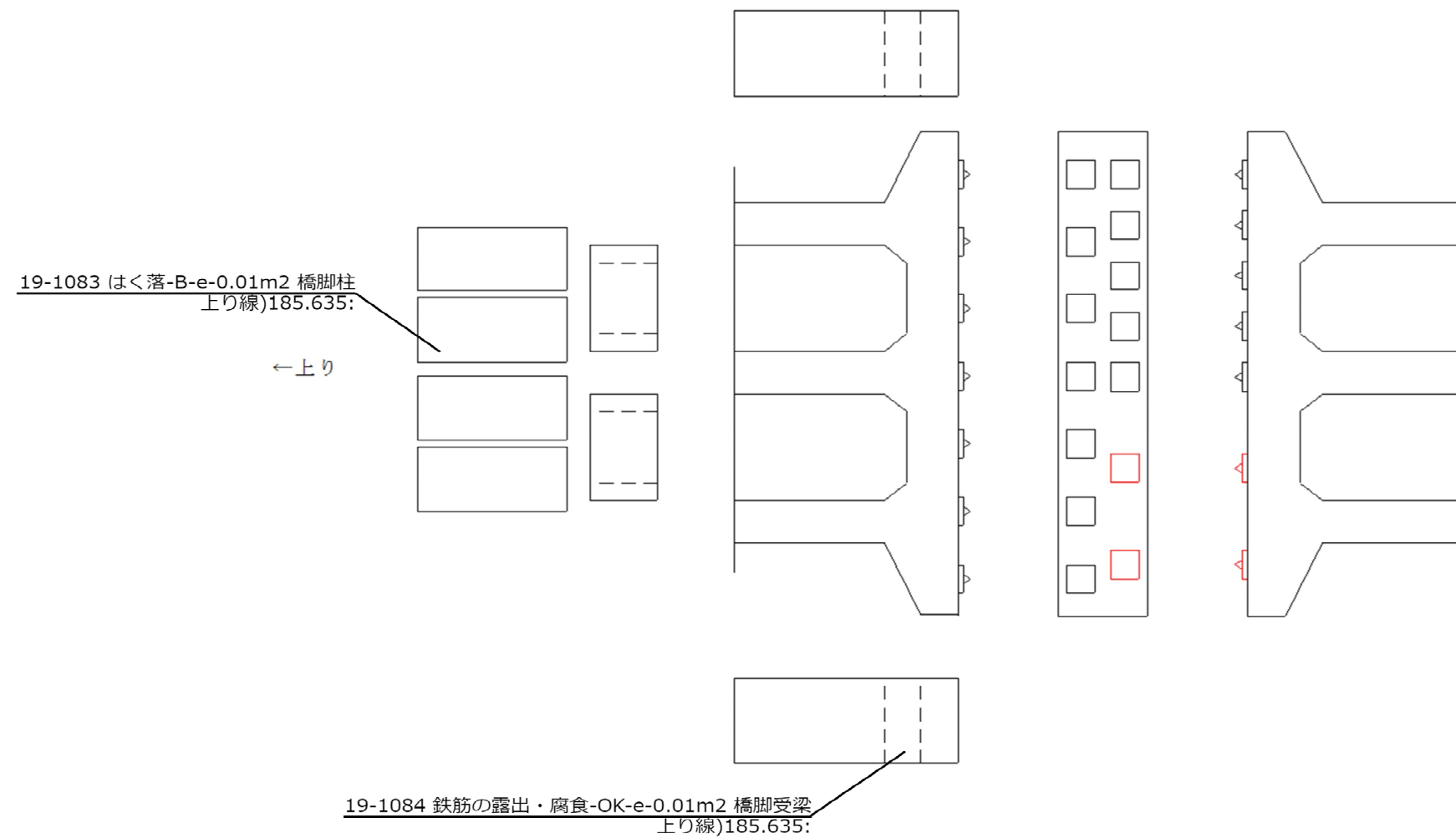


※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

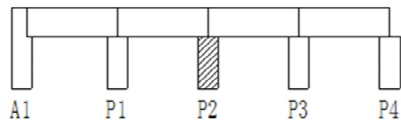


大串高架橋・水戸大洗IC(Aランプ橋) P7 (上り) 交差物件 国道51号線、駐車場

大串高架橋	支承種別	BP
	支承基数	12基
水戸大洗IC(Aランプ橋)	支承種別	BP
	支承基数	2基



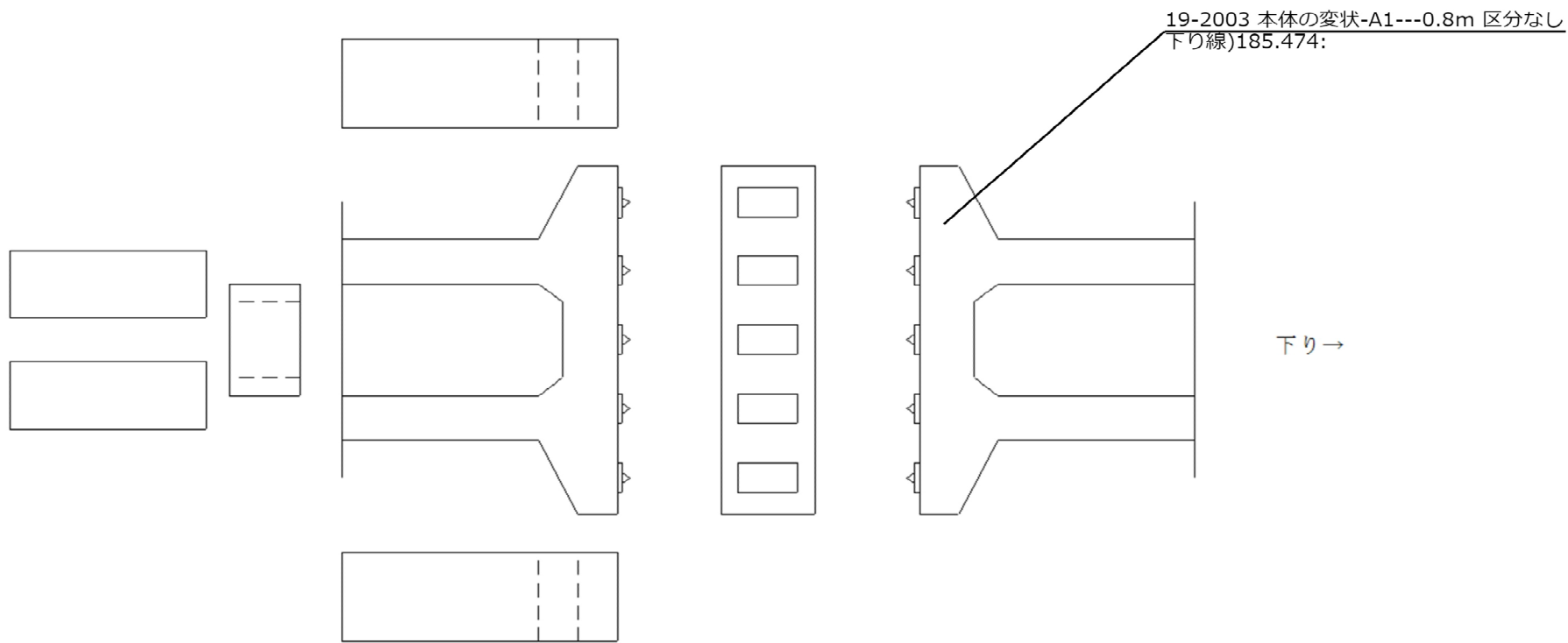
※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



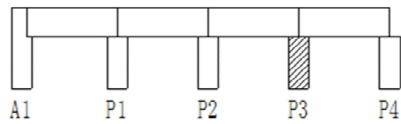
大串高架橋 P2（下り）

交差物件 駐車場

大串高架橋 支承種別 BP
 支承基数 5基



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

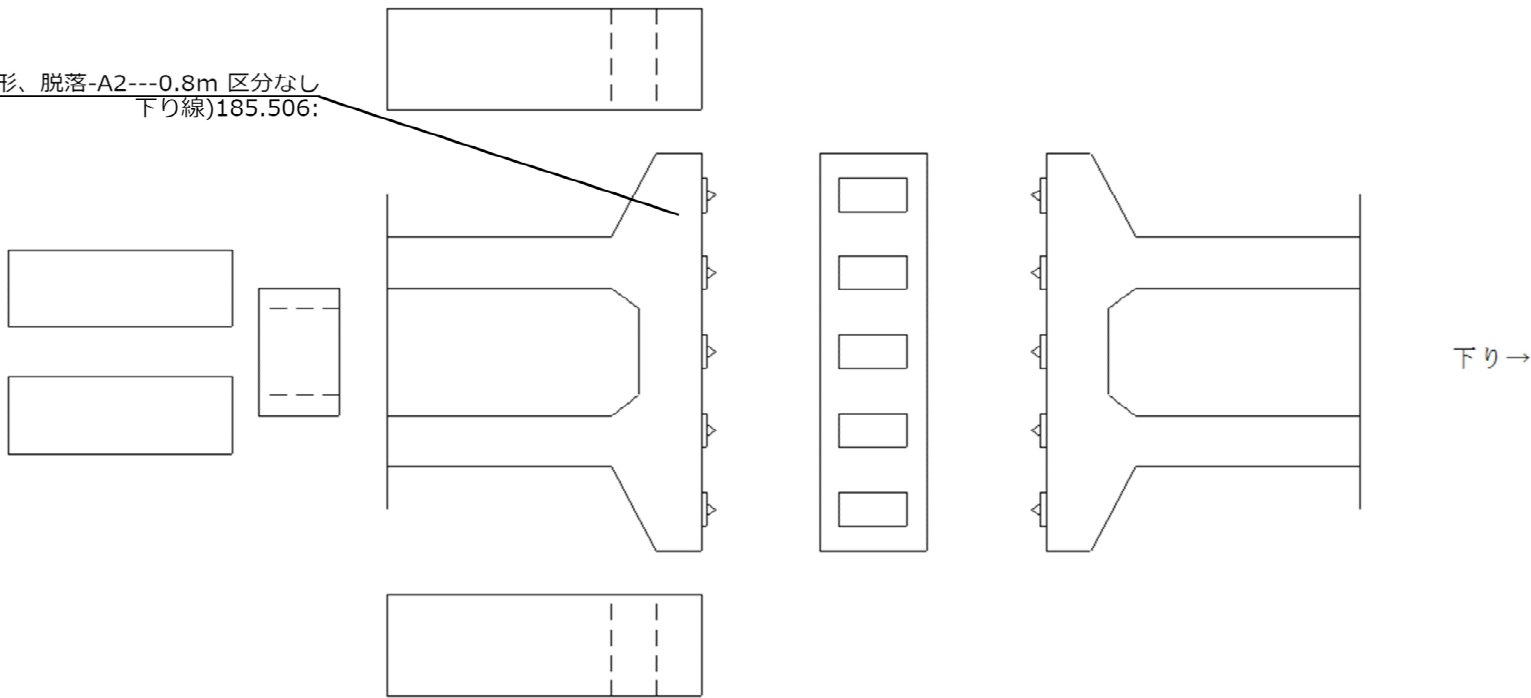


大串高架橋 P3（下り）

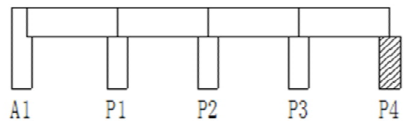
交差物件 駐車場

大串高架橋
支承種別 BP
支承基数 5基

19-1103 本体の欠損、腐食、変形、脱落-A2---0.8m 区分なし
下り線)185.506:



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



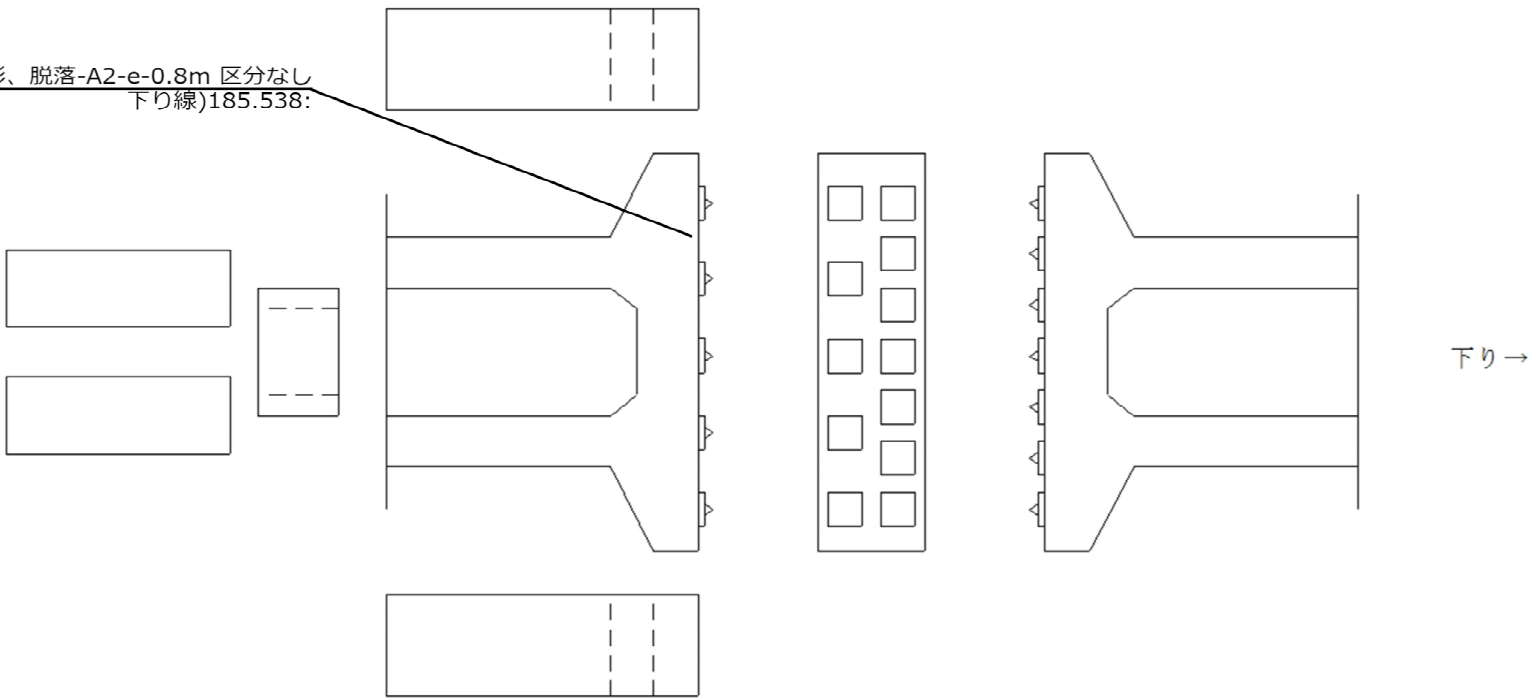
大串高架橋 P4（下り）

交差物件 駐車場

大串高架橋

支承種別 BP
支承基数 12基

19-1115 本体の欠損、腐食、変形、脱落-A2-e-0.8m 区分なし
下り線)185.538:



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

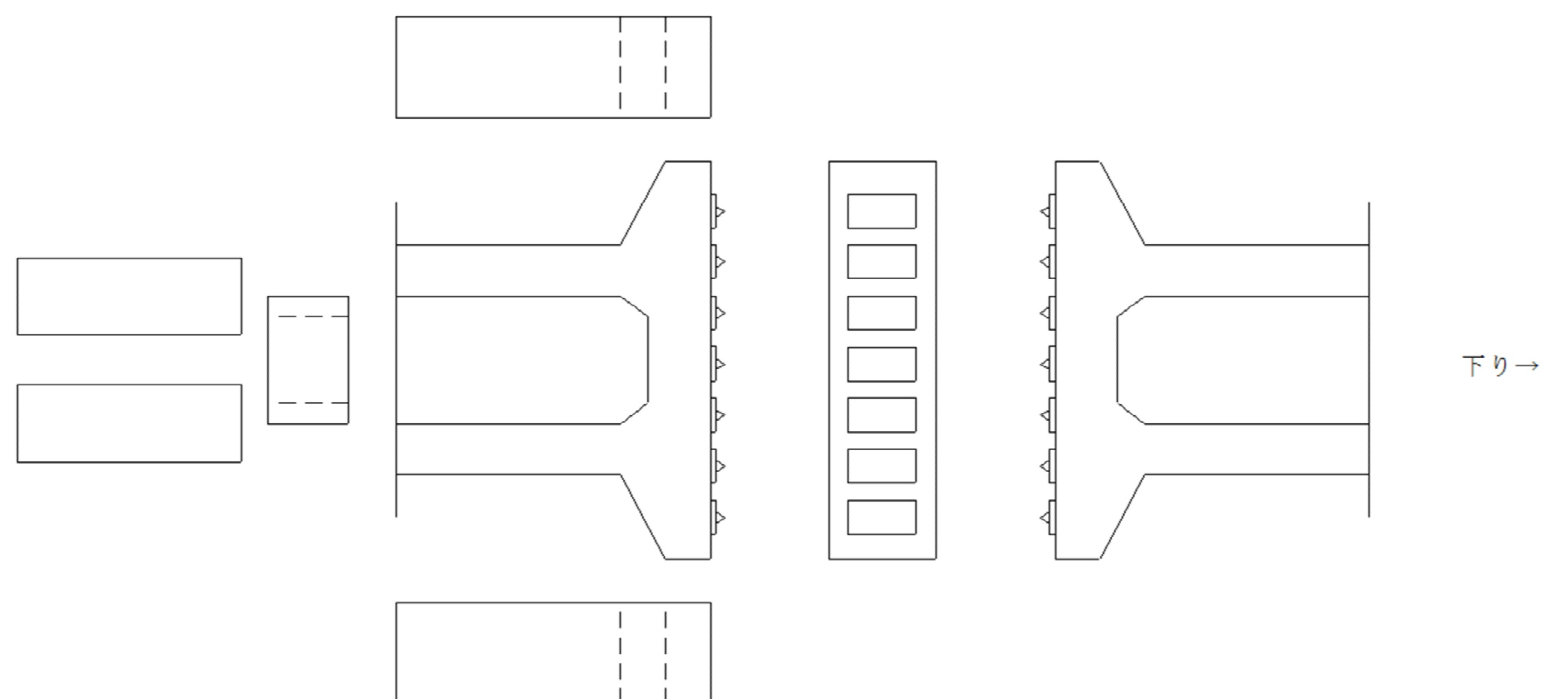


大串高架橋 P5 （下り）

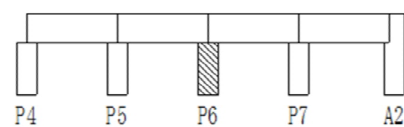
交差物件 駐車場

大串高架橋

支承種別 BP
支承基数 7基



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



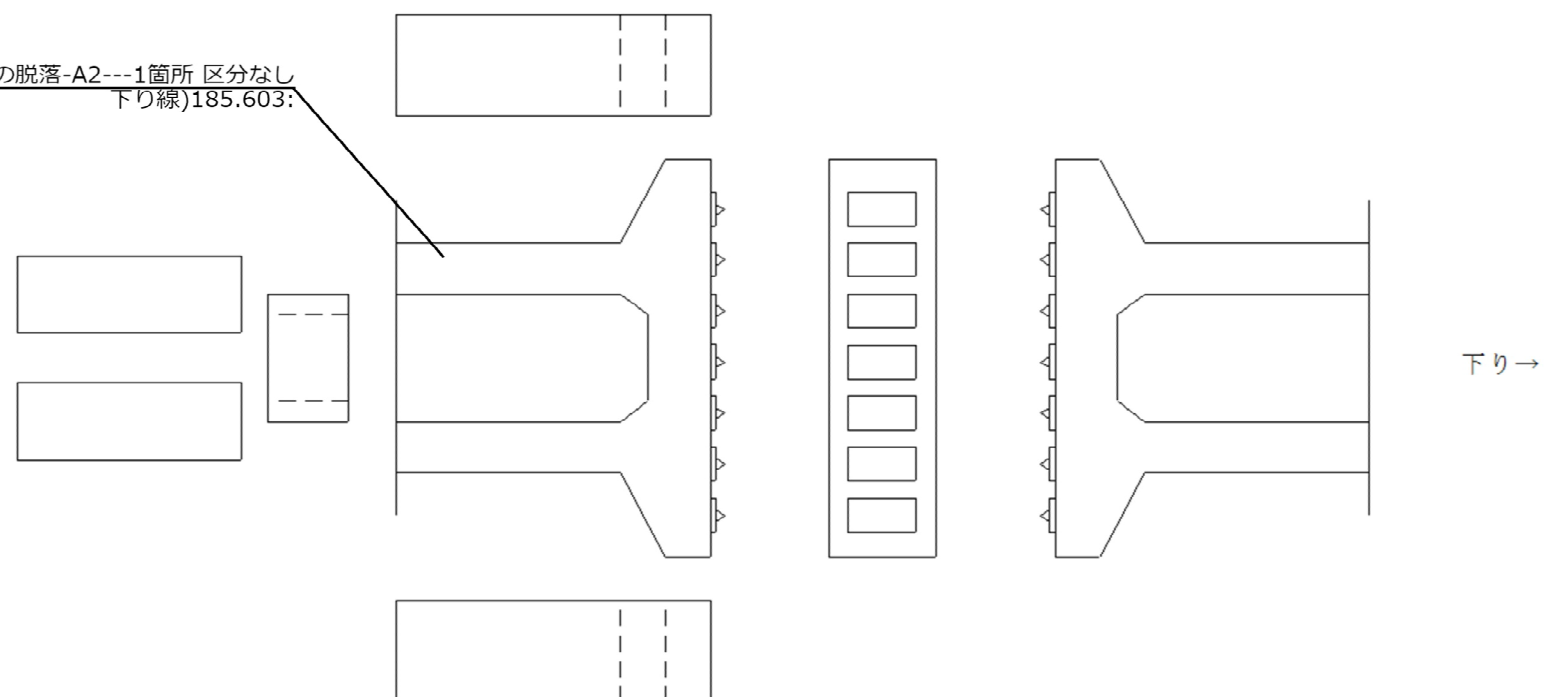
大串高架橋 P6 （下り）

交差物件 駐車場

大串高架橋

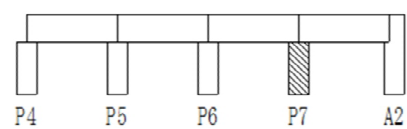
支承種別 BP
支承基数 7基

19-1130 ボルト・ナットの脱落-A2---1箇所 区分なし
下り線)185.603:



下り→

※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



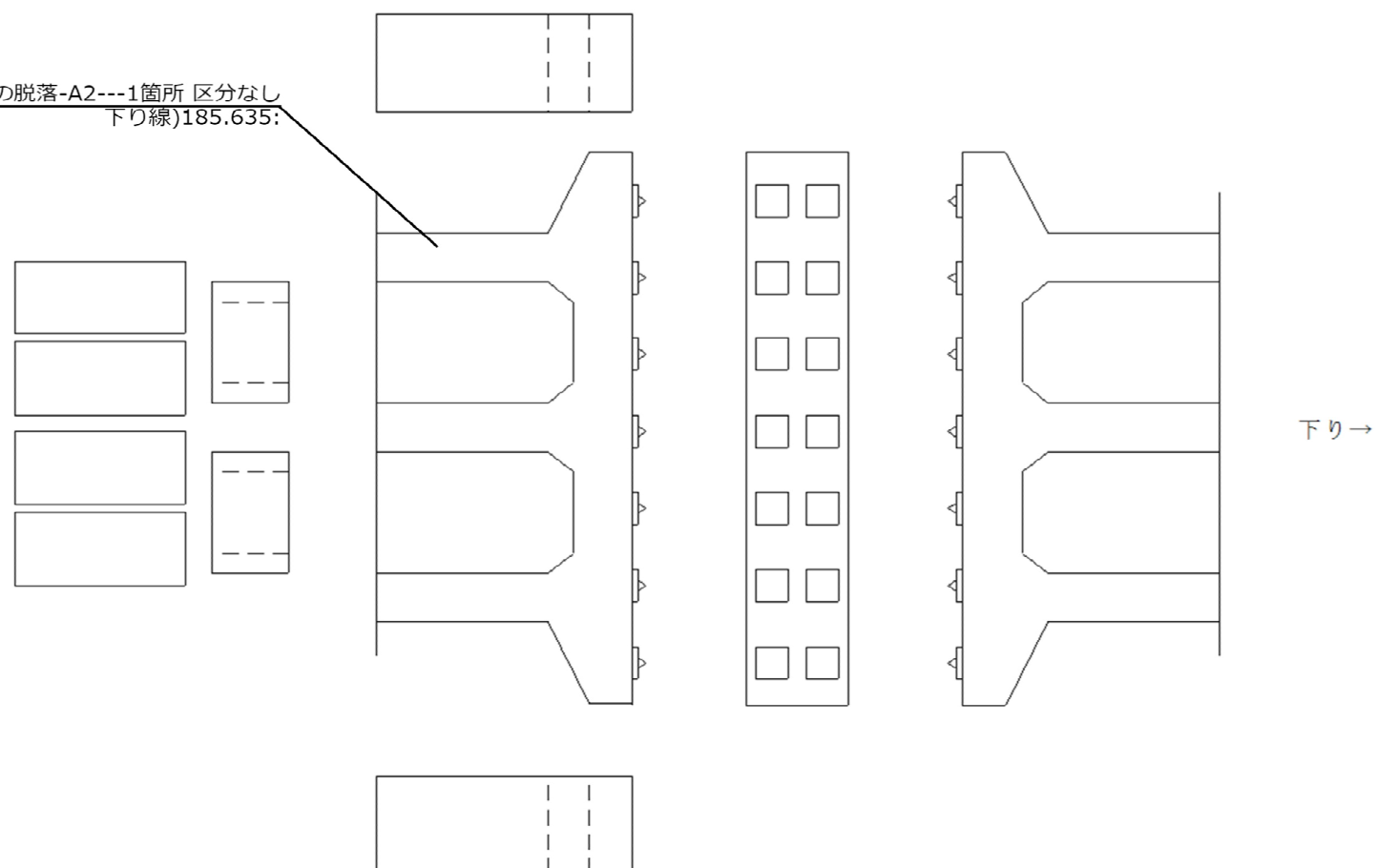
大串高架橋 P7 （下り）

交差物件 国道51号線、駐車場

大串高架橋

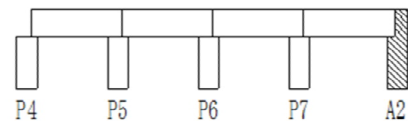
支承種別 BP
支承基数 7基

19-1132 ボルト・ナットの脱落-A2---1箇所 区分なし
下り線)185.635:



下り→

※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

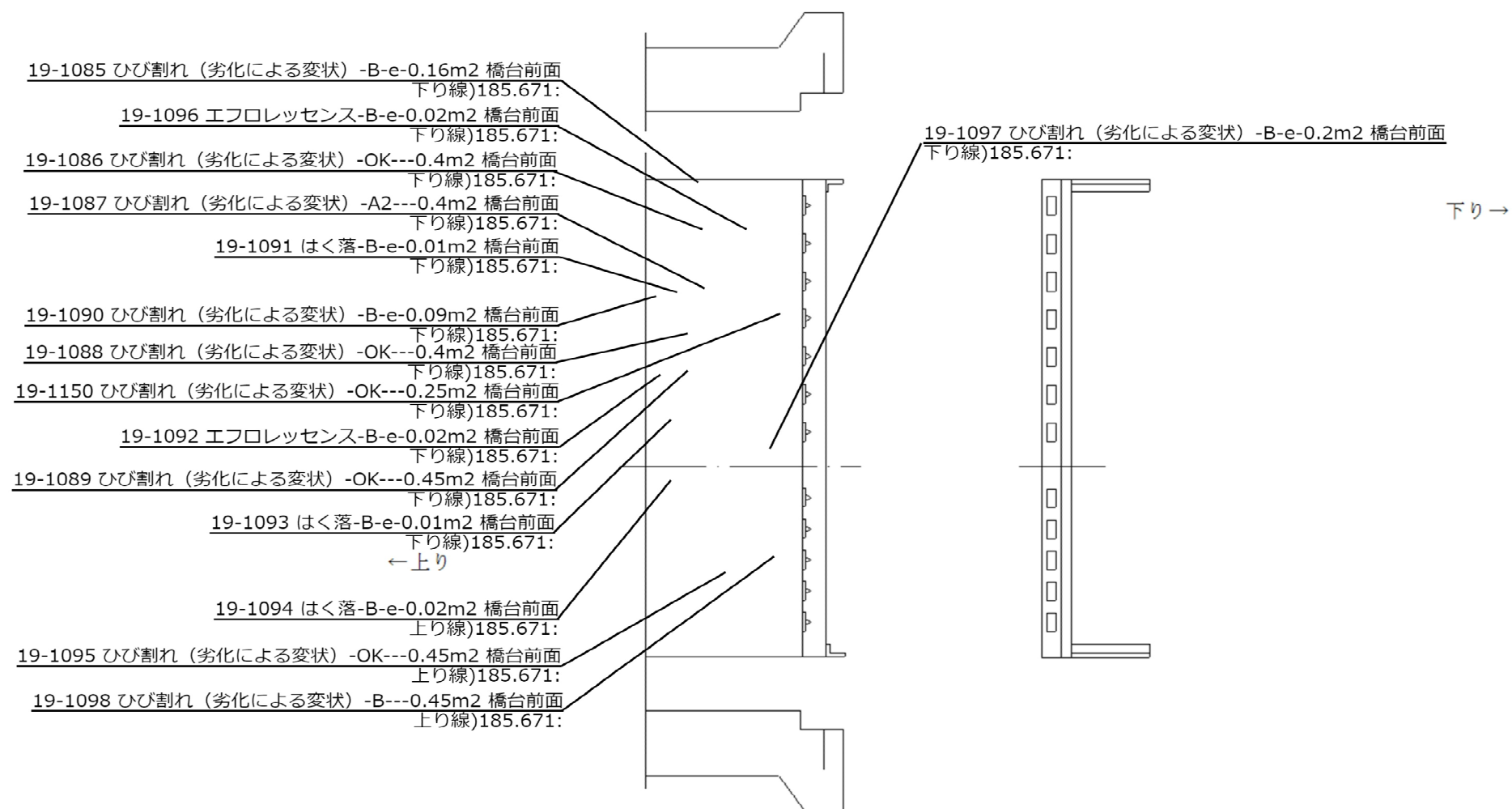


大串高架橋 A2（上・下）

交差物件 国道51号線

大串高架橋

支承種別 BP
支承基数 12基

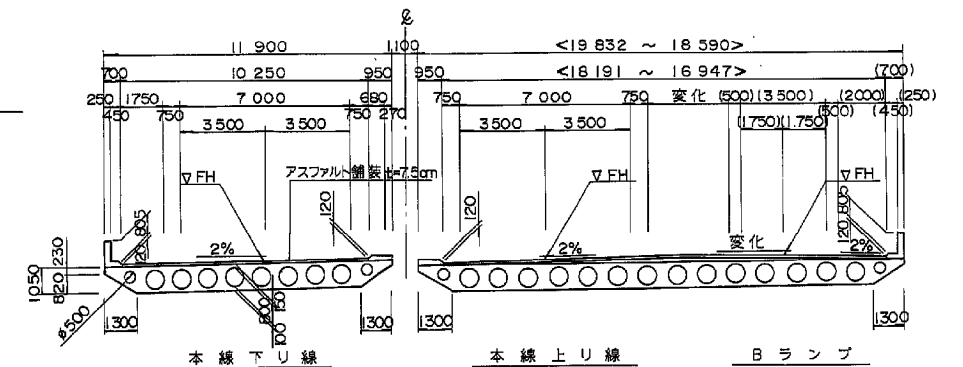


下り→

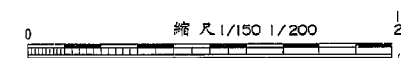
※はく落対策範囲内の変状箇所は補修設計対象とする

水戸大洗 I C 橋

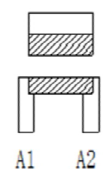
(※く)内橋台高さは上り線中心での値を示す。



2) <>内は 中心線上斜角より法線方向に換算した寸法



水戸管理事務所管内			
はく落対策工事免注用図面作成業務			
図面の種類	水戸大洗 I C 橋 一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

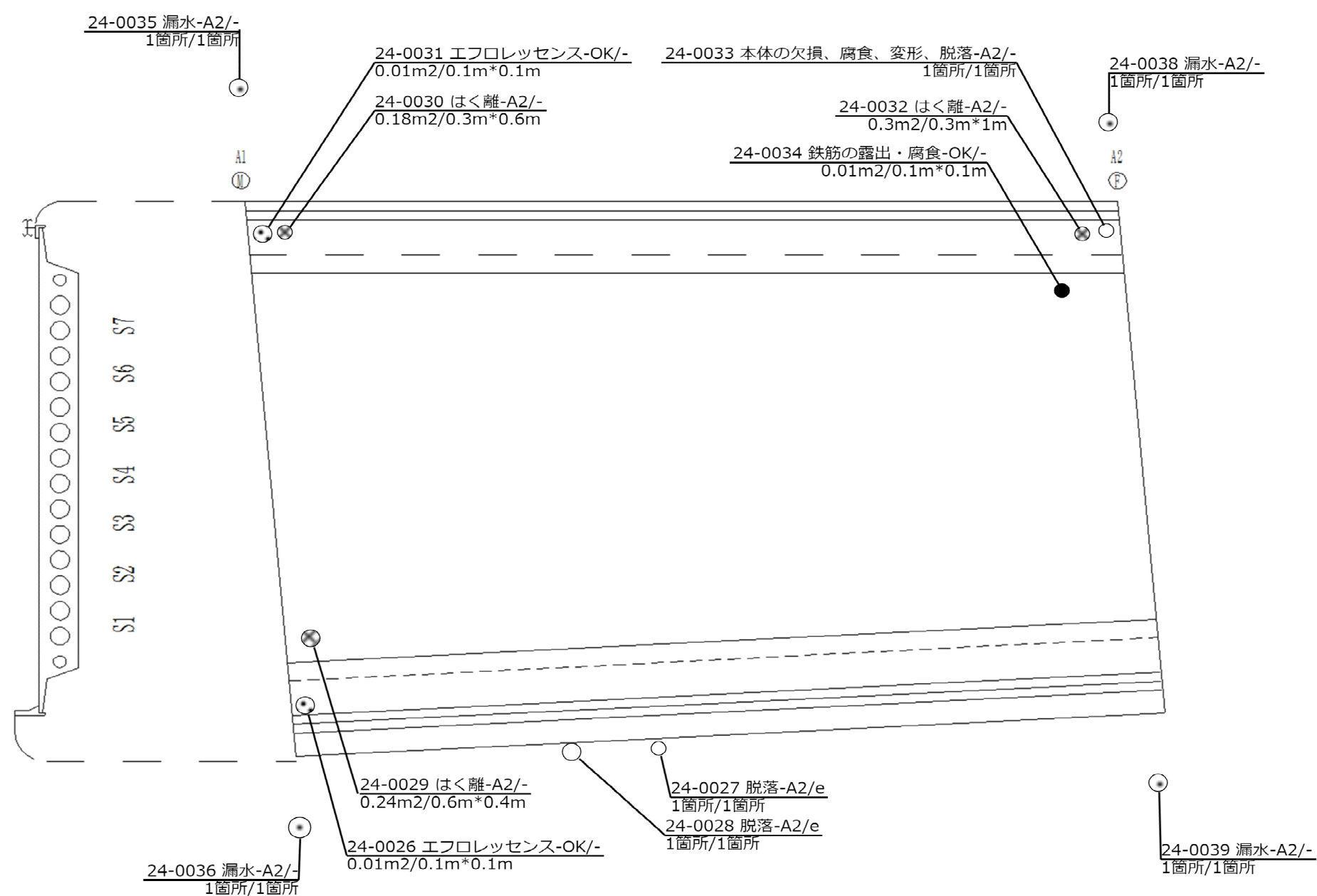


水戸大洗IC橋 A1～A2（上り） 1/1

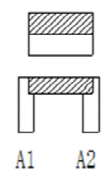
交差物件 水戸大洗IC A,Bランプ

径間長： L=22.600m

A1～A2：PC単純中空床版橋(L=22.600m)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

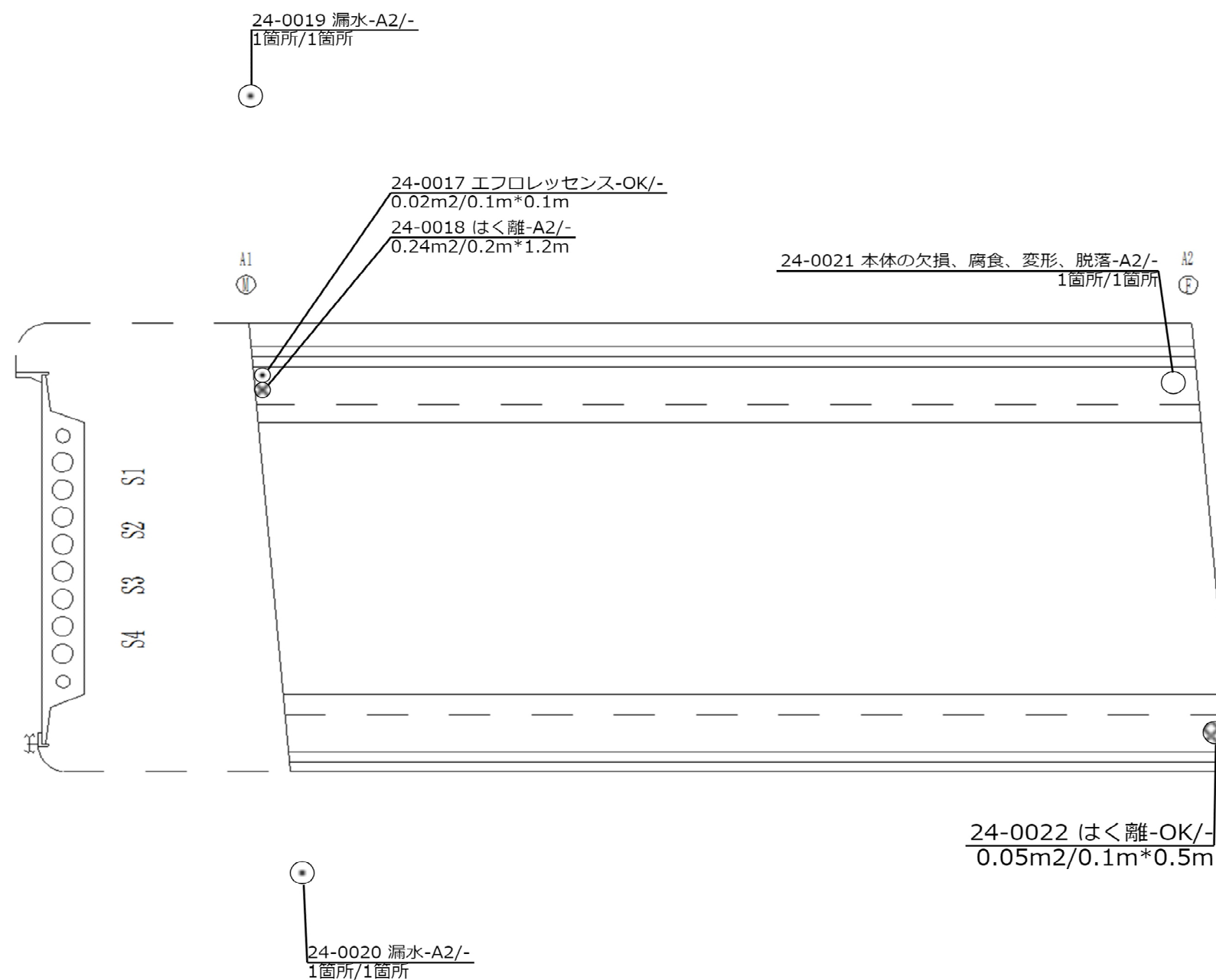


水戸大洗IC橋 A1～A2（下り） 1/1

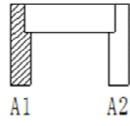
交差物件 水戸大洗IC A,Bランプ

径間長： L=23.000m

A1～A2：PC単純中空床版橋(L=23.000m)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする



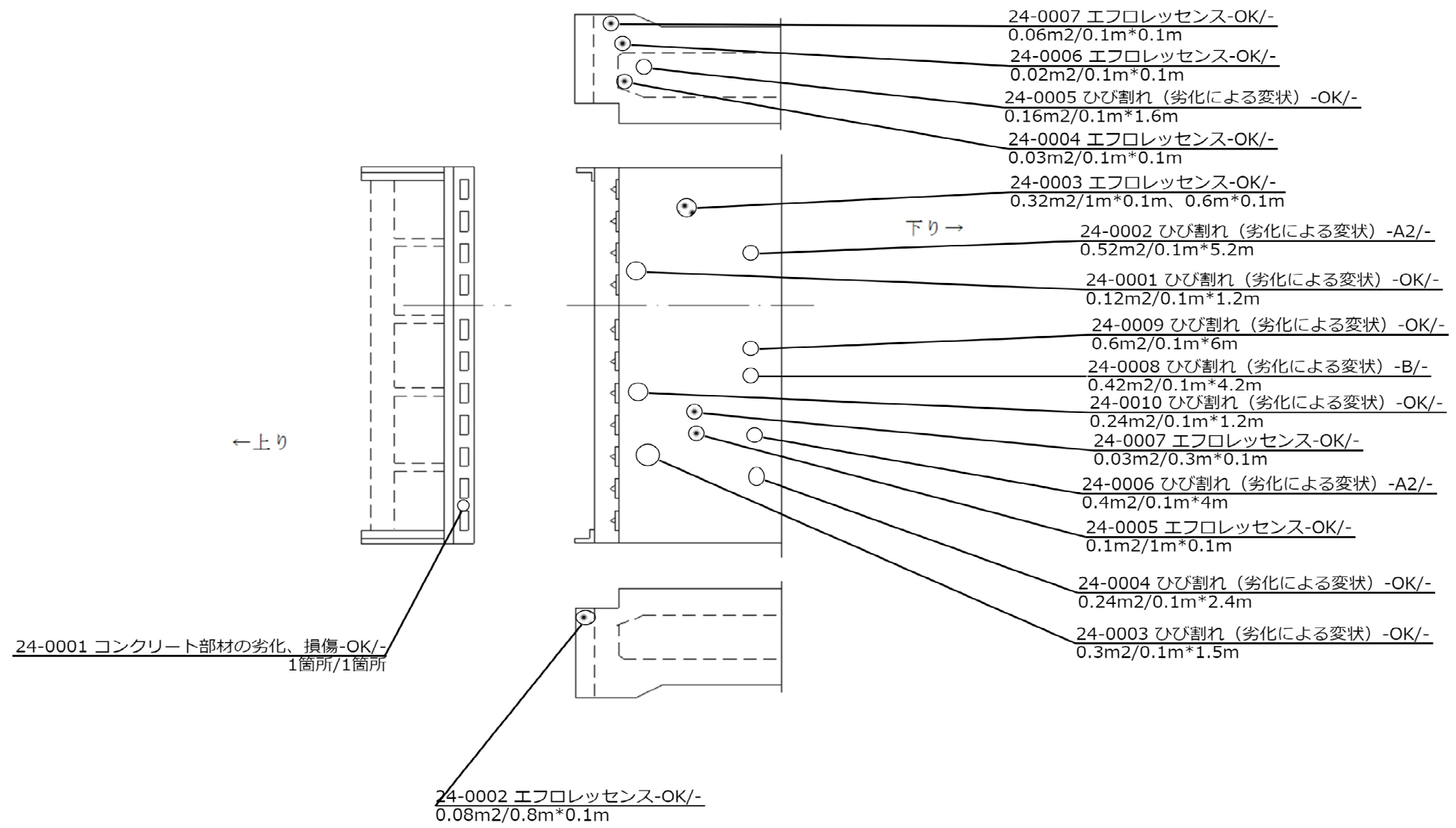
水戸大洗IC橋 A1 (上・下)

交差物件 水戸大洗IC A,Bランプ

丹生川橋

支承種別 ゴム免震

支承基数 11基



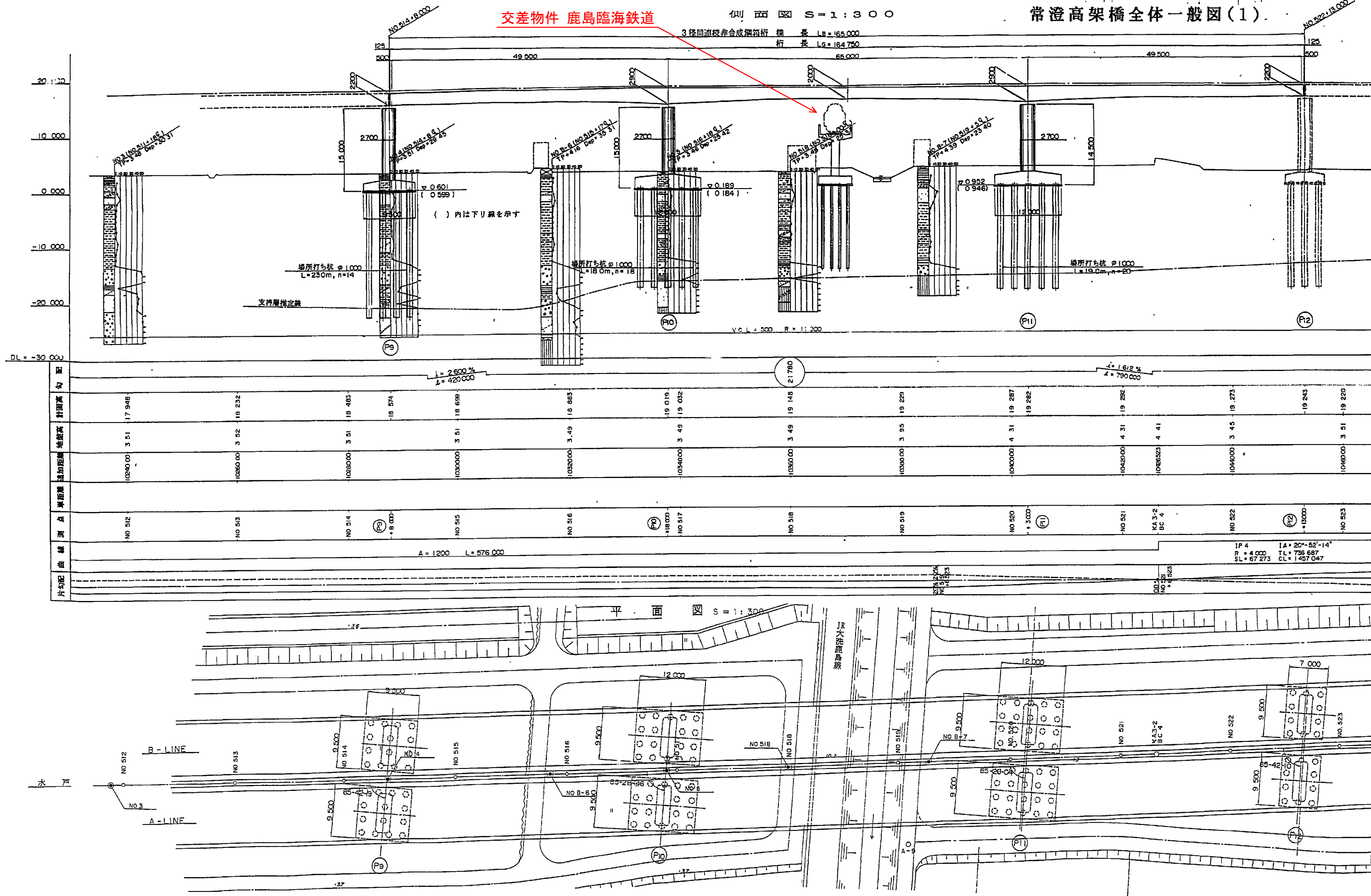
※はく落対策範囲内の変状箇所は補修設計対象とする

常澄高架橋

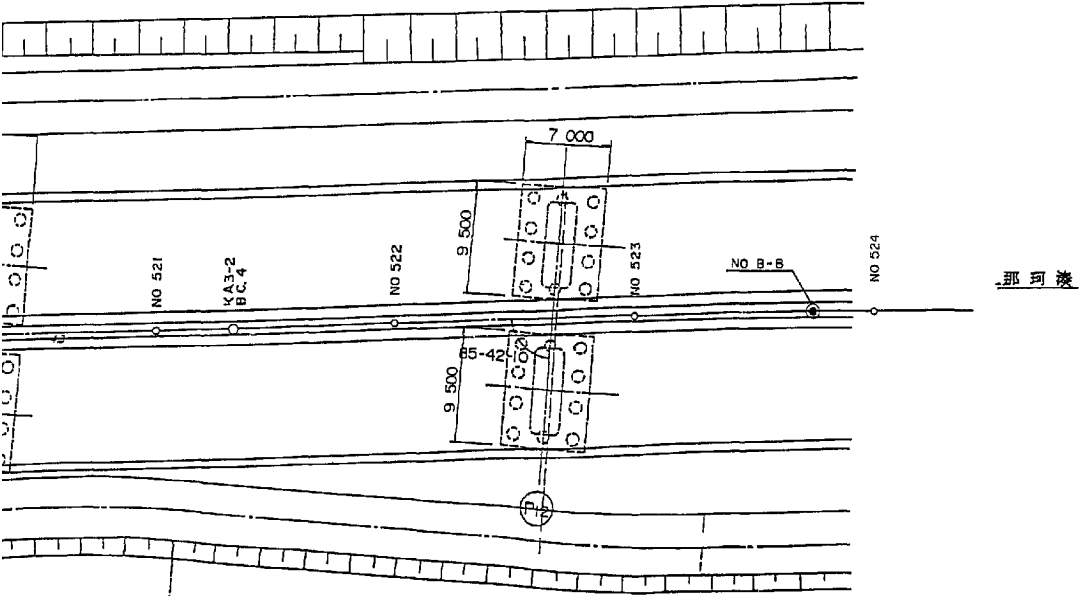
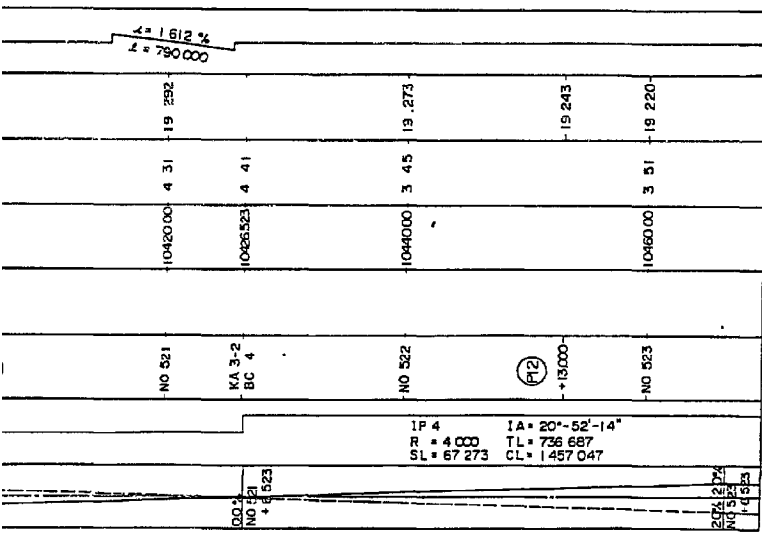
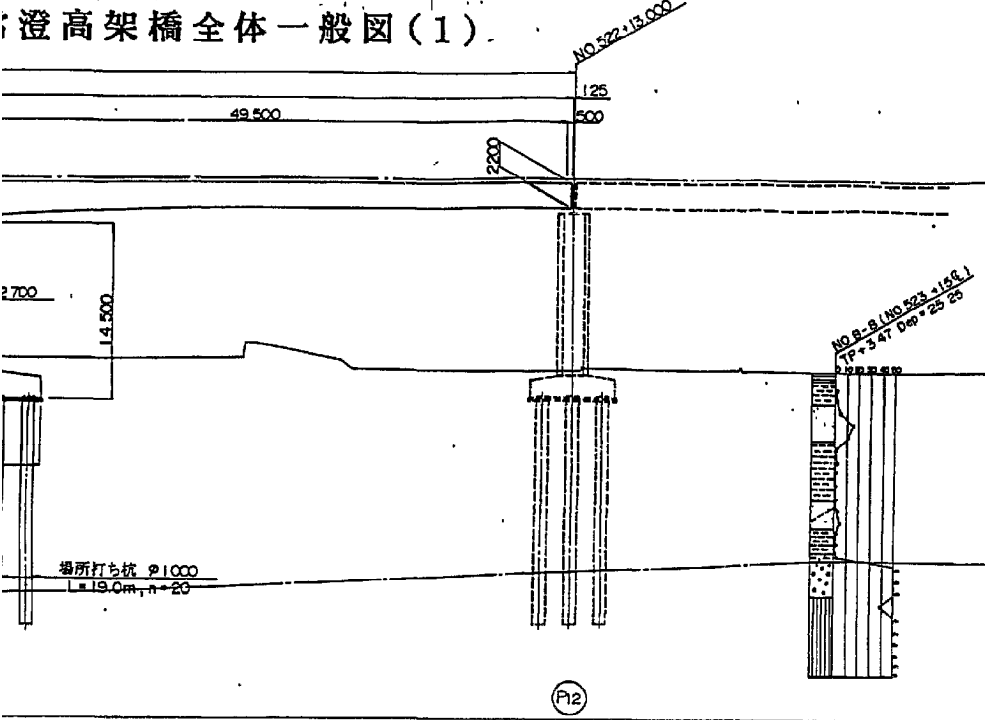
常澄高架橋全体一般図(1)

側面図 $S=1:300$

交差物件 鹿島臨海鉄道

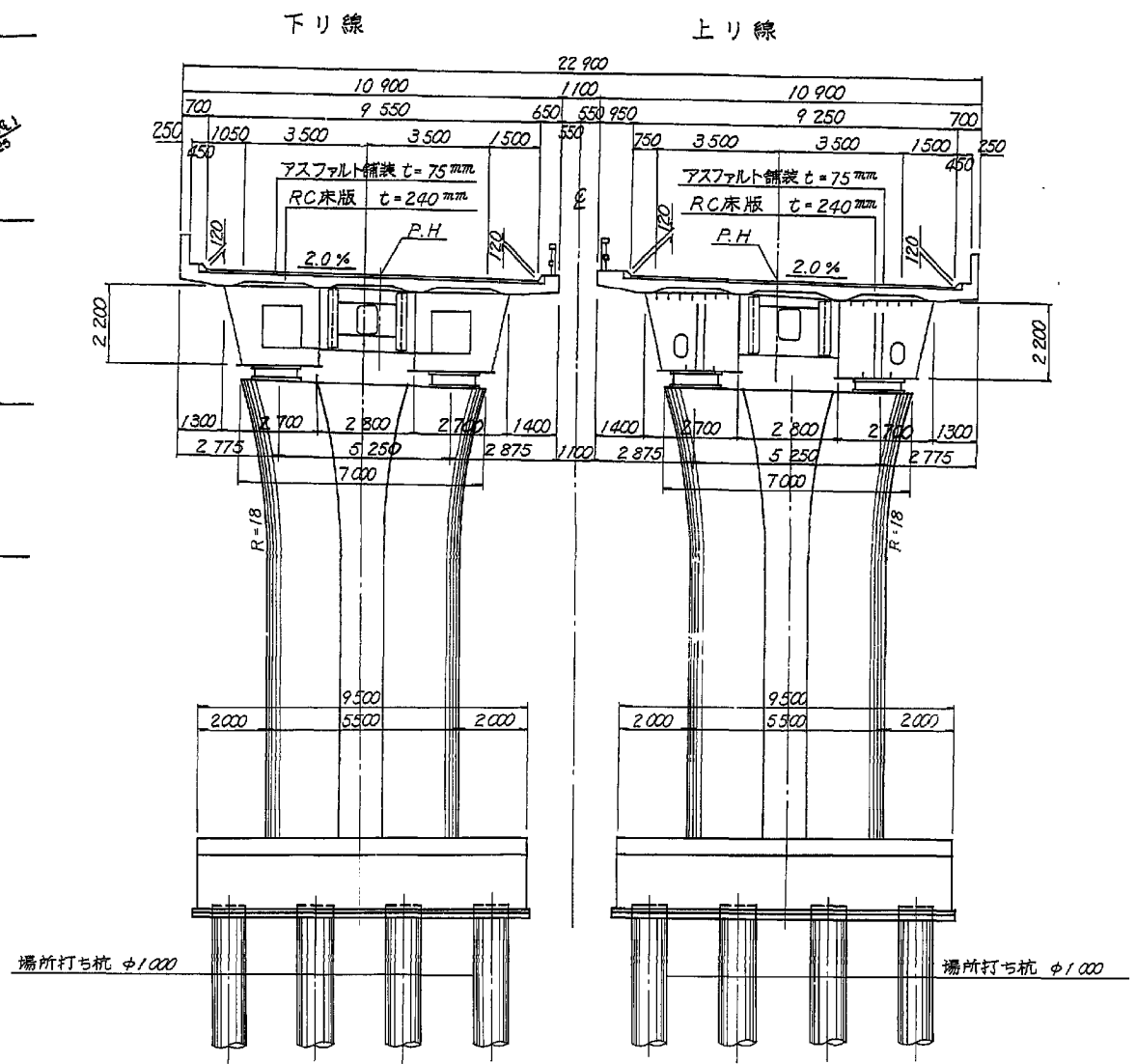


常澄高架橋全体一般図(1)



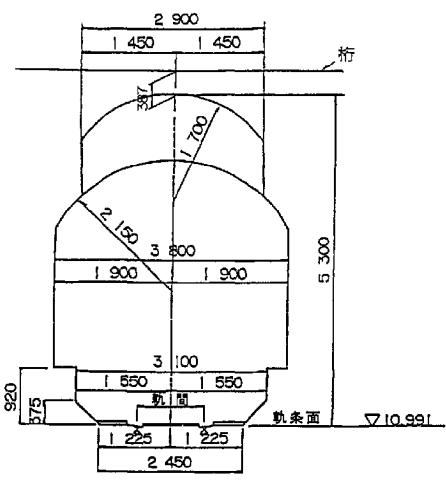
上部工断面図 S=1:100

標準部断面図



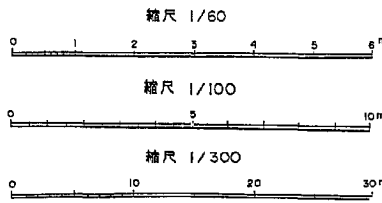
鹿島臨海鉄道(大洗～鹿島線)建築限界

S=1:60

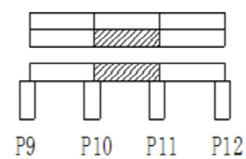


設計条件

道路規格	1種2級B規格(設計速度100km/h)
橋格	B活荷重
橋長	615.000m
支間長	49.500+65.000+49.500
幅員	700+9250+950=10900x2連(上下線)
線形	平面 A=1200m~R=4000m
縦断	2.600% 1.612% VCL=500(R=11870m)
横断	2.000% 1.324%
設計農度	kh=0.3(=0.2x1.0x1.2x1.0x1.25)
橋梁形式	3径間連続非合成鋼桁橋
床版	鉄筋コンクリート床版 t=240mm
舗装	アスファルト舗装 t=75mm
活荷重	B活荷重
主鋼材	SM490Y, SM400, SS400
床版	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$, SD345
支承形式	分散ゴム支承
橋脚形式	壁式橋脚
基礎形式	鉄筋コンクリート場所打ち杭 $\phi 1000$
支持地盤	砂礫層 (M_{54} , Btg)
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
鉄筋	SD345
示方書等	共通 日本道路公団 設計要領 第二集(平成2年7月)
上部構造上り線	道路標示方書 I~V(平成2年2月)
上部構造下り線	「橋、高架の道路等の技術基準における荷重の
および下部構造	取扱いについて」(平成5年3月31日:建設省)



水戸管理事務所管内			
はく落対策工事発注用図面作成業務			
図面の種類	常澄高架橋 一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	水戸管理事務所		

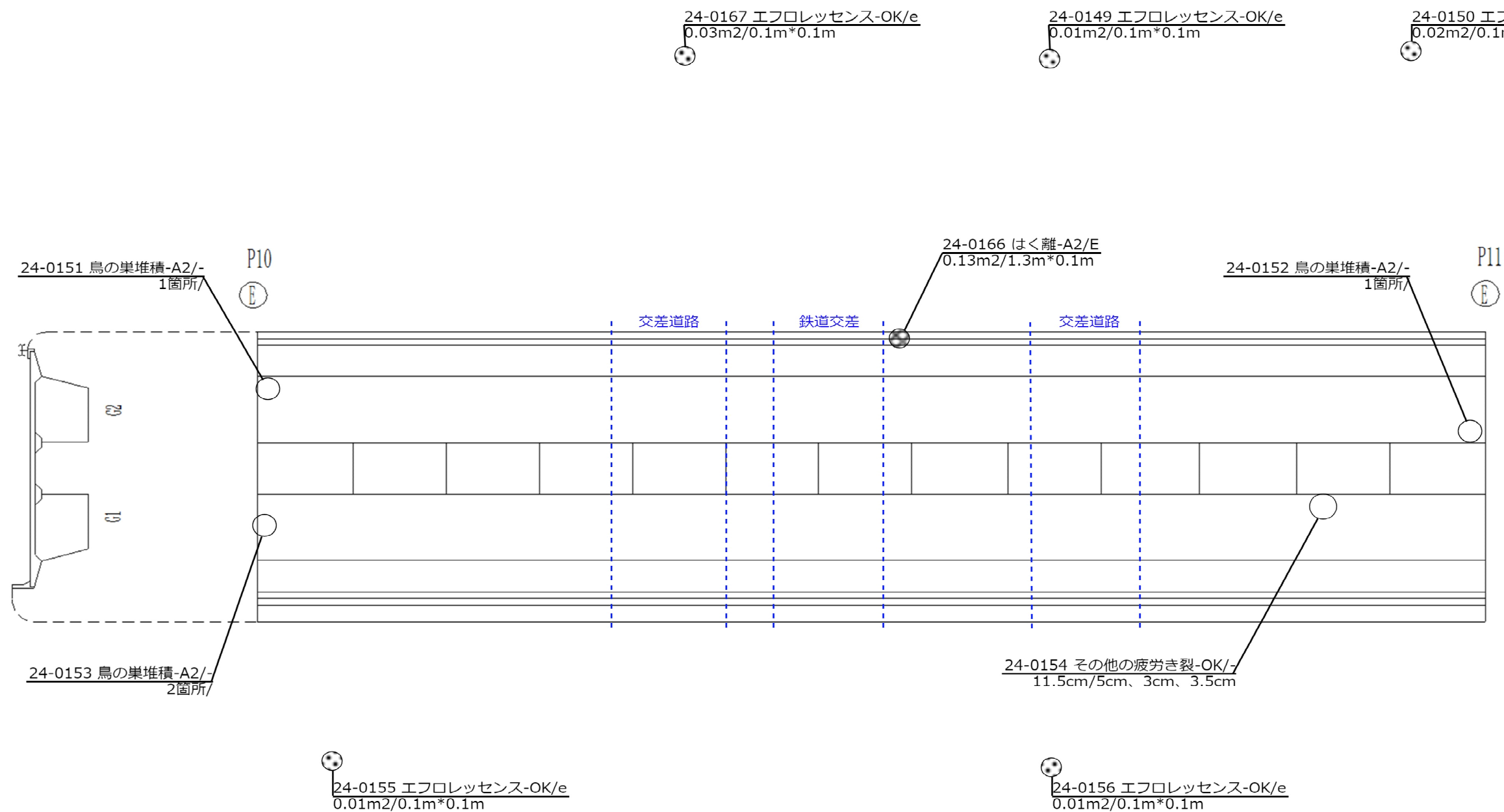


常澄高架橋 P10～P11（上り） 11/31

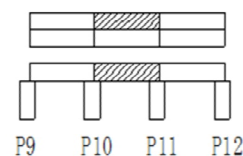
交差物件 鹿島臨海鉄道

径間長： L=65.000m

P9～P12：鋼3径間連続非合成箱桁橋(L=165.000)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

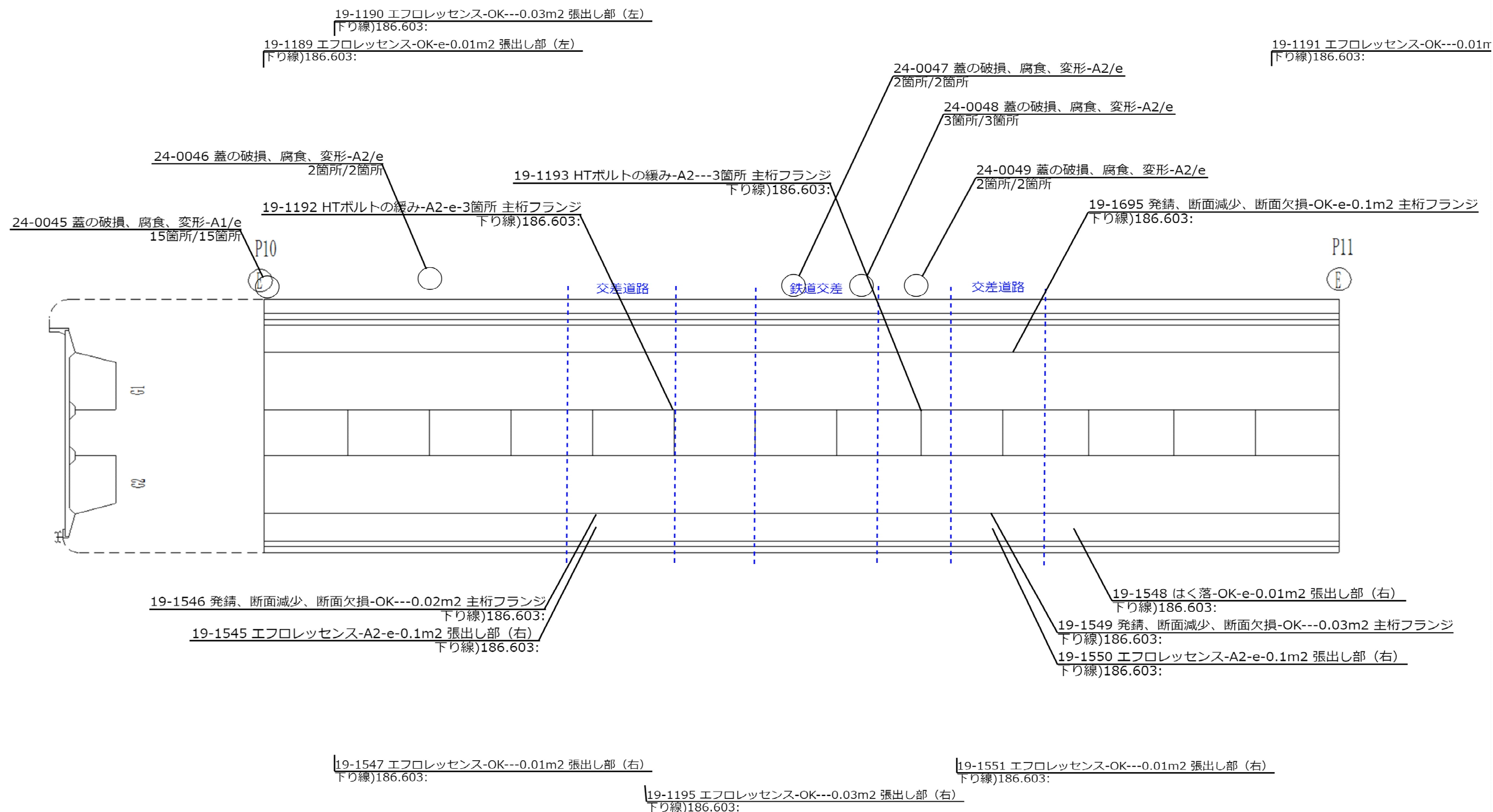


常澄高架橋 P10～P11（下り） 11/31

交差物件 鹿島臨海鉄道

径間長： L=65.000m

P9～P12：鋼3径間連続非合成箱桁橋(L=165.000)



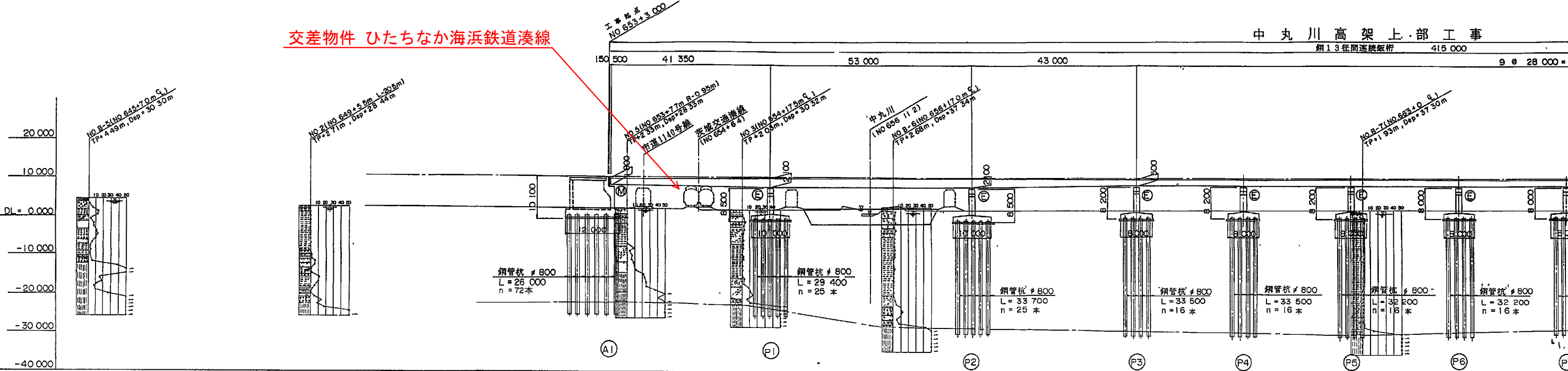
※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

中丸川高架橋

交差物件 ひたちなか海浜鉄道湊線

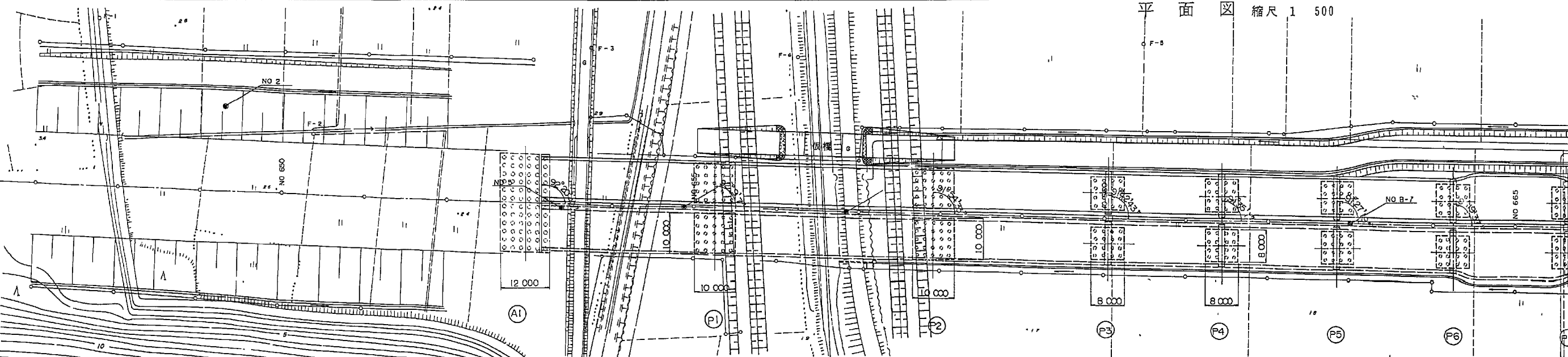
中丸川高架上・部工事

鋼13径間連続版桁 415.000 9 @ 28.000 =



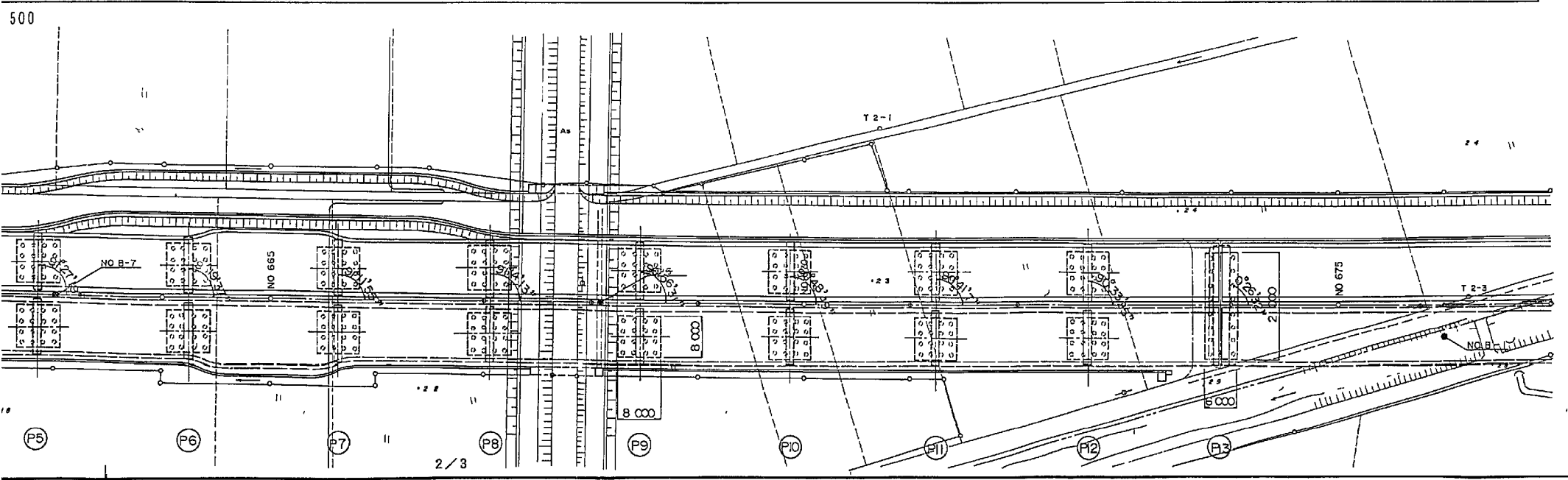
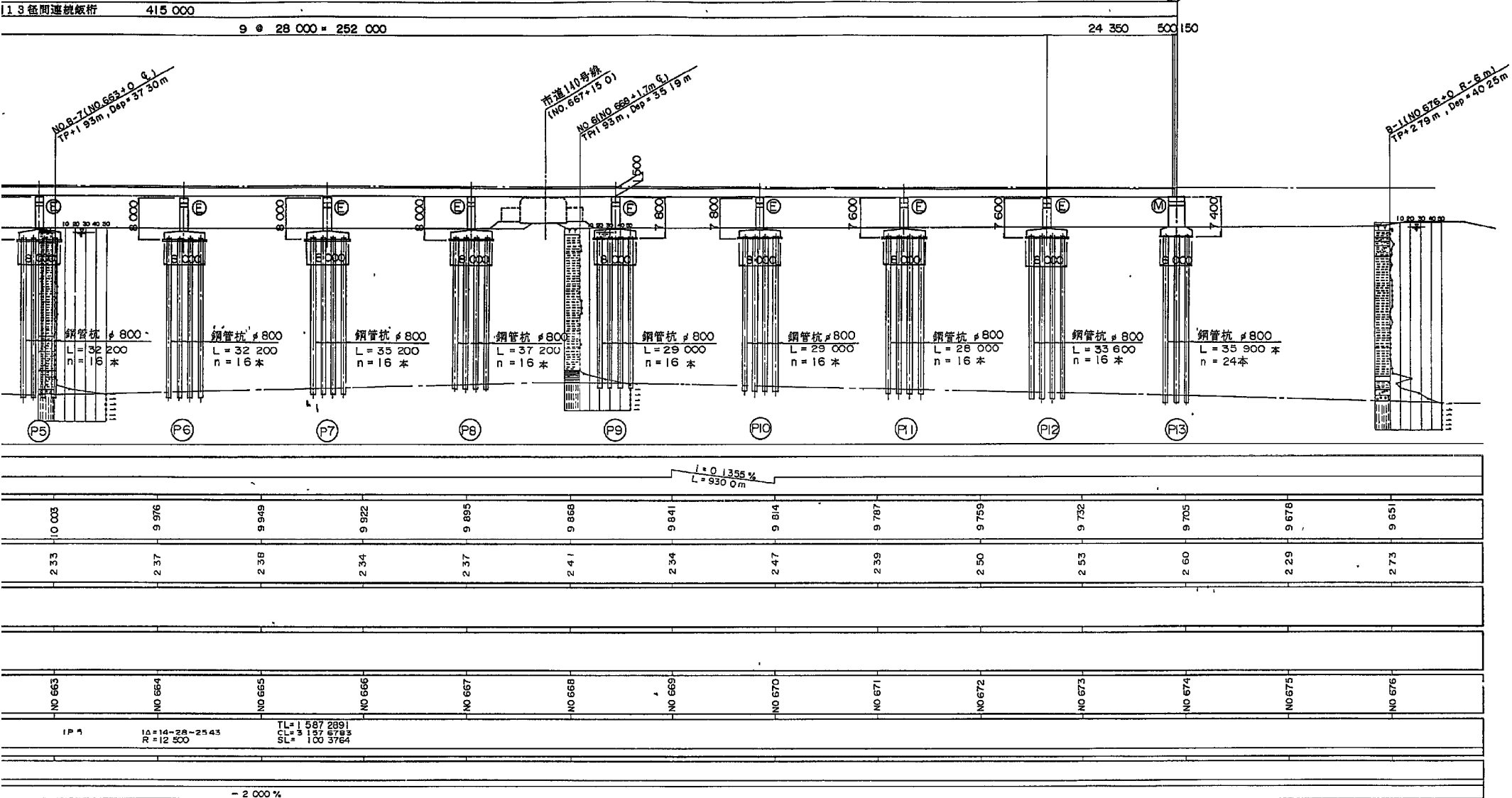
勾配	$I = 0.450\%$ $L = 400.0m$														
計画高		10.663	10.606	10.533	10.463	10.399	10.339	10.282	10.229	10.181	10.137	10.098	10.062	10.031	9.976
地盤高		2.79	2.70	2.60	2.50	2.40	2.30	2.20	2.55	2.46	2.37	2.43	2.40	2.43	2.37
追加距離															
単距離															
測点		NO. 650	NO. 651	NO. 652	NO. 653	NO. 654	NO. 655	NO. 656	NO. 657	NO. 658	NO. 659	NO. 660	NO. 661	NO. 662	NO. 663
曲線															
片勾配摺付図															

平面図 縮尺 1:500

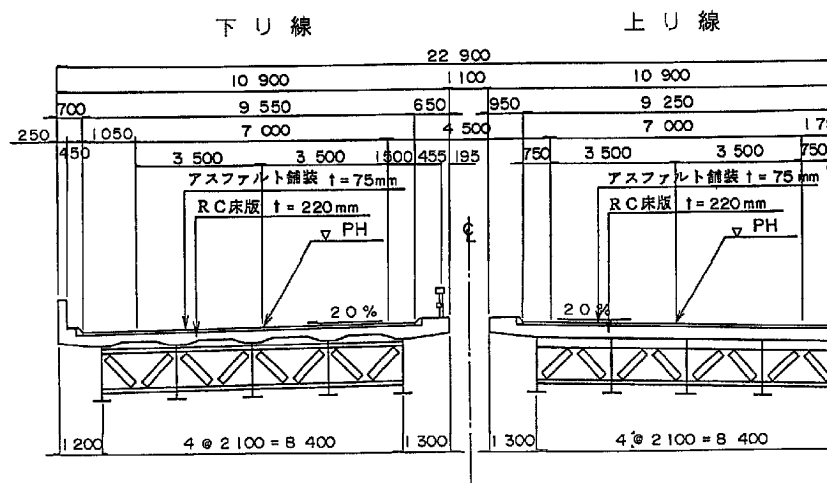


中丸川高架橋全体一般図 (その1)

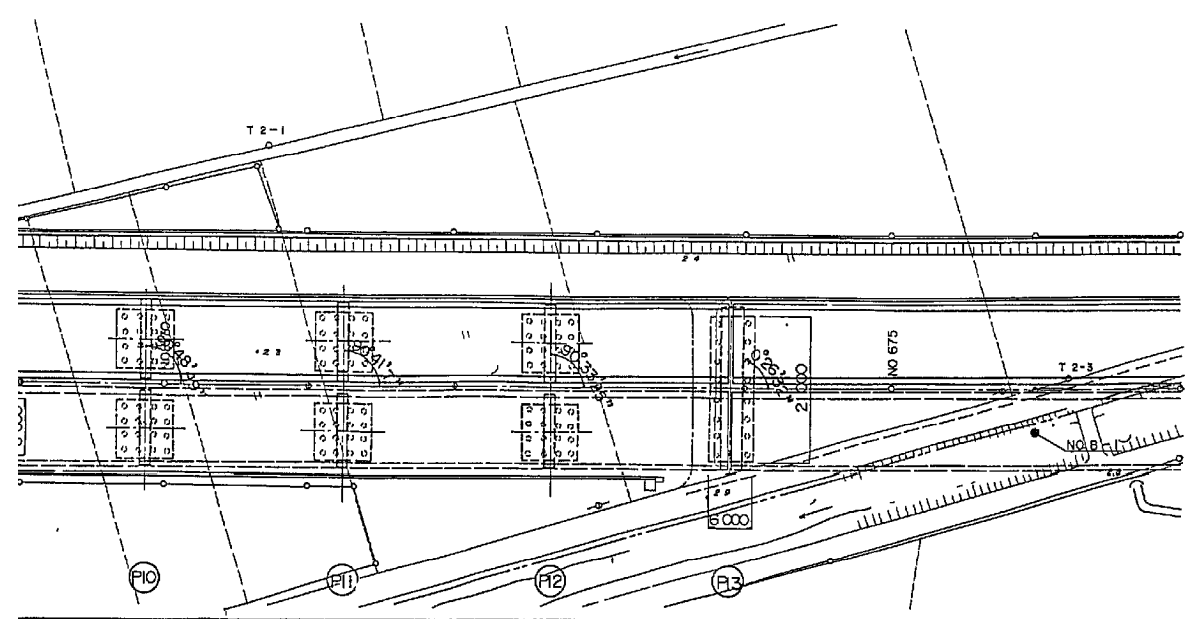
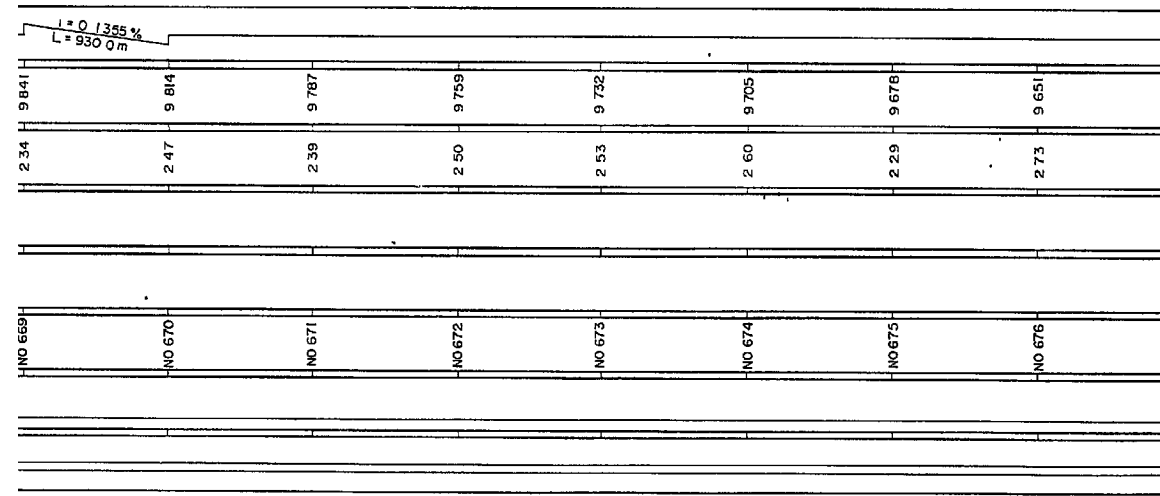
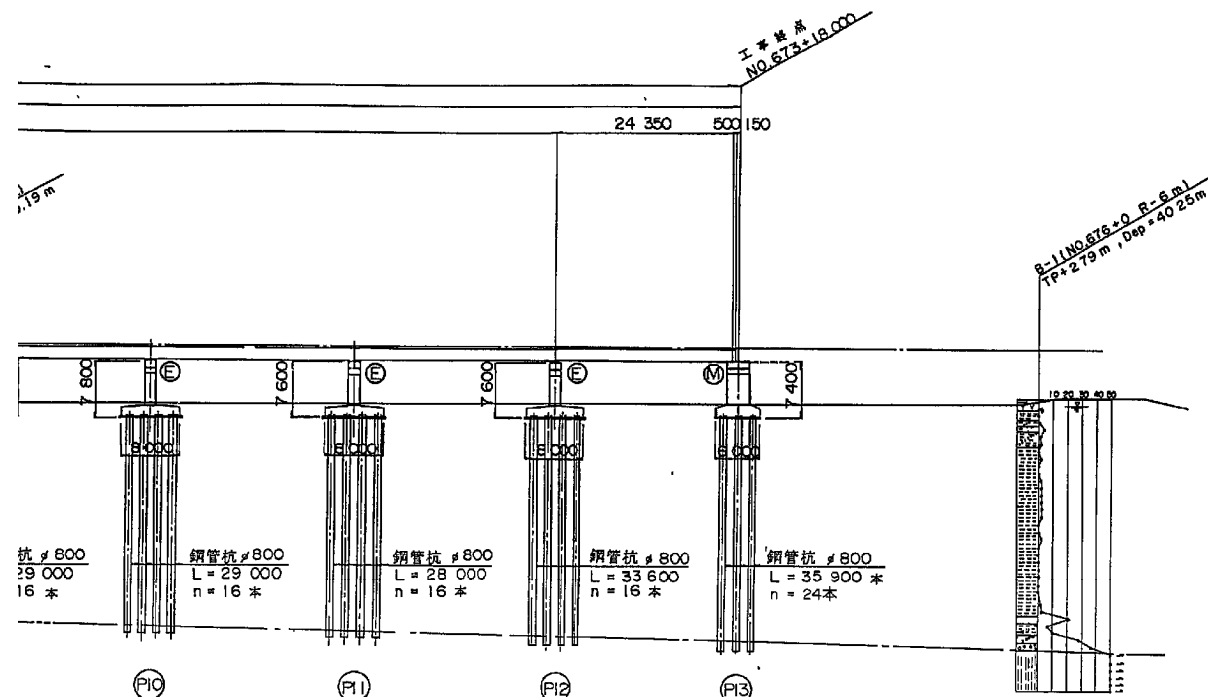
高架上・部工事



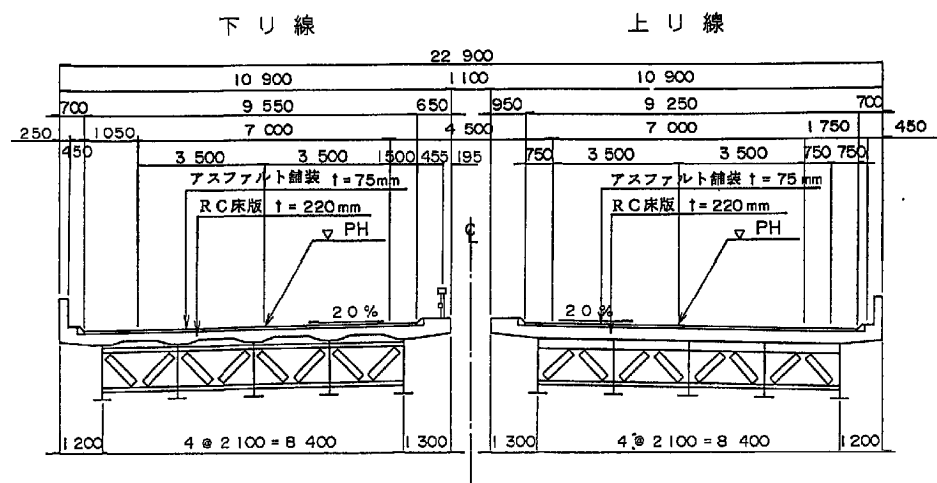
標準断面図 縮尺 1:100



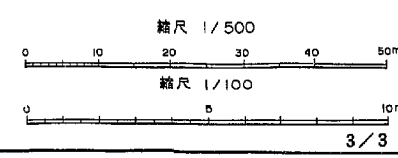
設計条件	
道路規格	1級2級B規格(設計速度100km/h)
橋長	415 000m+388 000m
支間長	(その1) 41 35+53 0+43 0+28 0+24.35m (その2-1) 23 5+4@35.5+25 5m (その2-2) 26 5+5@28 4+28 5m
幅員	0 70+9 25+0 95=10. 90m 2連(上下線)
平面	R=12500m
縦断	-2.4‰ (V C L=900) 2.1‰ (V C L=700) 1.3‰
横断	2.0‰ 2.1‰
設計震度	k h=0.30 (0 2*1 0*1 2*1 0*1 2.5)
橋梁形式	(その1) 鋼13径間連続非合成鋼桁橋 (その2-1) 鋼6径間連続非合成鋼桁橋(横梁付) (その2-2) 鋼7径間連続非合成鋼桁橋
床版	鉄筋コンクリート床版 t=220mm
舗装	アスファルト舗装 t=75mm
活荷重	TL-25 B活荷重
主鋼材	SS400、SM400、SM490Y、SM570
床版	σck=240kg/cm²、SD345
支承形式	水平反力分散ゴム支承(A1~P13、P19~A2)、密閉ゴム支承板支承(P13~P19)
橋脚形式	箱式橋台、張出式橋脚、単柱式橋脚、地式橋脚、ラーメン式+箱式橋台
基礎形式	鋼管杭φ800、ケーソン基礎、場所打ち杭φ1500
支持地	泥岩層、シルト岩層
コンクリート	躯体 σck=240kg/cm²、杭 σck=300kg/cm²
鉄筋	SD345
鋼管杭	SKK400
示方書等	道路橋示方書・解説(平成6年2月、日本道路協会) 「兵庫県南部地震により被災した道路橋の復旧に係る仕様」の準用に 関する参考資料(案)(平成7年6月、日本道路協会) 設計要領 第二集(平成2年7月、日本道路協会) 鋼道橋設計ガイドライン(案)(平成7年10月、建設省)



標準断面図 縮尺 1:100



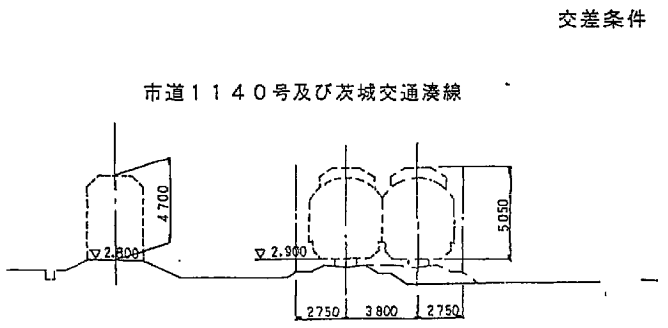
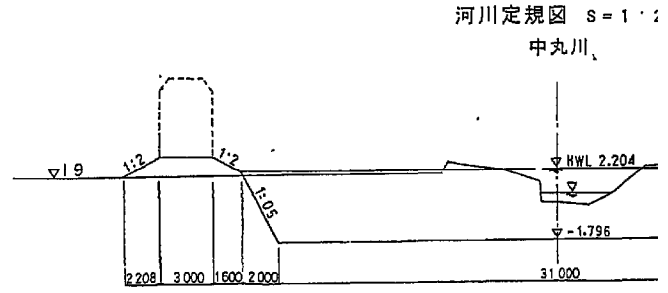
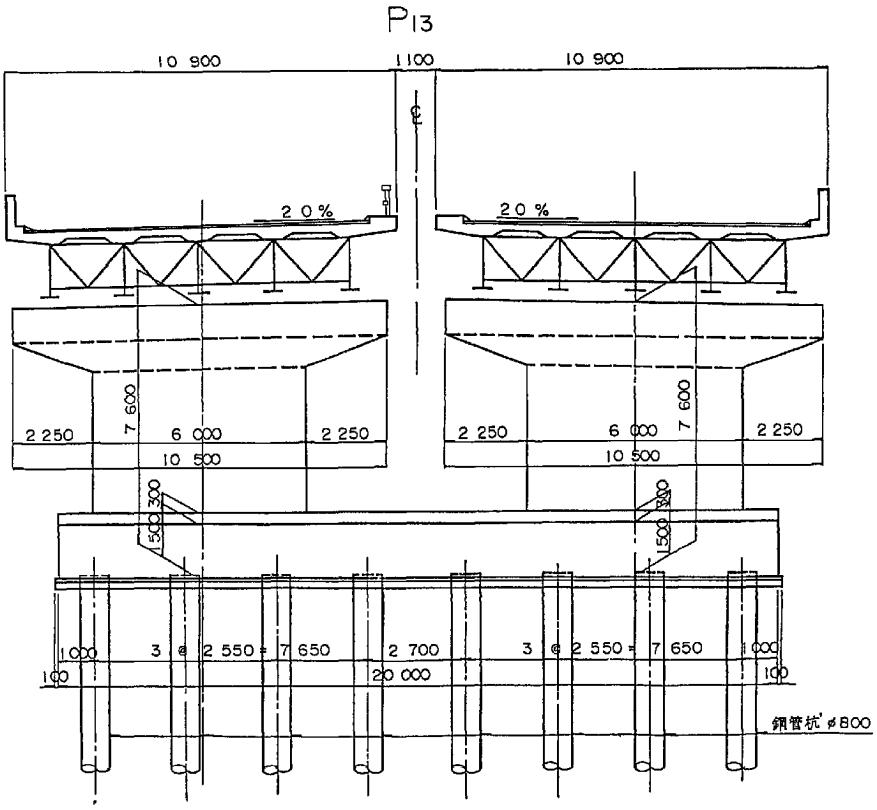
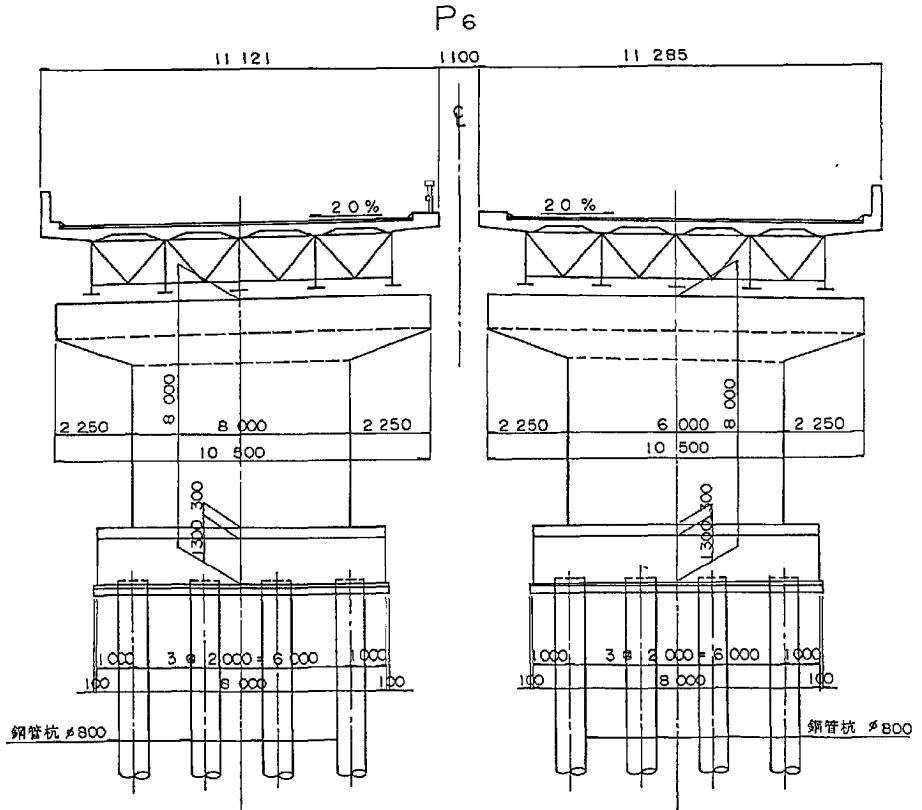
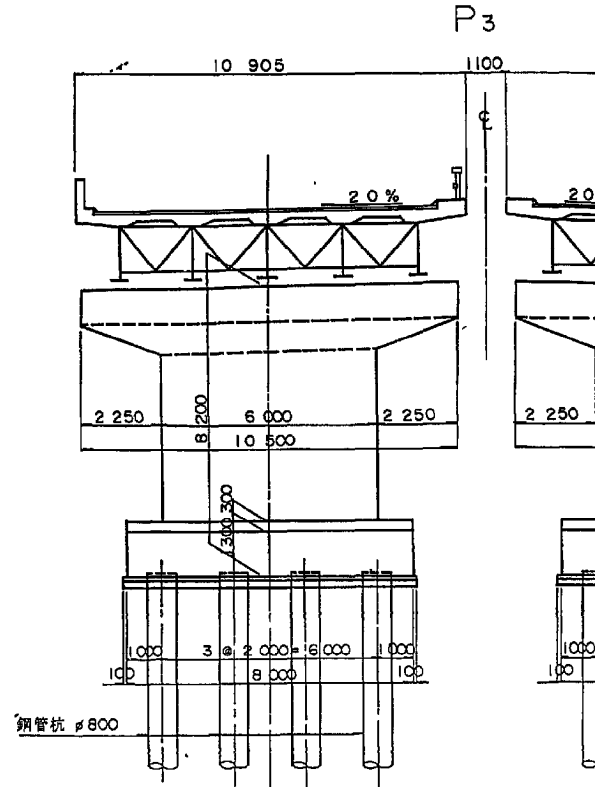
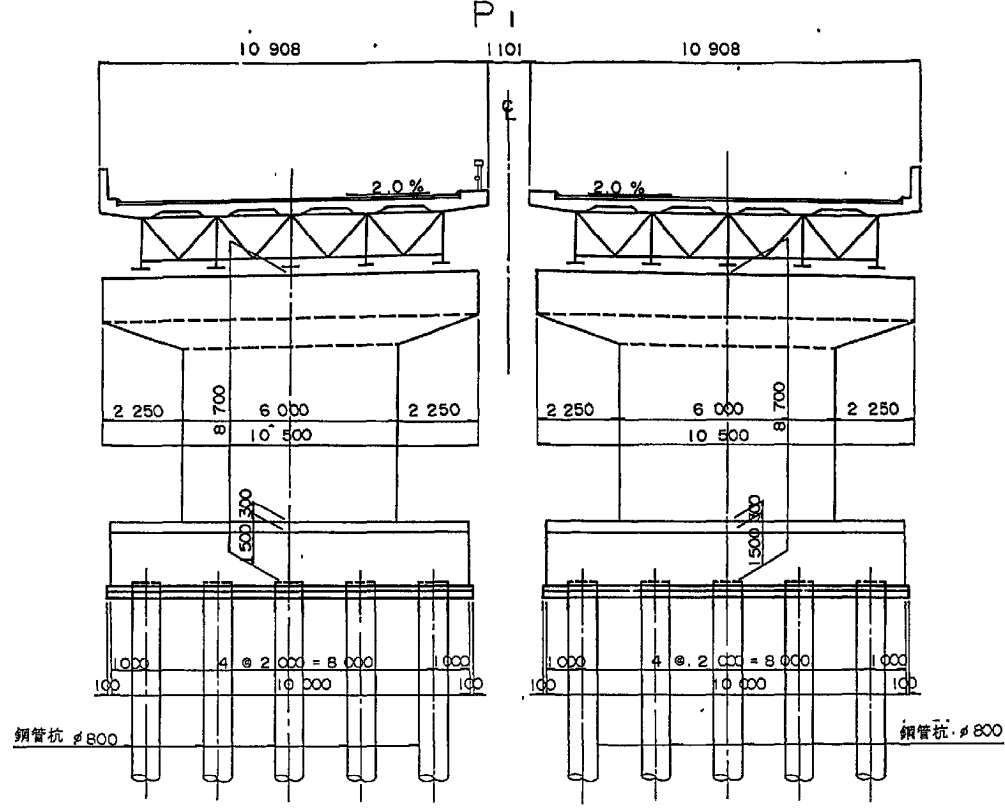
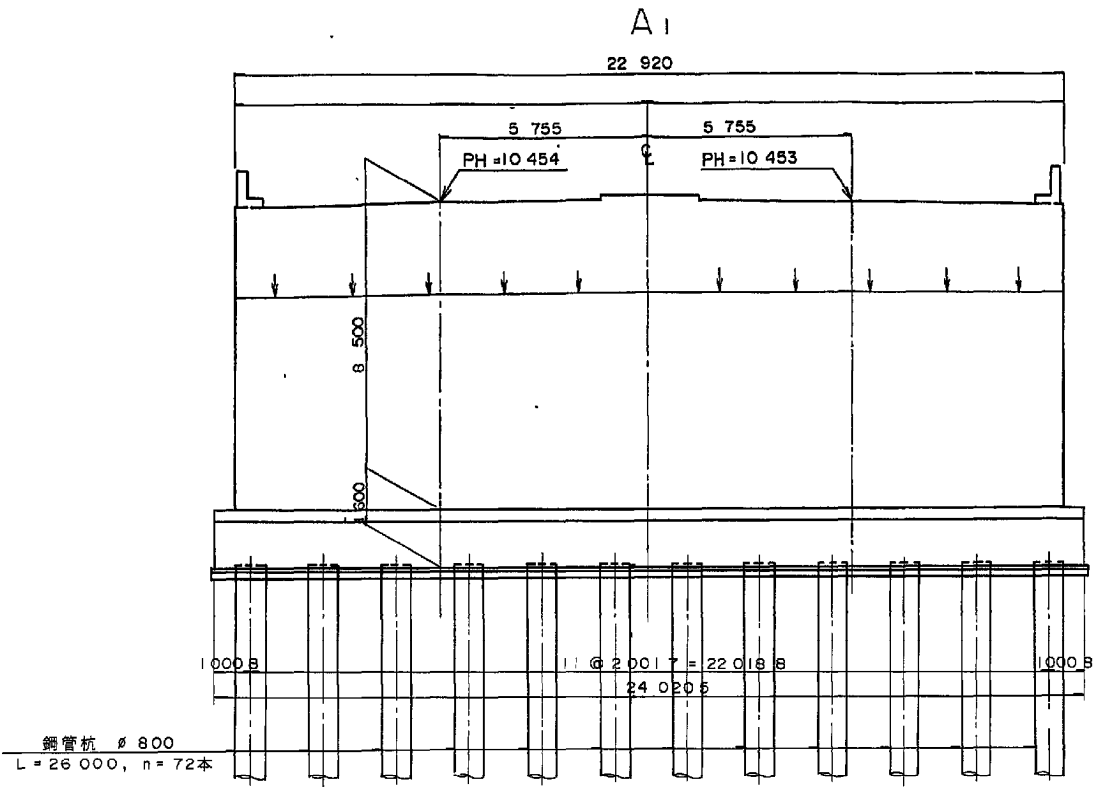
設計条件	
道路規格	1種2級B規格(設計速度100km/h)
橋長	415 000m+388 000m
支間長	(その1) 41 35+53.0+43.0+9@28.0+24 35m (その2-1) 23.5+4@35.5+25.5m (その2-2) 26.5+5@23.4+26.5m
幅員	0 70+0 25+0 95=10 90m 2連(上下級)
平面線形	R=12500m
縦断線形	2.45% (V.C.L=800) 2.1355% (V.C.L=700) 1.35%
横断線形	2.0% 2.0%
設計震度	kh=0.30 (0 2*1 0*1 2*1 0*1 2.5)
上橋梁形式	(その1) 鋼13径間連続非合成板桁橋 (その2-1) 鋼6径間連続非合成板桁橋(杭梁付) (その2-2) 鋼7径間連続非合成板桁橋
床版	鉄筋コンクリート床版 t=220mm
舗装	アスファルト舗装 t=75mm
橋活荷重	TL-25 B活荷重
主鋼材	SS400、SM400、SM490Y、SM570
床版	σck=240kg/cm ² 、SD345
支承形式	水平反力分散ゴム支承 (A1~P13、P19~A2)、密閉ゴム支承板支承 (P13~P19)
橋脚形式	箱式橋台、張出式橋脚、串柱式橋脚、壁式橋脚、ラーメン式+箱式橋台
基礎形式	鋼管杭φ800、ケーソン基礎、場所打ち杭φ1500
支持地盤	泥岩層、シルト岩層
使用材料	コンクリート 躯体 σck=240kg/cm ² 、杭 σck=300kg/cm ² 鉄筋 SD345 鋼管杭 SKK400
示方書等	道路橋示方書 同解説(平成6年2月、日本道路協会) 「兵庫県南部地震により被災した道路橋の復旧に係る仕様」の準用に 関する参考資料(案)(平成7年6月、日本道路協会) 設計要領 第二集(平成2年7月、日本道路協会) 鋼道路橋設計ガイドライン(案)(平成7年10月、建設省)



水戸管理事務所管内 はく落対策工事発注用図面作成業務			
図面の種類	中丸川高架橋 一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

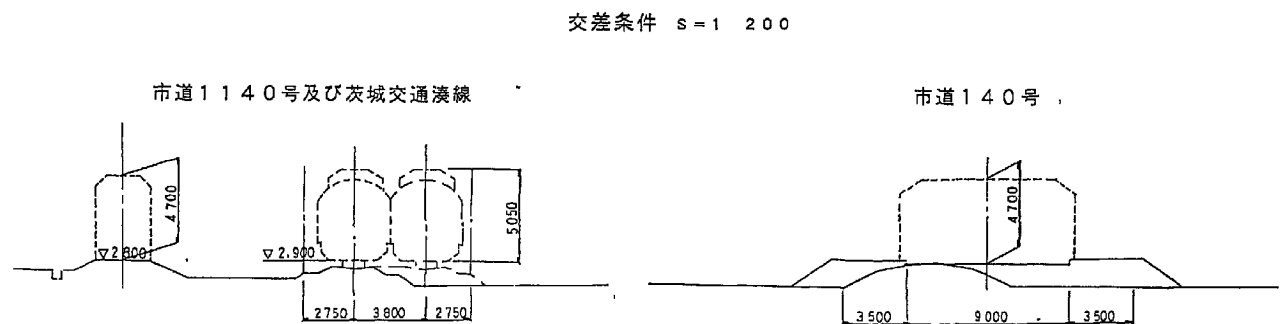
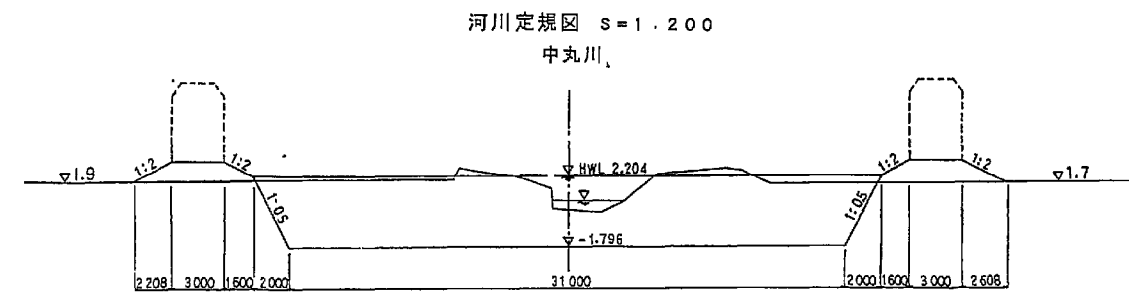
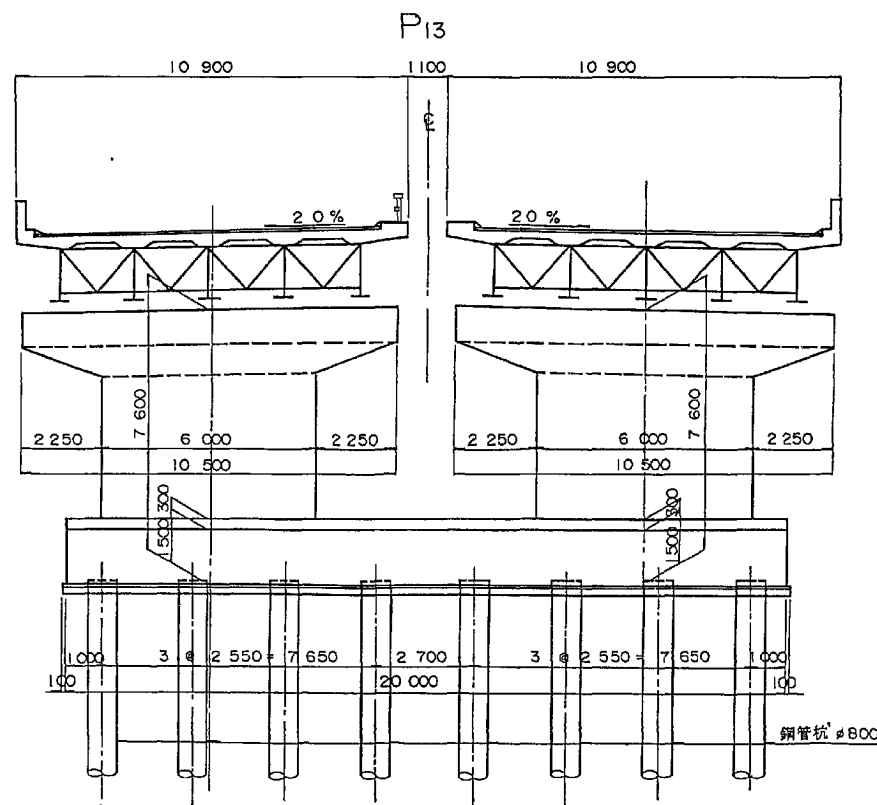
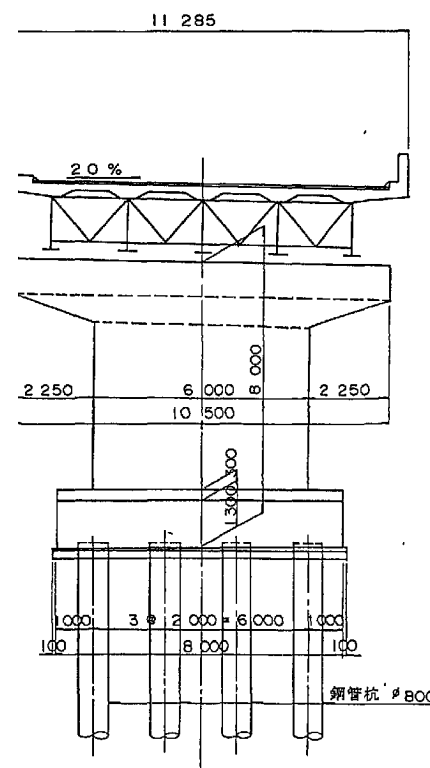
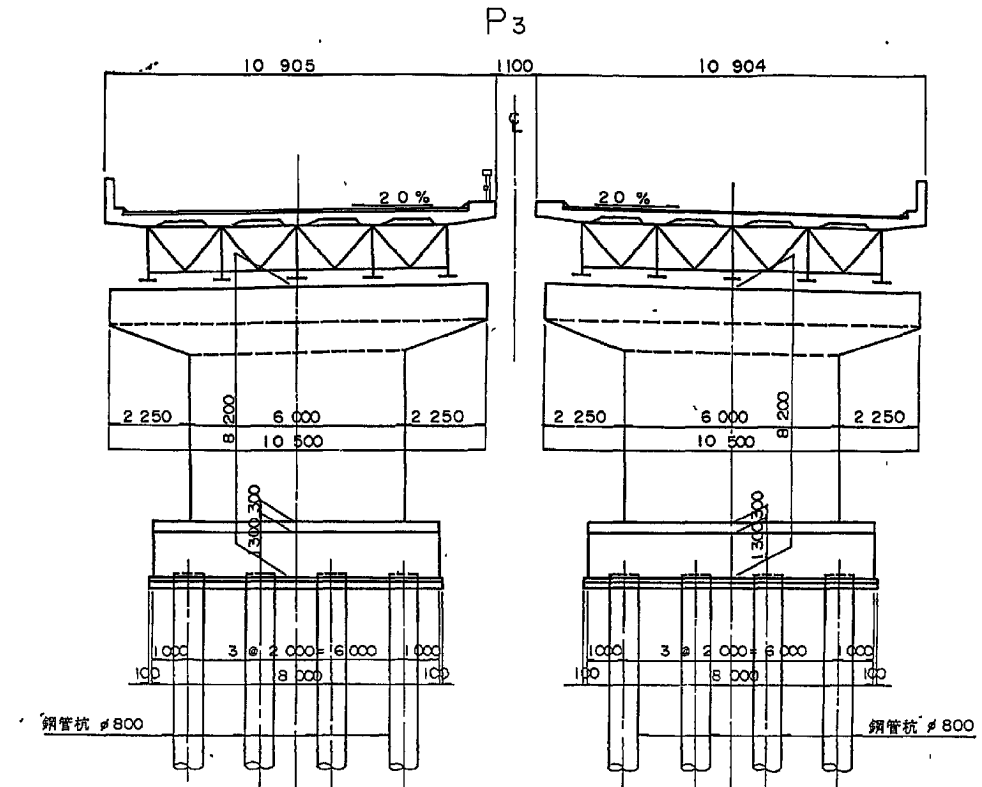
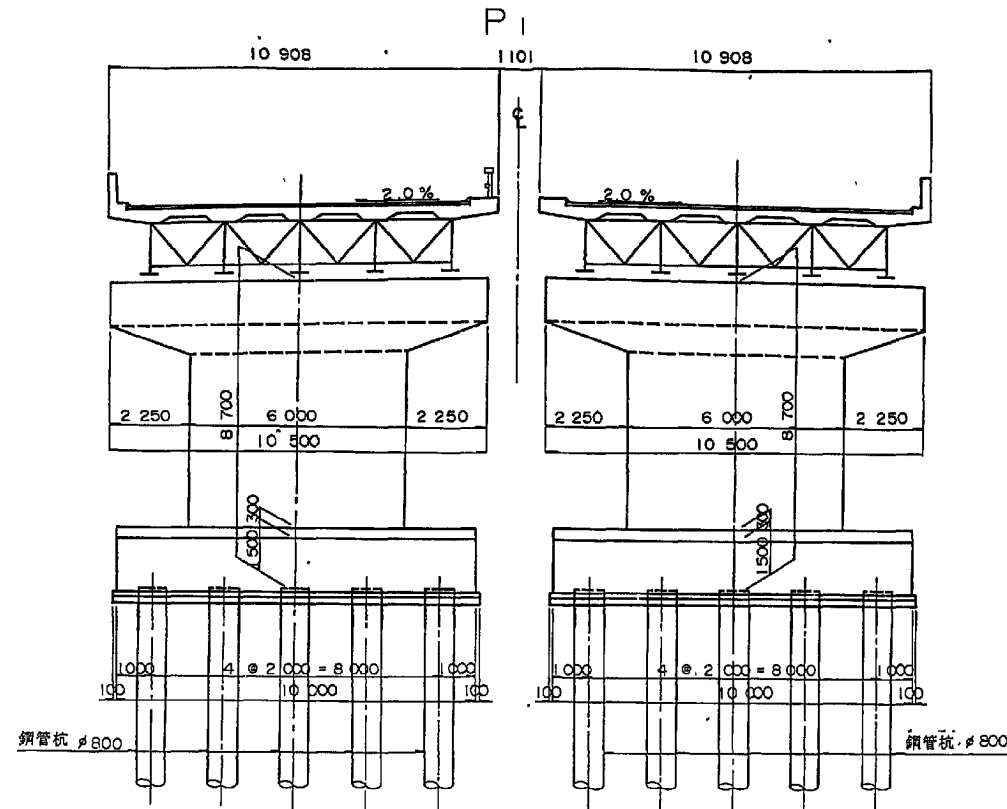
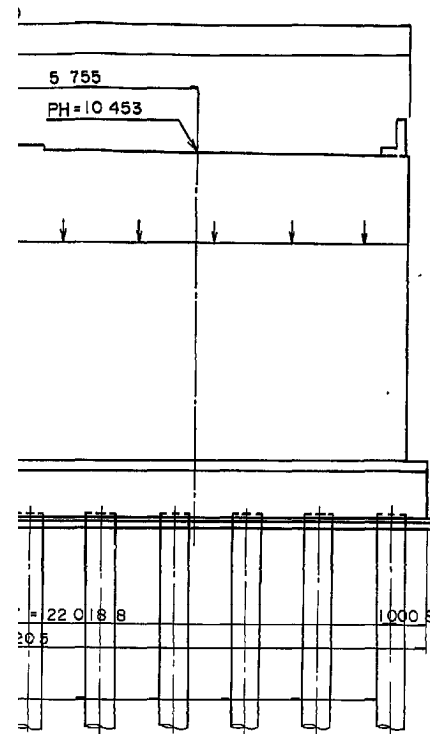
中丸川高架橋全体一般図 (その2)

横断図 縮尺 1:100

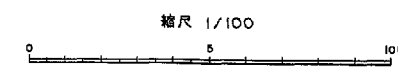


中丸川高架橋全体一般図 (その2)

横断図 縮尺 1:100



水戸管理事務所管内 はく落対策工事発注用図面作成業務			
図面の種類	中丸川高架橋 一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

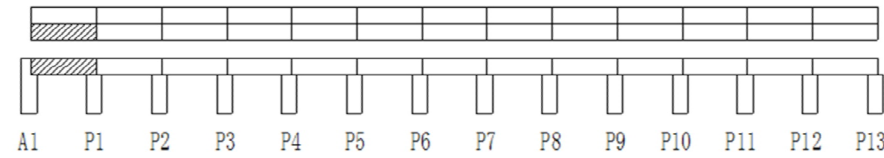


中丸川高架橋 A1～P1（上り） 1/26

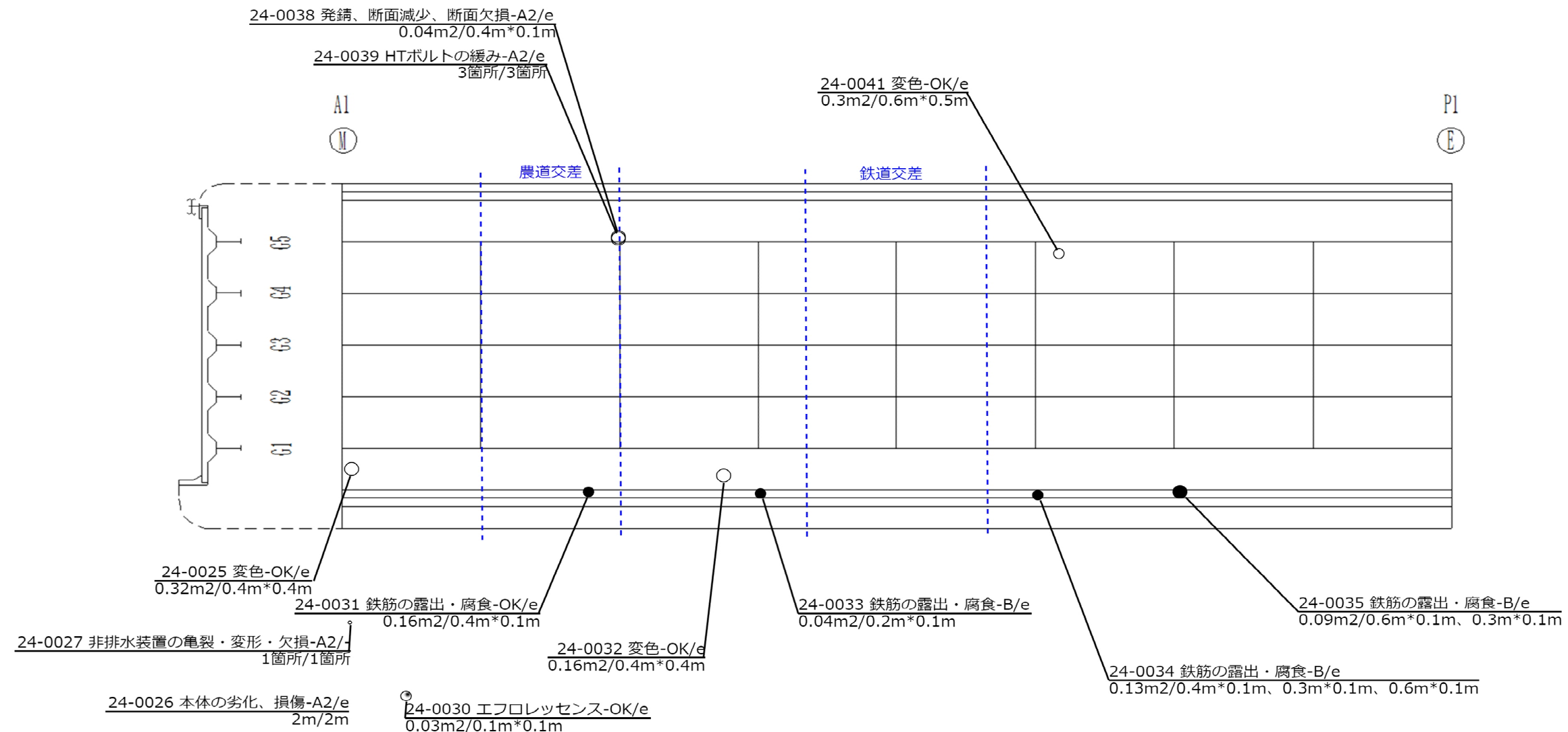
交差物件 ひたちなか海浜鉄道湊線

径間長： L=42.000m

A1～P13：鋼13径間連続非合成鈹桁橋 (L=803.000m)



- 24-0028 本体の劣化、損傷-A2/e 1m/1m
- 24-0029 非排水装置の亀裂・変形・欠損-A2/- 1箇所/1箇所
- 24-0036 エフロレッセンス-OK/e 0.01m2/0.1m*0.1m
- 24-0037 エフロレッセンス-OK/e 0.1m2/0.1m*0.1m
- 24-0040 エフロレッセンス-OK/e 0.13m2/0.1m*0.1m
- 24-0042 エフロレッセンス-OK/- 0.14m2/0.1m*0.1m
- 24-0043 エフロレッセンス-B/- 0.08m2/0.1m*0.1m



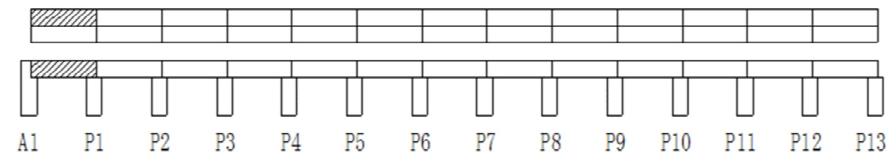
※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

中丸川高架橋 A1～P1（下り） 1/26

交差物件 ひたちなか海浜鉄道湊線

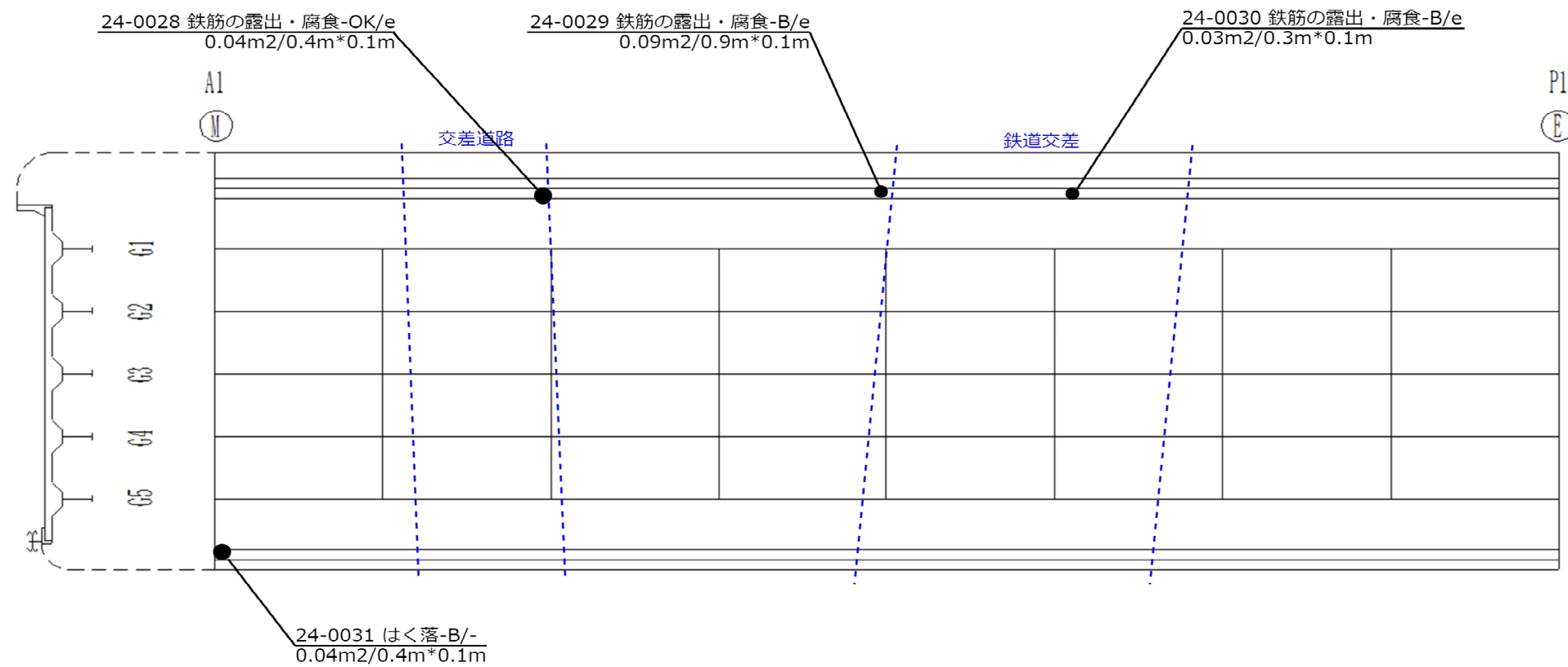
径間長： L=42.000m

A1～P13：鋼13径間連続非合成鈑桁橋(L=803.000m)



24-0024 本体の劣化、損傷-A2/-
1.7m/1.7m

24-0025 非排水装置の亀裂・変形・欠損-A2/-
1箇所/1箇所



24-0027 非排水装置の亀裂・変形・欠損-A2/-
1箇所/1箇所

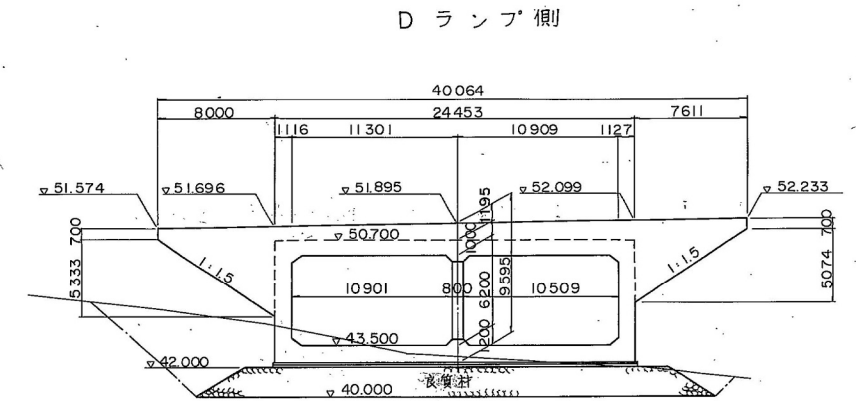
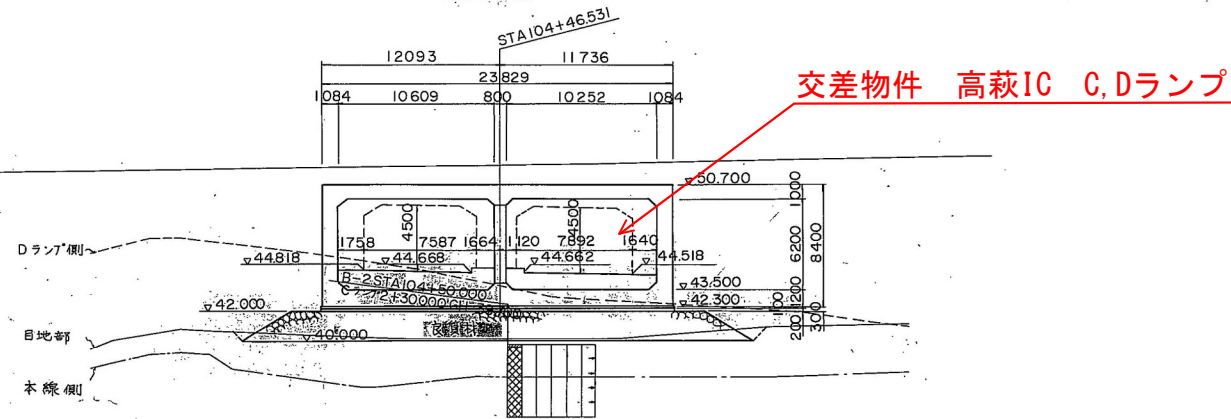
24-0026 本体の劣化、損傷-A2/-
1.2m/0.7m、0.5m

24-0032 エフロレッセンス-B/-
0.02m2/0.1m*0.1m

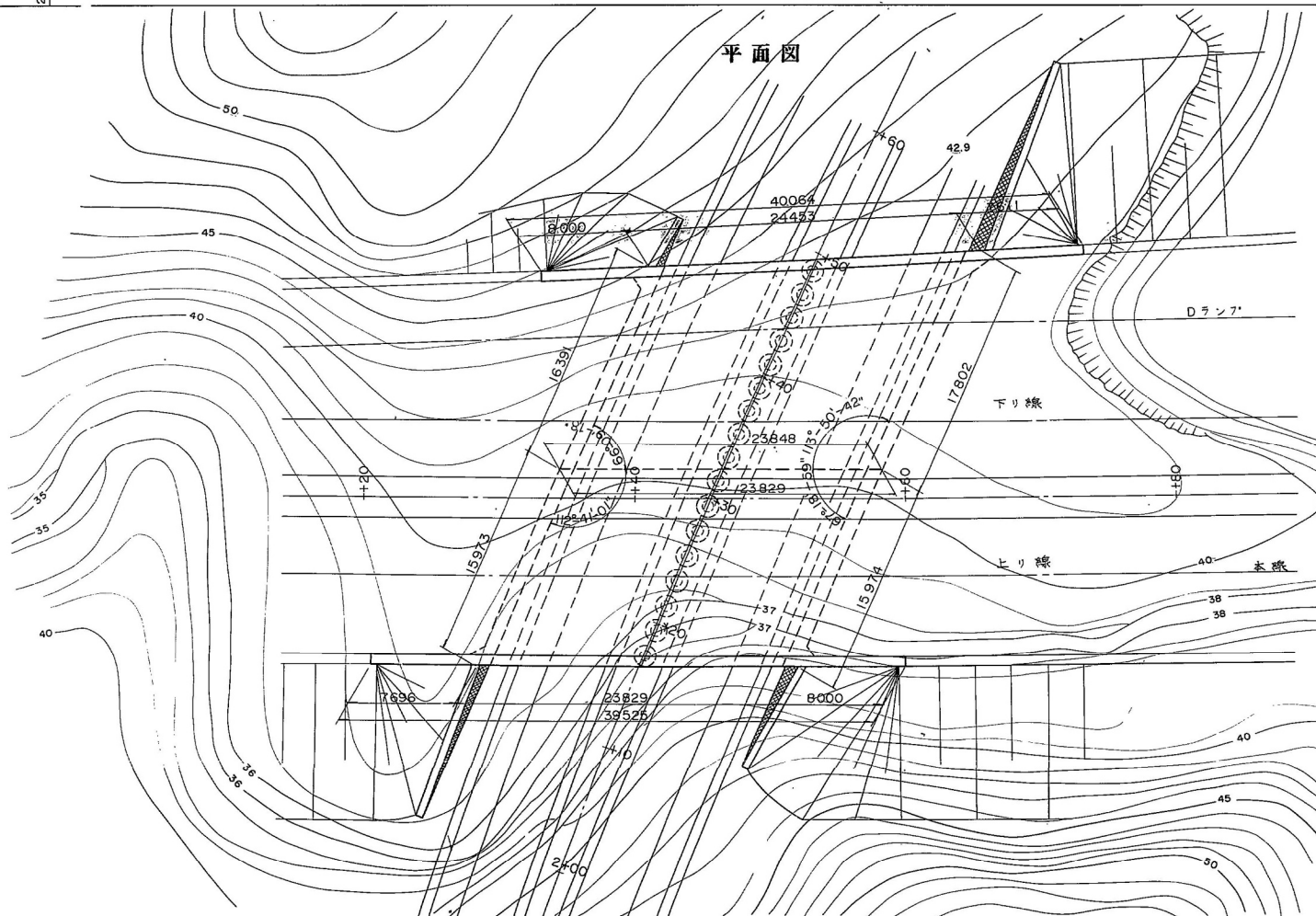
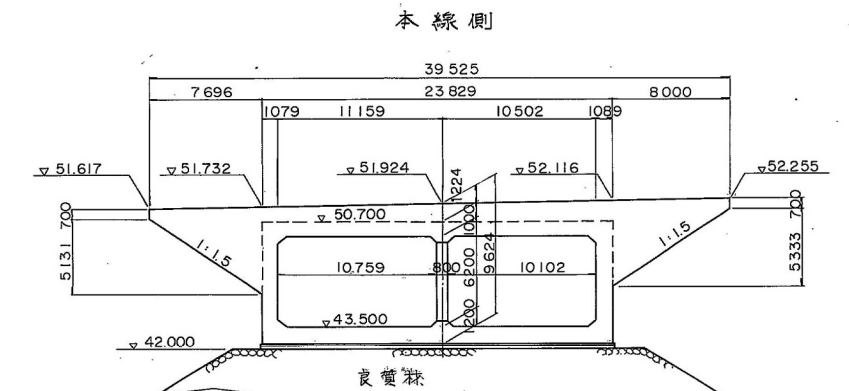
24-0033 エフロレッセンス-OK/-
0.02m2/0.1m*0.1m

※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

高萩一3



DL = 30.00	
計 画 高	51.492
地 盤 高	35.98 + 51.307
追加距離	10.000 + 10.05000
單 距 離	10.000 + 20.000 + 10.40000
測 点	100 + 50
曲 率 図	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> + 20 + 20.000 + 10.42000 + 39.61 + 51.984 + + 40 + 20.000 + 10.44000 + 39.72 + 51.893 + + 46.531 + 6.531 + 10.44653 + 40.15 + + 60 + 13.469 + 10.46000 + 40.53 + 52.233 + + 80 + 20.000 + 10.48000 + 41.18 + 52.604 + + 105 + 10 + 10.000 + 10.50000 + 53.220 + </div> <div> R = 2000 L = 947.108 </div> </div>
横断 勾配割合	2% 2%



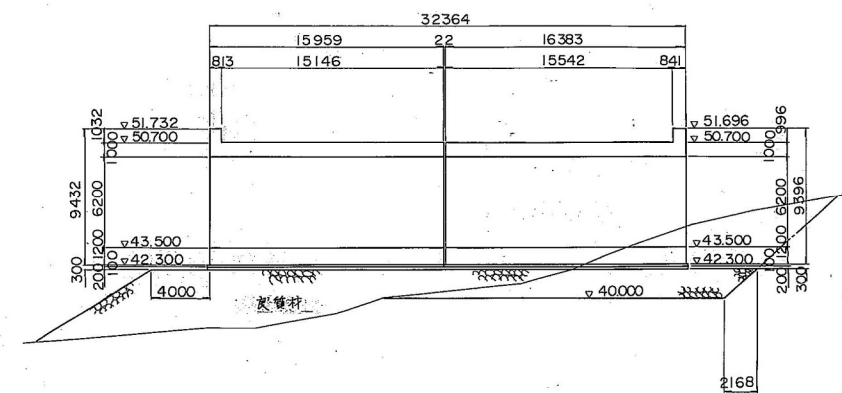
材 料 表						
	項 目	種 別	単 位	数 量	摘 要	
ボックス スカルバート	構造物掘削	普通部	m ³	139.72		
	基礎材	切込砕石	m ³	147.0		
	構造物裏込め砂	層込 40 B	"	6.963		
	コンクリート	B 1-1	"	2,207.5		
		D 1-1	"	73.5		
	型 枠	C	m ²	2,417.3		
		D	"	11.5		
	鉄 筋	A	D32~D29	kg	29,099	SD 30
			D25~D16	"	153,050	"
			小 計	"	182,149	"
			D 13	"	14,589	"
		合 計	"	196,738	"	
	地下排水工	Du-PVdφ115 0.50 0.50	m	127.3		
護 目 工	I 型	"	60.1			
土 の う	62 ^{cm} x 48 ^{cm}	"	24.8			
ガードレールボスト孔工	φ0.20	箇所	40			

材料強度	
コンクリート (B1-1)	
28日設計基準強度 (σ _{ck})	24.0 kg/cm ²
許容曲げ圧縮応力度	8.0 "
許容せん断応力度	9.0 "
許容付着応力度	16.0 "
粗骨材の最大寸法	25 mm
鉄筋 (SD 30)	
引張鋼材の降伏応力度	3000 kg/cm ²
許容引張応力度	1800 "

設計条件		
ボックスの内空幅	B	2166mm
ボックスの内空高さ	H	6200 "
土被り厚さ	D	1200 "
鉛直荷重	鉛直土圧	—
	活荷重	TT-43
水平荷重	水平土圧	—
	水平荷重	0.6 t/m ²
単位重量	土	2.0 t/m ³
	鉄筋コンクリート	2.5 "
衝撃係数		0.3
温度変化	考慮しない	
地震荷重		
荷重		—
許容支持力		
斜角		67°18'~59°

水戸管理事務所管内 はく落対策工事発注用図面作成業務			
図面の種類	高萩－３ 一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	水戸管理事務所		

側面図

[illegible]

The drawing is a technical plan view of a bridge structure, likely a railway bridge, showing its alignment and structural details. Key features include:

- Central Pier (M1):** Located at the center of the bridge, with a stationing mark of 102.27 and a height of $+10$.
- Side Piers (M2, M3):** Located on either side of the central pier, with stationing marks of 102.27 and 102.27 respectively, and heights of $+10$.
- Bridge Deck:** The main structure of the bridge, shown with various dimensions and angles. Key dimensions include a central span of 102.27 and a side span of 102.27 .
- Angles:** Various angles are indicated, such as $16^{\circ}52'16''$, $113^{\circ}50'42''$, and $63^{\circ}07'44''$.
- Stationing:** The drawing includes stationing marks along the bridge axis, such as 102.27 , 102.27 , and 102.27 .
- Height Markings:** Heights are marked at various points, including $+10$, $+20$, and $+60$.
- Structural Details:** The drawing shows the bridge's alignment with the river and the surrounding terrain, including the bridge's approach and the river's banks.

2A

水戸管理事務所

水戸管理事務所管内			
はく落対策工事発注用図面作成業務			
図面の種類	高萩 - 3 一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

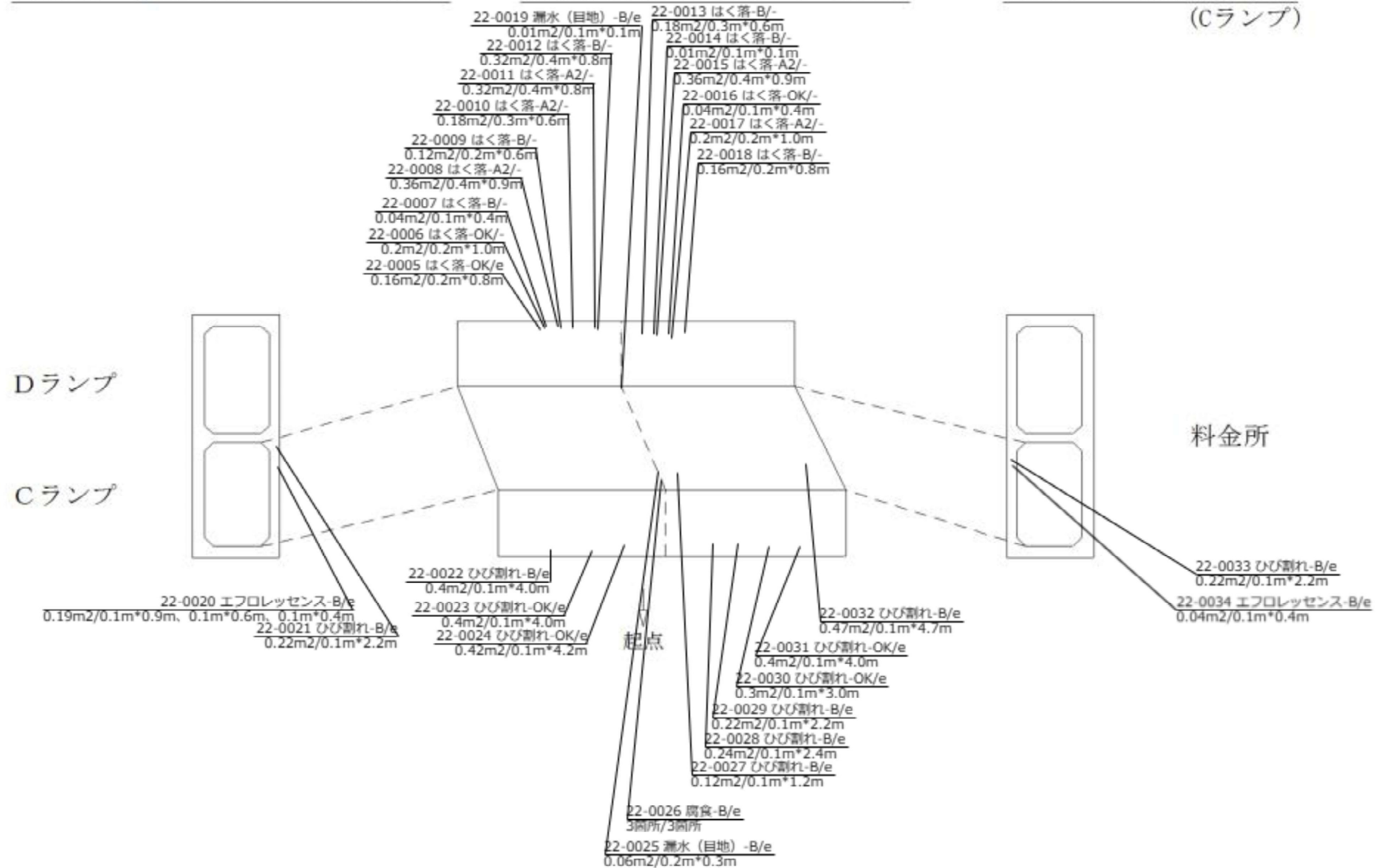
ボックスカルバート損傷図(S=1/400)

交差物件 高萩IC C,Dランプ

カルバート番号：高萩ー3(起点側)

種別：鉄筋コンクリート(2連)

K P：135.204(道路)
(Cランプ)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする

ボックスカルバート損傷図(S=1/400)

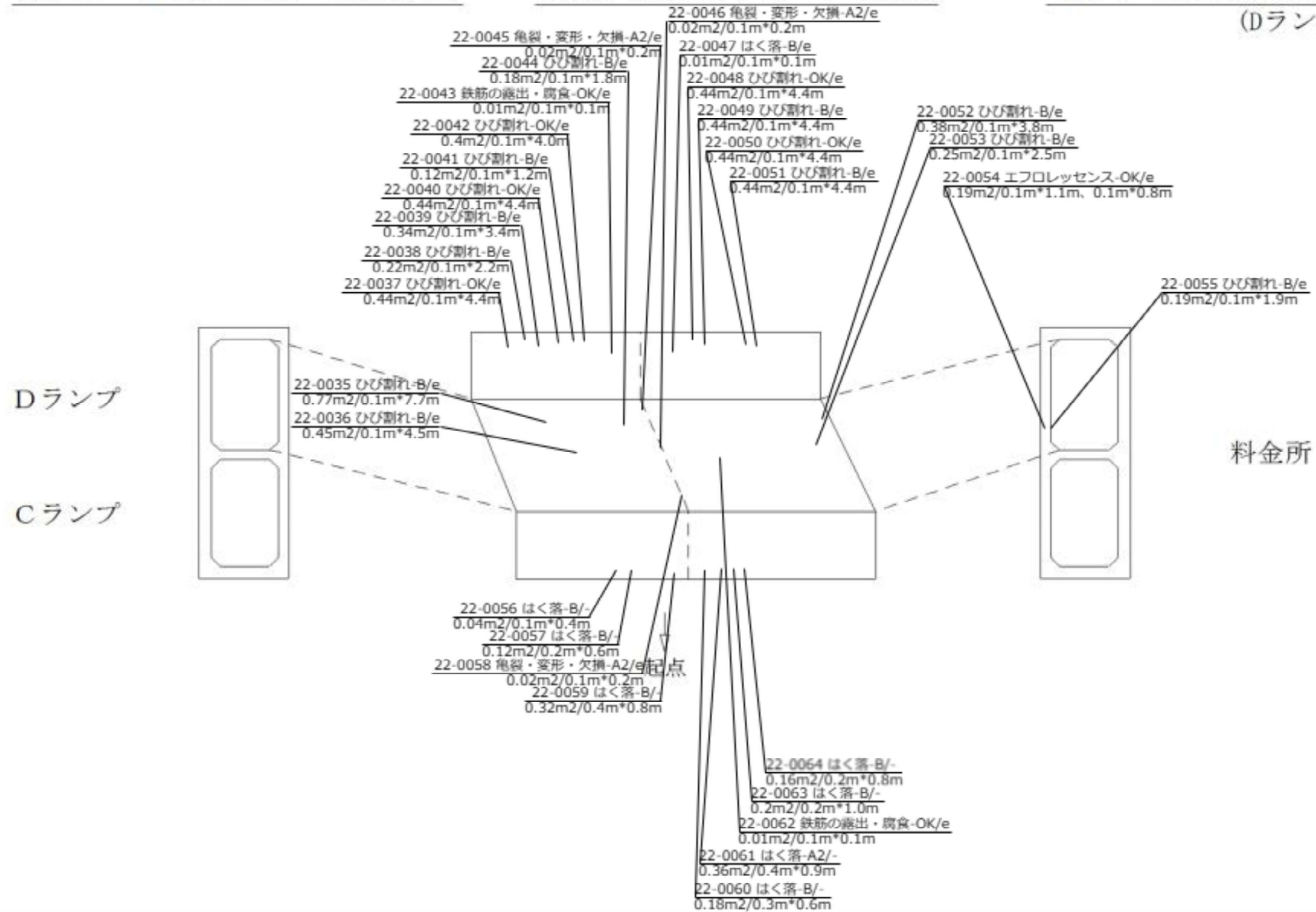
交差物件 高萩IC C,Dランプ

カルバート番号：高萩ー3(終点側)

種別：鉄筋コンクリート(2連)

K P：135.204(道路)

(Dランプ)



※はく落対策範囲内の変状個所は補修設計対象とする